平成 29 年 5 月 15 日

薬事・食品衛生審議会
　食品衛生分科会長　村田　勝敬　殿

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会
　農薬・動物用医薬品部会長　穐山　浩

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会
農薬・動物用医薬品部会報告について

　平成 29 年 3 月 7 日付け厚生労働省発生食 0307 第 6 号をもって諮問された、食品衛生法（昭和 22 年法律第 233 号）第 11 条第 1 項の規定に基づくグリホサートに係る食品中の農薬の残留基準の設定について、当部会で審議を行った結果を別添のとおり取りまとめたので、これを報告する。

グリホサート

今般の残留基準の検討については、農薬取締法に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたこと及び関連企業から「国外で使用される農薬等に係る残留基準の設定及び改正に関する指針について」に基づく残留基準の設定要請がなされたことに伴い、食品中の農薬等のポジティブリスト制度導入時に新たに設定された基準値（いわゆる暫定基準）の見直しを含め、食品安全委員会において食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

１．概要

グリホサートは、アンモニウム塩、イソプロピルアミン塩又はカリウム塩として製剤化され使用されるが、水溶液中では解離し、農薬散布後の作物においては遊離酸として存在する。

（１）品目名：グリホサート[Glyphosate(ISO)]
グリホサートイソプロピルアミン塩
[Glyphosate-isopropylammonium(ISO)]
グリホサートアンモニウム塩[Glyphosate-ammonium(ISO)]
グリホサートカリウム塩[Glyphosate-potassium(ISO)]

（２）用　途：除草剤

アミノ酸系の除草剤である。植物体内の芳香族アミノ酸生合成に係るシキミ酸経路において、ホスホエノールピルビン酸（PEP）とシキミ酸-3-リン酸から 5-エノールピルビルシキミ酸-3-リン酸（EPSP）を産生する反応を触媒する EPSP シンターゼ（EPSPS）の阻害により、殺草効果を示すと考えられている。

（３）化学名及び CAS 番号

グリホサート

N-(Phosphonomethyl)glycine (IUPAC)
Glycine, *N*-(phosphonomethyl)- (CAS：No. 1071-83-6)

グリホサートイソプロピルアミン塩

Propan-2-aminium hydrogen {[(carboxymethyl)amino]methyl}phosphonate(IUPAC)
Glycine, *N*-(phosphonomethyl)-, compd. with 2-propanamine (1:1)
(CAS：No. 38641-94-0)

グリホサートアンモニウム塩

Ammonium hydrogen {[(carboxymethyl)amino]methyl}phosphonate (IUPAC)

Glycine, *N*-(phosphonomethyl)-, ammonium salt (1:1) (CAS：No. 40465-66-5)

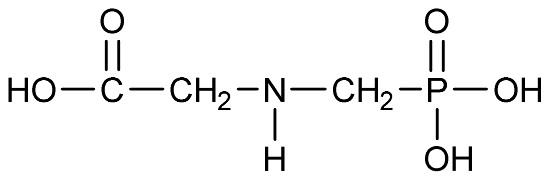
グリホサートカリウム塩

Potassium hydrogen {[(carboxymethyl)amino]methyl}phosphonate (IUPAC)

Glycine, *N*-(phosphonomethyl)-, potassium salt (1:1) (CAS：No. 39600-42-5)

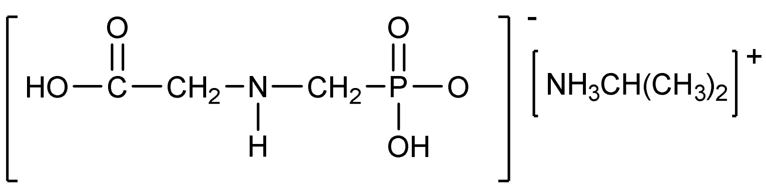
（４）構造式及び物性

グリホサート



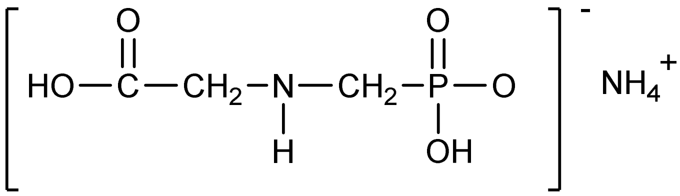
分 子 式	$C_3H_8NO_5P$
分 子 量	169.07
水溶解度	10.9 g/L (20℃)
分配係数	$\log_{10}Pow$ = -3.44 (20℃)

グリホサートイソプロピルアミン塩



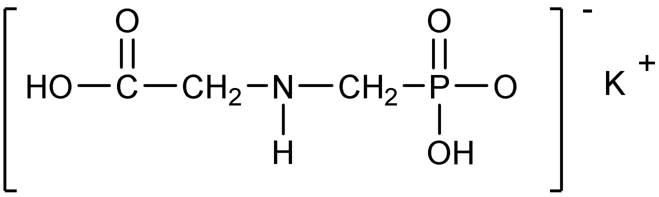
分 子 式	$C_6H_{17}N_2O_5P$
分 子 量	228.18

グリホサートアンモニウム塩



分 子 式　　$C_3H_{11}N_2O_5P$
分 子 量　　186.10

グリホサートカリウム塩



分 子 式　　$C_3H_7KNO_5P$
分 子 量　　207.16

２．適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用方法は以下のとおり。

$\boxed{\text{作物名}}$となっているものについては、今回農薬取締法（昭和 23 年法律第 82 号）に基づく適用拡大申請がなされたものを示している。

また、遺伝子組換えだいず、遺伝子組換えとうもろこし等に係る残留基準の設定についてインポートトレランス申請がされている。

（１）国内での使用方法

国内で農薬登録されている製剤が複数存在するため、重複する適用作物と使用方法は削除し、原薬濃度及び塩毎にまとめて下表のように示した。

① 41.0%グリホサートイソプロピルアミン塩液剤

<table>
<tr><th rowspan="2">作物名</th><th rowspan="2">適用場所</th><th rowspan="2">適用雑草名</th><th rowspan="2">使用時期</th><th colspan="2">使用量</th><th rowspan="2">本剤の使用回数</th><th rowspan="2">使用方法</th><th rowspan="2">ｸﾞﾘﾎｻｰﾄを含む農薬の総使用回数</th></tr>
<tr><th>薬量</th><th>希釈水量</th></tr>
<tr><td rowspan="4">果樹類(かんきつ、ﾊﾟｲﾅｯﾌﾟﾙを除く)</td><td rowspan="8">－</td><td>ｽｷﾞﾅ</td><td>収穫7日前まで(雑草生育盛期)</td><td>2000 mL/10 a</td><td>少量散布25～50 L/10 a</td><td rowspan="8">3回以内</td><td rowspan="8">雑草木茎葉散布</td><td rowspan="4">3回以内</td></tr>
<tr><td>一年生雑草</td><td rowspan="2">収穫7日前まで(雑草生育期)</td><td>250～500 mL/10 a</td><td rowspan="3">通常散布50～100 L/10 a少量散布25～50 L/10 a</td></tr>
<tr><td>多年生雑草</td><td>500～1000 mL/10 a</td></tr>
<tr><td>つる性多年生雑草、ｻｻ類、落葉雑かん木</td><td>夏～秋期ただし、収穫7日前まで(生育期以降)</td><td>1000 mL/10 a</td></tr>
<tr><td rowspan="4">かんきつ</td><td>ｽｷﾞﾅ</td><td>収穫7日前まで(雑草生育盛期)</td><td>2000 mL/10 a</td><td>少量散布25～50 L/10 a</td><td rowspan="4">5回以内</td></tr>
<tr><td>一年生雑草</td><td rowspan="2">収穫7日前まで(雑草生育期)</td><td>250～500 mL/10 a</td><td rowspan="3">通常散布50～100 L/10 a少量散布25～50 L/10 a</td></tr>
<tr><td>多年生雑草</td><td>500～1000 mL/10 a</td></tr>
<tr><td>つる性多年生雑草、ｻｻ類、落葉雑かん木</td><td>夏～秋期ただし、収穫7日前まで(生育期以降)</td><td>1000 mL/10 a</td></tr>
</table>

① 41.0%グリホサートイソプロピルアミン塩液剤（つづき）

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	ｸﾞﾘﾎｻｰﾄを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
水田作物（水稲を除く）	－	一年生雑草	耕起10日以前（雑草生育期）	250～500 mL/10 a	通常散布 50～100 L/10 a 少量散布 25～50 L/10 a	1回	雑草木茎葉散布	2回以内
		多年生雑草		500～1000 mL/10 a				
移植水稲		一年生雑草		250～500 mL/10 a	通常散布 50～100 L/10 a 少量散布 25～50 L/10 a			
		多年生雑草		500～1000 mL/10 a				
		一年生及び多年生雑草	湛水前30～5日（雑草生育期）（不耕起栽培）	500 mL/10 a	50 L/10 a			
直播水稲		一年生雑草	耕起10日以前（雑草生育期）	250～500 mL/10 a	通常散布 50～100 L/10 a 少量散布 25～50 L/10 a			
		多年生雑草		500～1000 mL/10 a				
		一年生及び多年生雑草	耕起直後～出芽前（雑草生育期）（乾田耕起栽培）	500 mL/10 a	少量散布 25～50 L/10 a			
			は種30日前～出芽前（雑草生育期）（乾田不耕起栽培）					

① 41.0%グリホサートイソプロピルアミン塩液剤（つづき）

<table>
<tr><th rowspan="2">作物名</th><th rowspan="2">適用場所</th><th rowspan="2">適用雑草名</th><th rowspan="2">使用時期</th><th colspan="2">使用量</th><th rowspan="2">本剤の使用回数</th><th rowspan="2">使用方法</th><th rowspan="2">ｸﾞﾘﾎｻｰﾄを含む農薬の総使用回数</th></tr>
<tr><th>薬量</th><th>希釈水量</th></tr>
<tr><td>豆類(種実、ただし、だいず、らっかせいを除く)</td><td rowspan="11">－</td><td rowspan="6">畑地一年生雑草</td><td rowspan="2">は種 10 日以前(雑草生育期)</td><td rowspan="6">250～500 mL/10 a</td><td rowspan="10">通常散布 50～100 L/10 a 少量散布 25～50 L/10 a</td><td rowspan="2">2 回以内</td><td rowspan="11">雑草木茎葉散布</td><td>2 回以内</td></tr>
<tr><td>だいず</td><td>4 回以内</td></tr>
<tr><td>キャベツ、はくさい</td><td rowspan="2">耕起 7 日以前(雑草生育期)</td><td rowspan="2">1 回</td><td>1 回</td></tr>
<tr><td>だいこん、かんしょ</td><td>2 回以内</td></tr>
<tr><td>麦類(小麦を除く)</td><td rowspan="5">耕起 10 日以前(雑草生育期)</td><td rowspan="3">3 回以内</td><td rowspan="3">3 回以内</td></tr>
<tr><td rowspan="2">小麦</td></tr>
<tr><td>畑地多年生雑草</td><td>500～1000 mL/10 a</td></tr>
<tr><td rowspan="2">さとうきび(春植え)</td><td>畑地一年生雑草</td><td>250～500 mL/10 a</td><td rowspan="2">1 回</td><td rowspan="2">6 回以内</td></tr>
<tr><td>畑地多年生雑草</td><td>500～1000 mL/10 a</td></tr>
<tr><td>茶</td><td>一年生雑草</td><td>春～夏期 ただし、摘採 7 日前まで(雑草生育期)</td><td>250～500 mL/10 a</td><td>2 回以内</td><td>2 回以内</td></tr>
<tr><td>かんきつ</td><td>一年生及び多年生雑草</td><td>収穫 7 日前まで(雑草生育期)</td><td>400～600 mL/10 a</td><td>4～6 L/10 a</td><td>3 回以内</td><td>5 回以内</td></tr>
</table>

① 41.0%グリホサートイソプロピルアミン塩液剤（つづき）

<table>
<tr><th rowspan="2">作物名</th><th rowspan="2">適用場所</th><th rowspan="2">適用雑草名</th><th rowspan="2">使用時期</th><th colspan="2">使用量</th><th rowspan="2">本剤の使用回数</th><th rowspan="2">使用方法</th><th rowspan="2">ｸﾞﾘﾎｻｰﾄを含む農薬の総使用回数</th></tr>
<tr><th>薬量</th><th>希釈水量</th></tr>
<tr><td>りんご、なし</td><td>–</td><td>一年生及び多年生雑草</td><td>収穫7日前まで(雑草生育期)</td><td>400～600 mL/10 a</td><td>4～6 L/10 a</td><td rowspan="5">3回以内</td><td>雑草木茎葉散布</td><td rowspan="3">3回以内</td></tr>
<tr><td rowspan="2">果樹類(かんきつを除く)</td><td rowspan="9">–</td><td>一年生雑草</td><td rowspan="2">収穫7日前まで(雑草生育期:草丈30 cm以下)</td><td>250～500 mL/10 a</td><td rowspan="2">通常散布50～100 L/10 a</td><td rowspan="9">雑草茎葉散布</td></tr>
<tr><td>多年生雑草</td><td>500～1000 mL/10 a</td></tr>
<tr><td rowspan="2">かんきつ</td><td>一年生雑草</td><td rowspan="2">収穫7日前まで(雑草生育期:草丈30 cm以下)</td><td>250～500 mL/10 a</td><td rowspan="2">通常散布50～100 L/10 a
少量散布25～50 L/10 a</td><td rowspan="2">5回以内</td></tr>
<tr><td>多年生雑草</td><td>500～1000 mL/10 a</td></tr>
<tr><td>水田作物(水稲を除く)、移植水稲、直播水稲</td><td rowspan="3">一年生雑草</td><td>耕起20～10日前まで(雑草生育期)</td><td rowspan="3">250～500 mL/10 a</td><td rowspan="5">50～100 L/10 a</td><td>1回</td><td>2回以内</td></tr>
<tr><td>麦類(小麦を除く)</td><td>耕起7日前まで(雑草生育期:草丈30 cm以下)</td><td>3回以内</td><td rowspan="3">3回以内</td></tr>
<tr><td rowspan="2">小麦</td><td rowspan="2">耕起7日前まで(雑草生育期)</td><td rowspan="3">1回</td></tr>
<tr><td>多年生雑草</td><td>500～750 mL/10 a</td></tr>
<tr><td>雑穀類</td><td>一年生雑草</td><td>耕起7日前まで(雑草生育期:草丈30 cm以下)</td><td>250～500 mL/10 a</td><td>2回以内</td></tr>
</table>

① 41.0%グリホサートイソプロピルアミン塩液剤（つづき）

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	ｸﾞﾘﾎｻｰﾄを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
野菜類(だいこん、えだまめ、ねぎ、たまねぎ、ﾄﾏﾄ、きゅうり、なす、ｱｽﾊﾟﾗｶﾞｽ、ｵﾘｰﾌﾞ(葉)、たらのき、びわ(葉)、ほうれんそう、ﾚﾀｽ、とうがらし類、にんじん、ﾋﾟｰﾏﾝ、薬用にんじんを除く)	－	一年生雑草	耕起7日前まで(雑草生育期:草丈30 cm以下)	250～500 mL/10 a	100 L/10 a	1回	雑草茎葉散布	1回
薬用にんじん	－	一年生雑草	耕起7日前まで(雑草生育期:草丈30 cm以下)	250～500 mL/10 a	100 L/10 a	1回	雑草茎葉散布	10回以内（1年間に2回以内）
とうがらし類、にんじん、ﾋﾟｰﾏﾝ、だいこん	－	一年生雑草	耕起7日前まで(雑草生育期:草丈30 cm以下)	250～500 mL/10 a	100 L/10 a	1回	雑草茎葉散布	2回以内
ｱｽﾊﾟﾗｶﾞｽ、ｵﾘｰﾌﾞ(葉)、たらのき、びわ(葉)、ほうれんそう、ﾚﾀｽ、ﾄﾏﾄ、きゅうり、なす	－	一年生雑草	耕起7日前まで(雑草生育期:草丈30 cm以下)	250～500 mL/10 a	100 L/10 a	1回	雑草茎葉散布	3回以内
ねぎ	－	一年生雑草	耕起7日前まで(雑草生育期)	250～500 mL/10 a	少量散布 25～50 L/10 a	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内
たまねぎ	－	一年生雑草	耕起7日前まで(雑草生育期:草丈30 cm以下)	250～500 mL/10 a	100 L/10 a	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内
たまねぎ	－	一年生雑草	耕起又は定植7日前まで(雑草生育期:草丈30 cm以下)	250～500 mL/10 a	少量散布 25～50 L/10 a	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内

① 41.0%グリホサートイソプロピルアミン塩液剤（つづき）

<table>
<tr><th rowspan="2">作物名</th><th rowspan="2">適用場所</th><th rowspan="2">適用雑草名</th><th rowspan="2">使用時期</th><th colspan="2">使用量</th><th rowspan="2">本剤の使用回数</th><th rowspan="2">使用方法</th><th rowspan="2">ｸﾞﾘﾎｻｰﾄを含む農薬の総使用回数</th></tr>
<tr><th>薬量</th><th>希釈水量</th></tr>
<tr><td rowspan="2">えだまめ</td><td rowspan="7">−</td><td rowspan="8">一年生雑草</td><td>耕起7日前まで(雑草生育期:草丈30 cm以下)</td><td rowspan="8">250〜500 mL/10 a</td><td>100 L/10 a</td><td rowspan="2">3回以内</td><td rowspan="9">雑草茎葉散布</td><td rowspan="2">3回以内</td></tr>
<tr><td>は種後出芽前(雑草生育期:草丈30 cm以下)</td><td rowspan="3">少量散布25〜50 L/10 a</td></tr>
<tr><td>豆類(種実、ただし、だいず、らっかせいを除く)</td><td>耕起前又はは種前まで(雑草生育期)</td><td rowspan="2">2回以内</td><td>2回以内</td></tr>
<tr><td>だいず</td><td>は種後出芽前まで(雑草生育期:草丈30 cm以下)</td><td>4回以内</td></tr>
<tr><td>かんしょ</td><td>耕起前(雑草生育期)</td><td rowspan="2">100 L/10 a</td><td rowspan="5">1回</td><td>2回以内</td></tr>
<tr><td>いも類(かんしょを除く)</td><td>耕起前又は植付前まで(雑草生育期：草丈30 cm以下)</td><td>1回</td></tr>
<tr><td>茶</td><td>摘採7日前まで(雑草生育期)</td><td rowspan="3">少量散布25〜50 L/10 a</td><td>2回以内</td></tr>
<tr><td rowspan="2">さとうきび</td><td rowspan="2">圃場内の周縁部</td><td rowspan="2">収穫30日前まで(雑草生育期)</td><td rowspan="2">6回以内</td></tr>
<tr><td>多年生雑草</td><td>500〜1000 mL/10 a</td></tr>
</table>

① 41.0%グリホサートイソプロピルアミン塩液剤（つづき）

<table>
<tr><th rowspan="2">作物名</th><th rowspan="2">適用場所</th><th rowspan="2">適用雑草名</th><th rowspan="2">使用時期</th><th colspan="2">使用量</th><th rowspan="2">本剤の使用回数</th><th rowspan="2">使用方法</th><th rowspan="2">ｸﾞﾘﾎｻｰﾄを含む農薬の総使用回数</th></tr>
<tr><th>薬量</th><th>希釈水量</th></tr>
<tr><td>水田作物(水稲を除く)、移植水稲、直播水稲</td><td>－</td><td>一年生雑草</td><td>耕起 20～10 日前(雑草生育期)</td><td>250～500 mL/10 a</td><td>100 L/10 a</td><td>1 回</td><td rowspan="7">雑草茎葉散布</td><td>2 回以内</td></tr>
<tr><td rowspan="5">小麦</td><td rowspan="4">－</td><td>多年生ｲﾈ科雑草</td><td rowspan="2">耕起前又はは種前まで(雑草生育期:草丈 30 cm 以下)</td><td>250～1000 mL/10 a</td><td rowspan="3">25～100 L/10 a</td><td rowspan="3">3 回以内</td><td rowspan="6">3 回以内</td></tr>
<tr><td rowspan="2">一年生雑草</td><td rowspan="2">250～500 mL/10 a</td></tr>
<tr><td>は種後出芽前(雑草生育期)</td></tr>
<tr><td>多年生雑草</td><td>耕起 7 日前まで(雑草生育期:草丈 30 cm 以下)</td><td>500～1000 mL/10 a</td><td>100 L/10 a</td><td>1 回</td></tr>
<tr><td>圃場内の周縁部</td><td rowspan="2">一年生雑草</td><td>収穫 7 日前まで(雑草生育期)</td><td>250 mL/10 a</td><td>25～100 L/10 a</td><td>3 回以内</td></tr>
<tr><td>麦類(小麦を除く)</td><td>－</td><td>耕起 7 日前まで(雑草生育期)</td><td>250～500 mL/10 a</td><td>100 L/10 a</td><td>1 回</td></tr>
</table>

① 41.0%グリホサートイソプロピルアミン塩液剤（つづき）

<table>
<tr><th rowspan="2">作物名</th><th rowspan="2">適用場所</th><th rowspan="2">適用雑草名</th><th rowspan="2">使用時期</th><th colspan="2">使用量</th><th rowspan="2">本剤の使用回数</th><th rowspan="2">使用方法</th><th rowspan="2">ｸﾞﾘﾎｻｰﾄを含む農薬の総使用回数</th></tr>
<tr><th>薬量</th><th>希釈水量</th></tr>
<tr><td rowspan="3">だいず</td><td rowspan="10">－</td><td rowspan="10">一年生雑草</td><td>は種７日前まで(雑草生育期)</td><td rowspan="10">250～500 mL/10 a</td><td rowspan="3">通常散布
50～100 L/10 a
少量散布
25～50 L/10 a</td><td rowspan="3">２回以内</td><td rowspan="10">雑草茎葉散布</td><td rowspan="3">４回以内</td></tr>
<tr><td>は種後出芽前まで(雑草生育期:草丈 30 cm 以下)</td></tr>
<tr><td>畦間処理:雑草生育期(草丈 30 cm 以下)ただし、収穫前日まで</td></tr>
<tr><td>かんしょ</td><td>耕起又は挿苗７日前まで(雑草生育期)</td><td rowspan="4">100 L/10 a</td><td rowspan="7">１回</td><td rowspan="2">２回以内</td></tr>
<tr><td>だいこん</td><td rowspan="2">耕起又はは種７日前まで(雑草生育期)</td></tr>
<tr><td>はつかだいこん</td><td rowspan="2">１回</td></tr>
<tr><td>キャベツ、はくさい</td><td>耕起又は定植７日前まで(雑草生育期)</td></tr>
<tr><td>えだまめ</td><td>は種７日前まで(雑草生育期)</td><td rowspan="3">通常散布
50～100 L/10 a
少量散布
25～50 L/10 a</td><td>３回以内</td></tr>
<tr><td>とうがらし類、にんじん、ﾋﾟｰﾏﾝ</td><td rowspan="2">耕起又は定植７日前まで(雑草生育期)</td><td>２回以内</td></tr>
<tr><td>ｱｽﾊﾟﾗｶﾞｽ、ｵﾘｰﾌﾞ(葉)、きゅうり、たまねぎ、たらのき、ﾄﾏﾄ、なす、びわ(葉)、ほうれんそう、ﾚﾀｽ</td><td>３回以内</td></tr>
</table>

① 41.0%グリホサートイソプロピルアミン塩液剤（つづき）

<table>
<tr><th rowspan="2">作物名</th><th rowspan="2">適用場所</th><th rowspan="2">適用雑草名</th><th rowspan="2">使用時期</th><th colspan="2">使用量</th><th rowspan="2">本剤の使用回数</th><th rowspan="2">使用方法</th><th rowspan="2">ｸﾞﾘﾎｻｰﾄを含む農薬の総使用回数</th></tr>
<tr><th>薬量</th><th>希釈水量</th></tr>
<tr><td>野菜類(えだまめ、ｷｬﾍﾞﾂ、はつかだいこん、だいこん、とうがらし類、にんじん、ﾋﾟｰﾏﾝ、ねぎ、たまねぎ、ｱｽﾊﾟﾗｶﾞｽ、ｵﾘｰﾌﾞ（葉)、きゅうり、たらのき、ﾄﾏﾄ、なす、びわ(葉)、ほうれんそう、ﾚﾀｽ、薬用にんじんを除く)</td><td rowspan="6">－</td><td rowspan="6">一年生雑草</td><td rowspan="3">耕起又は定植7日前まで(雑草生育期)</td><td rowspan="6">250～500 mL/10 a</td><td rowspan="4">通常散布 50～100 L/10 a
少量散布 25～50 L/10 a</td><td rowspan="2">1回</td><td rowspan="6">雑草茎葉散布</td><td>1回</td></tr>
<tr><td>薬用にんじん</td><td>10回以内（1年間に2回以内）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ねぎ</td><td rowspan="2">3回以内</td><td rowspan="2">3回以内</td></tr>
<tr><td>定植後畦間処理 ただし、収穫30日前まで(雑草生育期)</td></tr>
<tr><td>水田作物（水稲を除く）、移植水稲</td><td rowspan="2">雑草生育期(耕起20～10日前まで)</td><td rowspan="2">100 L/10 a</td><td rowspan="2">1回</td><td>1回</td></tr>
<tr><td>直播水稲</td><td>耕起栽培は2回以内（耕起前は1回以内）、乾田不耕起栽培は2回以内</td></tr>
</table>

①　41.0%グリホサートイソプロピルアミン塩液剤（つづき）

<table>
<tr><th rowspan="2">作物名</th><th rowspan="2">適用場所</th><th rowspan="2">適用雑草名</th><th rowspan="2">使用時期</th><th colspan="2">使用量</th><th rowspan="2">本剤の使用回数</th><th rowspan="2">使用方法</th><th rowspan="2">ｸﾞﾘﾎｻｰﾄを含む農薬の総使用回数</th></tr>
<tr><th>薬量</th><th>希釈水量</th></tr>
<tr><td rowspan="2">果樹類(かんきつ、ｷｳｲﾌﾙｰﾂ、ﾊﾟｲﾅｯﾌﾟﾙを除く)</td><td rowspan="7">－</td><td>一年生雑草</td><td rowspan="2">雑草生育期（草丈 30 cm 以下)ただし、収穫 7 日前まで</td><td>250～500 mL/10 a</td><td rowspan="2">通常散布 50～100 L/10 a 少量散布 25～50 L/10 a</td><td rowspan="2">3 回以内</td><td rowspan="7">雑草茎葉散布</td><td rowspan="2">3 回以内</td></tr>
<tr><td>多年生雑草</td><td>500～1000 mL/10 a</td></tr>
<tr><td>豆類(種実、ただし、だいず、らっかせいを除く)</td><td rowspan="5">一年生雑草</td><td>雑草生育期(は種 7 日前まで)</td><td rowspan="5">250～500 mL/10 a</td><td rowspan="5">少量散布 25～50 L/10 a</td><td rowspan="2">2 回以内</td><td>2 回以内</td></tr>
<tr><td>だいず</td><td>雑草生育期（草丈 30 cm 以下)(は種後出芽前まで)</td><td>4 回以内</td></tr>
<tr><td>はくさい</td><td rowspan="2">雑草生育期(耕起又は定植 7 日前まで)</td><td>1 回</td><td>1 回</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ねぎ、たまねぎ</td><td rowspan="2">3 回以内</td><td rowspan="2">3 回以内</td></tr>
<tr><td>雑草生育期(定植後畦間処理)ただし、収穫 30 日前まで</td></tr>
</table>

① 41.0%グリホサートイソプロピルアミン塩液剤（つづき）

<table>
<tr><th rowspan="2">作物名</th><th rowspan="2">適用場所</th><th rowspan="2">適用雑草名</th><th rowspan="2">使用時期</th><th colspan="2">使用量</th><th rowspan="2">本剤の使用回数</th><th rowspan="2">使用方法</th><th rowspan="2">ｸﾞﾘﾎｻｰﾄを含む農薬の総使用回数</th></tr>
<tr><th>薬量</th><th>希釈水量</th></tr>
<tr><td rowspan="2">りんご、なし、かき、ぶどう、もも、うめ</td><td rowspan="2">－</td><td>一年生雑草</td><td rowspan="2">収穫7日前まで(雑草生育期:草丈30 cm以下)</td><td>250～500 mL/10 a</td><td rowspan="2">通常散布50～100 L/10 a
少量散布25～50 L/10 a</td><td rowspan="2">3回以内</td><td rowspan="11">雑草茎葉散布</td><td rowspan="3">3回以内</td></tr>
<tr><td>多年生雑草</td><td>500～1000 mL/10 a</td></tr>
<tr><td>ｱｽﾊﾟﾗｶﾞｽ、ｵﾘｰﾌﾞ(葉)、きゅうり、たらのき、ﾄﾏﾄ、なす、びわ(葉)、ほうれんそう、ﾚﾀｽ</td><td rowspan="9">－</td><td rowspan="4">一年生雑草</td><td>耕起又は定植7日前まで(雑草生育期)</td><td rowspan="4">250～500 mL/10 a</td><td>通常散布50～100 L/10 a
少量散布25～50 L/10 a</td><td rowspan="5">1回</td></tr>
<tr><td>水田作物(水稲を除く)</td><td rowspan="2">耕起20～10日前(雑草生育期)</td><td rowspan="2">100 L/10 a</td><td rowspan="8">2回以内</td></tr>
<tr><td rowspan="3">移植水稲</td></tr>
<tr><td rowspan="2">湛水前30～5日前(雑草生育期)(不耕起栽培)</td><td rowspan="6">50 L/10 a</td></tr>
<tr><td>多年生雑草</td><td>500～1000 mL/10 a</td></tr>
<tr><td rowspan="4">直播水稲</td><td>一年生雑草</td><td rowspan="2">耕起直後～出芽前(雑草生育期)(乾田耕起栽培)</td><td>250～500 mL/10 a</td><td rowspan="4">2回以内</td></tr>
<tr><td>多年生雑草</td><td>500 mL/10 a</td></tr>
<tr><td>一年生雑草</td><td rowspan="2">は種30日前～出芽前(雑草生育期)(乾田不耕起栽培)</td><td>250～500 mL/10 a</td></tr>
<tr><td>多年生雑草</td><td>500 mL/10 a</td></tr>
</table>

① 41.0%グリホサートイソプロピルアミン塩液剤（つづき）

<table>
<tr><th rowspan="2">作物名</th><th rowspan="2">適用場所</th><th rowspan="2">適用雑草名</th><th rowspan="2">使用時期</th><th colspan="2">使用量</th><th rowspan="2">本剤の使用回数</th><th rowspan="2">使用方法</th><th rowspan="2">ｸﾞﾘﾎｻｰﾄを含む農薬の総使用回数</th></tr>
<tr><th>薬量</th><th>希釈水量</th></tr>
<tr><td>かんきつ</td><td rowspan="8">–</td><td rowspan="3">一年生雑草</td><td rowspan="5">収穫7日前まで(雑草生育期:草丈30 cm以下)</td><td>250 mL/10 a</td><td rowspan="2">100 L/10 a</td><td rowspan="5">3回以内</td><td rowspan="8">雑草茎葉散布</td><td rowspan="5">3回以内</td></tr>
<tr><td rowspan="4">りんご、なし</td><td>250～500 mL/10 a</td></tr>
<tr><td>250 mL/10 a</td><td>50 L/10 a</td></tr>
<tr><td rowspan="2">多年生雑草</td><td>500～1000 mL/10 a</td><td>100 L/10 a</td></tr>
<tr><td>500 mL/10 a</td><td>50 L/10 a</td></tr>
<tr><td>小麦</td><td>多年生ｲﾈ科雑草</td><td>耕起前まで(雑草生育期:草丈30 cm以下)</td><td rowspan="3">250 mL/10 a</td><td rowspan="2">100 L/10 a</td><td rowspan="2">1回以内</td><td rowspan="2">1回以内</td></tr>
<tr><td>ｷｬﾍﾞﾂ</td><td rowspan="2">一年生雑草</td><td>耕起7日前まで(雑草生育期:草丈30 cm以下)</td></tr>
<tr><td>たまねぎ</td><td>定植前まで(雑草生育期:草丈30 cm以下)</td><td>50～100 L/10 a</td><td>2回以内</td><td>3回以内</td></tr>
</table>

① 41.0%グリホサートイソプロピルアミン塩液剤（つづき）

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用場所</th><th>適用雑草名</th><th>使用時期</th><th>希釈倍数</th><th>使用液量</th><th>本剤の使用回数</th><th>使用方法</th><th>ｸﾞﾘﾎｻｰﾄを含む農薬の総使用回数</th></tr>
<tr><td>かんきつ</td><td rowspan="2">–</td><td rowspan="2">一年生及び多年生雑草</td><td rowspan="2">収穫7日前まで(雑草生育期)</td><td rowspan="2">3～6倍</td><td rowspan="2">3～6 L/10 a</td><td rowspan="2">3回以内</td><td rowspan="2">雑草茎葉塗布</td><td>5回以内</td></tr>
<tr><td>りんご、なし、かき、ぶどう、くり、もも</td><td>3回以内</td></tr>
</table>

② 6.0%グリホサートイソプロピルアミン塩液剤

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ｸﾞﾘﾎｻｰﾄを含む農薬の総使用回数
果樹類（かんきつ、ﾊﾟｲﾅｯﾌﾟﾙを除く）	−	一年生及び多年生雑草	収穫7日前まで(雑草生育期:草丈30 cm以下)	3～5 L/10 a	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内
かんきつ	−	一年生及び多年生雑草	収穫7日前まで(雑草生育期:草丈30 cm以下)	3～5 L/10 a	3回以内	雑草茎葉散布	5回以内
水田作物(水稲を除く)、移植水稲、直播水稲	−	一年生及び多年生雑草	耕起10日前まで(雑草生育期:草丈30 cm以下)	3～5 L/10 a	1回	雑草茎葉散布	2回以内

③ 1.0%グリホサートイソプロピルアミン塩液剤

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ｸﾞﾘﾎｻｰﾄを含む農薬の総使用回数
だいず	−	一年生雑草	雑草生育期(草丈30 cm以下)(は種7日前まで)	20 mL/m^2(原液散布)	2回以内	雑草茎葉散布	4回以内
えだまめ	−	一年生雑草	雑草生育期(草丈30 cm以下)(は種7日前まで)	20 mL/m^2(原液散布)	1回	雑草茎葉散布	3回以内
かんきつ	−	一年生及び多年生雑草	雑草生育期(草丈30 cm以下)ただし、収穫7日前まで	20～40 mL/m^2(原液散布)	3回以内	雑草茎葉散布	5回以内

④　66.0%グリホサートアンモニウム塩水溶剤

<table>
<tr><th rowspan="2">作物名</th><th rowspan="2">適用場所</th><th rowspan="2">適用雑草名</th><th rowspan="2">使用時期</th><th colspan="2">使用量</th><th rowspan="2">本剤の使用回数</th><th rowspan="2">使用方法</th><th rowspan="2">ｸﾞﾘﾎｻｰﾄを含む農薬の総使用回数</th></tr>
<tr><th>薬量</th><th>希釈水量</th></tr>
<tr><td>かんきつ</td><td rowspan="2">－</td><td rowspan="2">一年生及び多年生雑草</td><td rowspan="2">雑草生育期(草丈30 cm以下)ただし収穫7日前まで</td><td rowspan="2">150～300 g/10 a</td><td rowspan="2">25～100 L/10 a</td><td rowspan="2">3回以内</td><td rowspan="2">雑草茎葉散布</td><td>5回以内</td></tr>
<tr><td>りんご、ぶどう、なし</td><td>3回以内</td></tr>
</table>

⑤　41.0%グリホサートアンモニウム塩液剤

<table>
<tr><th rowspan="2">作物名</th><th rowspan="2">適用場所</th><th rowspan="2">適用雑草名</th><th rowspan="2">使用時期</th><th colspan="2">使用量</th><th rowspan="2">本剤の使用回数</th><th rowspan="2">使用方法</th><th rowspan="2">ｸﾞﾘﾎｻｰﾄを含む農薬の総使用回数</th></tr>
<tr><th>薬量</th><th>希釈水量</th></tr>
<tr><td rowspan="4">果樹類(かんきつを除く)</td><td rowspan="8">－</td><td>ｽｷﾞﾅ</td><td rowspan="2">収穫7日前まで(雑草生育盛期)</td><td>2000 mL/10 a</td><td>少量散布25～50 L/10 a</td><td rowspan="8">3回以内</td><td rowspan="8">雑草茎葉散布</td><td rowspan="4">3回以内</td></tr>
<tr><td>ﾏﾙﾊﾞﾂﾕｸｻ</td><td>500～2000 mL/10 a</td><td rowspan="3">通常散布50～100 L/10 a
少量散布25～50 L/10 a</td></tr>
<tr><td>一年生雑草</td><td rowspan="2">収穫7日前まで(雑草生育期)</td><td>250～500 mL/10 a</td></tr>
<tr><td>多年生雑草</td><td>500～1000 mL/10 a</td></tr>
<tr><td rowspan="4">かんきつ</td><td>ｽｷﾞﾅ</td><td rowspan="2">収穫7日前まで(雑草生育盛期)</td><td>2000 mL/10 a</td><td>少量散布25～50 L/10 a</td><td rowspan="4">5回以内</td></tr>
<tr><td>ﾏﾙﾊﾞﾂﾕｸｻ</td><td>500～2000 mL/10 a</td><td rowspan="3">通常散布50～100 L/10 a
少量散布25～50 L/10 a</td></tr>
<tr><td>一年生雑草</td><td rowspan="2">収穫7日前まで(雑草生育期)</td><td>250～500 mL/10 a</td></tr>
<tr><td>多年生雑草</td><td>500～1000 mL/10 a</td></tr>
</table>

⑤　41.0%グリホサートアンモニウム塩液剤（つづき）

<table>
<tr><th rowspan="2">作物名</th><th rowspan="2">適用場所</th><th rowspan="2">適用雑草名</th><th rowspan="2">使用時期</th><th colspan="2">使用量</th><th rowspan="2">本剤の使用回数</th><th rowspan="2">使用方法</th><th rowspan="2">ｸﾞﾘﾎｻｰﾄを含む農薬の総使用回数</th></tr>
<tr><th>薬量</th><th>希釈水量</th></tr>
<tr><td>水田作物(水稲を除く)、移植水稲</td><td rowspan="7">－</td><td rowspan="6">一年生雑草</td><td rowspan="2">耕起 20～10 日前(雑草生育期)</td><td rowspan="8">250～500 mL/10 a</td><td rowspan="2">通常散布 50～100 L/10 a
少量散布 25～50 L/10 a</td><td rowspan="2">1 回</td><td rowspan="8">雑草茎葉散布</td><td rowspan="4">2 回以内</td></tr>
<tr><td rowspan="3">直播水稲</td></tr>
<tr><td>耕起直後～出芽前(雑草生育期)(乾田耕起栽培)</td><td rowspan="2">50 L/10 a</td><td rowspan="2">2 回以内</td></tr>
<tr><td>は種 30 日前～出芽前(雑草生育期)(乾田不耕起栽培)</td></tr>
<tr><td>麦類(小麦を除く)</td><td rowspan="2">は種 7 日以前又はは種後出芽前(雑草生育期)</td><td rowspan="3">通常散布 50～100 L/10 a
少量散布 25～50 L/10 a</td><td rowspan="3">3 回以内</td><td rowspan="3">3 回以内</td></tr>
<tr><td rowspan="2">小麦</td></tr>
<tr><td>多年生ｲﾈ科雑草</td><td>耕起 3 日以前(雑草生育期)</td></tr>
<tr><td>そば</td><td></td><td>一年生及び多年生雑草</td><td>耕起又はは種 7 日以前(雑草生育期)</td><td>少量散布 25～50 L/10 a</td><td>2 回以内</td><td>2 回以内</td></tr>
</table>

⑤　41.0%グリホサートアンモニウム塩液剤（つづき）

<table>
<tr><th rowspan="2">作物名</th><th rowspan="2">適用場所</th><th rowspan="2">適用雑草名</th><th rowspan="2">使用時期</th><th colspan="2">使用量</th><th rowspan="2">本剤の使用回数</th><th rowspan="2">使用方法</th><th rowspan="2">ｸﾞﾘﾎｻｰﾄを含む農薬の総使用回数</th></tr>
<tr><th>薬量</th><th>希釈水量</th></tr>
<tr><td>豆類(種実、ただし、だいず、らっかせいを除く)</td><td rowspan="6">－</td><td rowspan="6">一年生雑草</td><td>は種 10 日以前(雑草生育期)</td><td rowspan="6">250～500 mL/10 a</td><td>少量散布 25～50 L/10 a</td><td rowspan="2">2 回以内</td><td rowspan="8">雑草茎葉散布</td><td>2 回以内</td></tr>
<tr><td rowspan="2">だいず</td><td>は種 10 日以前又はは種後出芽前(雑草生育期)</td><td>通常散布 50～100 L/10 a 少量散布 25～50 L/10 a</td><td rowspan="2">4 回以内</td></tr>
<tr><td>収穫前日まで(畦間処理)(雑草生育期)</td><td>少量散布 25～50 L/10 a</td><td rowspan="6">1 回</td></tr>
<tr><td>いも類(かんしょを除く)</td><td rowspan="2">耕起 7 日前まで(雑草生育期)</td><td rowspan="2">通常散布 50～100 L/10 a 少量散布 25～50 L/10 a</td><td>1 回</td></tr>
<tr><td>かんしょ</td><td>2 回以内</td></tr>
<tr><td rowspan="2">さとうきび</td><td>耕起又は植付け 7 日前まで(雑草生育期)</td><td rowspan="2">少量散布 25～50 L/10 a</td><td rowspan="2">6 回以内</td></tr>
<tr><td>圃場内の周縁部</td><td>多年生雑草</td><td>収穫 90 日前まで(雑草生育期)</td><td>500～1000 mL/10 a</td></tr>
<tr><td>野菜類(だいこん、えだまめ、ねぎ、たまねぎ、ﾄﾏﾄ、きゅうり、なす、ｱｽﾊﾟﾗｶﾞｽ、ｵﾘｰﾌﾞ(葉)、たらのき、びわ(葉)、ほうれんそう、ﾚﾀｽ、とうがらし類、にんじん、ﾋﾟｰﾏﾝ、薬用にんじんを除く)</td><td>－</td><td>一年生雑草</td><td>耕起 7 日前まで(雑草生育期)</td><td>250～500 mL/10 a</td><td>通常散布 50～100 L/10 a 少量散布 25～50 L/10 a</td><td>1 回</td></tr>
</table>

⑤　41.0%グリホサートアンモニウム塩液剤（つづき）

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	ｸﾞﾘﾎｻｰﾄを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
だいこん、とうがらし類、にんじん、ﾋﾟｰﾏﾝ	－	一年生雑草	耕起7日前まで(雑草生育期)	250～500 mL/10 a	通常散布50～100 L/10 a 少量散布25～50 L/10 a	1回	雑草茎葉散布	2回以内
きゅうり、ﾄﾏﾄ、なす、びわ(葉)	－	一年生雑草	耕起7日前まで(雑草生育期)	250～500 mL/10 a	通常散布50～100 L/10 a 少量散布25～50 L/10 a	1回	雑草茎葉散布	3回以内
えだまめ	－	一年生雑草	は種10日以前又はは種後出芽前(雑草生育期)	250～500 mL/10 a	通常散布50～100 L/10 a 少量散布25～50 L/10 a	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内
えだまめ	－	一年生雑草	収穫前日まで(畦間処理)(雑草生育期)	250～500 mL/10 a	少量散布25～50 L/10 a	2回以内	雑草茎葉散布	3回以内
ねぎ	－	一年生雑草	耕起又は定植7日前まで(雑草生育期)	250～500 mL/10 a	通常散布50～100 L/10 a 少量散布25～50 L/10 a	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内
ねぎ	－	一年生雑草	収穫30日前まで(雑草生育期:定植後畦間処理)	250～500 mL/10 a	通常散布50～100 L/10 a 少量散布25～50 L/10 a	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内
たまねぎ	－	一年生雑草	耕起又は定植の10日前まで(雑草生育期)	250～500 mL/10 a	通常散布50～100 L/10 a 少量散布25～50 L/10 a	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内
たまねぎ	－	一年生雑草	収穫7日前まで(雑草生育期:定植後畦間処理)	250～500 mL/10 a	通常散布50～100 L/10 a 少量散布25～50 L/10 a	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内
ﾚﾀｽ	－	一年生雑草	耕起又は定植の7日前まで(雑草生育期)	250～500 mL/10 a	通常散布50～100 L/10 a 少量散布25～50 L/10 a	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内
ほうれんそう	－	一年生雑草	耕起又はは種7日以前(雑草生育期)	250～500 mL/10 a	通常散布50～100 L/10 a 少量散布25～50 L/10 a	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内
薬用にんじん	－	一年生雑草	収穫180日前まで(雑草生育期：畦間処理)	500 mL/10 a	少量散布25～50 L/10 a	10回以内(1年間に2回以内)	雑草茎葉散布	10回以内(1年間に2回以内)

⑤　41.0%グリホサートアンモニウム塩液剤（つづき）

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量 薬量	使用量 希釈水量	本剤の使用回数	使用方法	ｸﾞﾘﾎｻｰﾄを含む農薬の総使用回数
ｱｽﾊﾟﾗｶﾞｽ	–	一年生雑草	耕起7日以前(雑草生育期)	250～500 mL/10 a	通常散布 50～100 L/10 a 少量散布 25～50 L/10 a	2回以内	雑草茎葉散布	3回以内
		ｽｷﾞﾅ	収穫前日まで(雑草生育期:畦間処理)	2000 mL/10 a	少量散布 25～50 L/10 a			
たらのき		一年生雑草	穂木採取7日以前ただし、収穫90日前まで(雑草生育期)	250～500 mL/10 a	通常散布 50～100 L/10 a 少量散布 25～50 L/10 a	3回以内		
ｵﾘｰﾌﾞ(葉)		ｽｷﾞﾅ	収穫21日前まで(雑草生育盛期)	2000 mL/10 a	少量散布 25～50 L/10 a			
		ﾏﾙﾊﾞﾂﾕｸｻ		500～2000 mL/10 a	通常散布 50～100 L/10 a 少量散布 25～50 L/10 a			
		一年生雑草	収穫21日前まで(雑草生育期)	250～500 mL/10 a				
		多年生雑草		500～1000 mL/10 a				
茶		一年生雑草	春～夏期ただし、摘採7日前まで(雑草生育期)	250～500 mL/10 a	少量散布 25～50 L/10 a	2回以内		2回以内

⑥　33.0%グリホサートアンモニウム塩液剤

<table>
<tr><th rowspan="2">作物名</th><th rowspan="2">適用場所</th><th rowspan="2">適用雑草名</th><th rowspan="2">使用時期</th><th colspan="2">使用量</th><th rowspan="2">本剤の使用回数</th><th rowspan="2">使用方法</th><th rowspan="2">ｸﾞﾘﾎｻｰﾄを含む農薬の総使用回数</th></tr>
<tr><th>薬量</th><th>希釈水量</th></tr>
<tr><td rowspan="2">果樹類(かんきつ､ﾊﾟｲﾅｯﾌﾟﾙを除く)</td><td rowspan="6">－</td><td>一年生雑草</td><td rowspan="4">収穫 7 日前まで(雑草生育期:草丈 30 cm 以下)</td><td>250～500 mL/10 a</td><td rowspan="6">通常散布 50～100 L/10 a 少量散布</td><td rowspan="4">3 回以内</td><td rowspan="10">雑草茎葉散布</td><td rowspan="2">3 回以内</td></tr>
<tr><td>多年生雑草</td><td>500～1000 mL/10 a</td></tr>
<tr><td rowspan="2">かんきつ</td><td>一年生雑草</td><td>250～500 mL/10 a</td><td rowspan="2">5 回以内</td></tr>
<tr><td>多年生雑草</td><td>500～1000 mL/10 a</td></tr>
<tr><td>キャベツ</td><td>一年生及び多年生雑草</td><td>耕起 7 日以前まで(雑草生育期:草丈 30 cm 以下)</td><td rowspan="6">250～500 mL/10 a</td><td rowspan="2">1 回</td><td>1 回</td></tr>
<tr><td>水田作物(水稲を除く)、移植水稲、直播水稲</td><td>一年生雑草</td><td>耕起 10 日以前まで(雑草生育期:草丈 30 cm 以下)</td><td>2 回以内</td></tr>
<tr><td>小麦</td><td rowspan="4">－</td><td>多年生ｲﾈ科雑草</td><td>耕起 7 日以前まで(雑草生育期)</td><td>25～50 L/10 a</td><td>3 回以内</td><td>3 回以内</td></tr>
<tr><td>だいず</td><td rowspan="2">一年生雑草</td><td>耕起又はは種 7 日以前まで(雑草生育期)</td><td rowspan="3">少量散布 25～50 L/10 a</td><td>2 回以内</td><td>4 回以内</td></tr>
<tr><td>さとうきび</td><td>耕起又は植付け 7 日以前まで(雑草生育期)</td><td>1 回</td><td>6 回以内</td></tr>
<tr><td>茶</td><td>一年生及び多年生雑草</td><td>春～夏期摘採 7 日前まで(雑草生育期)</td><td>2 回以内</td><td>2 回以内</td></tr>
</table>

⑦　52.0%グリホサートカリウム塩液剤

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	ｸﾞﾘﾎｻｰﾄを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
かんきつ	−	一年生雑草	雑草生育期ただし、収穫7日前まで	250～500 mL/10 a	通常散布 50～100 L/10 a 少量散布 25～50 L/10 a	3回以内	雑草茎葉散布	5回以内
		多年生雑草		500～1000 mL/10 a				
りんご、なし、ぶどう		一年生雑草		250～500 mL/10 a				3回以内
		多年生雑草		500～1000 mL/10 a				

⑧　48.0%グリホサートカリウム塩液剤

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	ｸﾞﾘﾎｻｰﾄを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
果樹類(かんきつを除く)	−	一年生雑草	収穫7日前まで(雑草生育期)	200～500 mL/10 a	通常散布 50～100 L/10 a 少量散布 25～50 L/10 a	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内
		多年生雑草		500～1000 mL/10 a				
		ｽｷﾞﾅ		1500～2000 mL/10 a				
		ﾏﾙﾊﾞﾂﾕｸｻ		500～1500 mL/10 a				
かんきつ		一年生雑草		200～500 mL/10 a		5回以内		5回以内
		多年生雑草		500～1000 mL/10 a				
		ｽｷﾞﾅ		1500～2000 mL/10 a				
		ﾏﾙﾊﾞﾂﾕｸｻ		500～1500 mL/10 a				

⑧　48.0%グリホサートカリウム塩液剤（つづき）

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	ｸﾞﾘﾎｻｰﾄを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
水田作物(水稲を除く)、移植水稲	−	一年生及び多年生雑草	耕起前(雑草生育期)	500 mL/10 a	少量散布 5～25 L/10 a	2回以内	雑草茎葉散布	2回以内
水田作物(水稲を除く)、移植水稲 直播水稲	−	一年生及び多年生雑草	耕起前(雑草生育期)	200～500 mL/10 a	通常散布 50～100 L/10 a 少量散布 25～50 L/10 a	2回以内	雑草茎葉散布	2回以内
直播水稲	−	一年生及び多年生雑草	耕起前(雑草生育期)	500 mL/10 a	少量散布 5～25 L/10 a	2回以内	雑草茎葉散布	2回以内
直播水稲	−	一年生及び多年生雑草	耕起直後～出芽前(雑草生育期)(乾田耕起栽培)	200～500 mL/10 a	少量散布 5～25 L/10 a	2回以内	雑草茎葉散布	2回以内
直播水稲	−	一年生及び多年生雑草	は種30日前～出芽前(雑草生育期)(乾田不耕起栽培)	200～500 mL/10 a	少量散布 5～25 L/10 a	2回以内	雑草茎葉散布	2回以内
麦類	−	一年生雑草	耕起前又はは種前まで(雑草生育期)	500 mL/10 a	少量散布 5～25 L/10 a	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内
麦類	−	一年生雑草及び多年生ｲﾈ科雑草	耕起前又はは種前まで(雑草生育期)	200～500 mL/10 a	通常散布 50～100 L/10 a 少量散布 25～50 L/10 a	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内
麦類	−	一年生雑草及び多年生ｲﾈ科雑草	は種後出芽前(雑草生育期)	200～500 mL/10 a	通常散布 50～100 L/10 a 少量散布 25～50 L/10 a	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内
麦類	圃場内の周縁部	一年生雑草	収穫前日まで(雑草生育期)	500 mL/10 a	少量散布 5～25 L/10 a	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内
雑穀類(そば、とうもろこしを除く)	−	一年生雑草	耕起前又はは種前まで(雑草生育期)	200～500 mL/10 a	通常散布 50～100 L/10 a 少量散布 25～50 L/10 a	2回以内	雑草茎葉散布	2回以内

⑧　48.0%グリホサートカリウム塩液剤（つづき）

<table>
<tr><th rowspan="2">作物名</th><th rowspan="2">適用場所</th><th rowspan="2">適用雑草名</th><th rowspan="2">使用時期</th><th colspan="2">使用量</th><th rowspan="2">本剤の使用回数</th><th rowspan="2">使用方法</th><th rowspan="2">ｸﾞﾘﾎｻｰﾄを含む農薬の総使用回数</th></tr>
<tr><th>薬量</th><th>希釈水量</th></tr>
<tr><td>そば</td><td rowspan="11">–</td><td rowspan="2">一年生及び多年生雑草</td><td>耕起前又はは種前まで(雑草生育期)</td><td rowspan="4">200～500 mL/10 a</td><td rowspan="4">通常散布
50～100 L/10 a
少量散布
25～50 L/10 a</td><td rowspan="7">2回以内</td><td rowspan="11">雑草茎葉散布</td><td rowspan="4">2回以内</td></tr>
<tr><td>とうもろこし</td><td>とうもろこし出芽前まで(雑草生育期)</td></tr>
<tr><td>豆類(種実、ただし、だいず、あずき、いんげんまめ、らっかせいを除く)</td><td rowspan="9">一年生雑草</td><td>耕起前又はは種前まで(雑草生育期)</td></tr>
<tr><td>あずき、いんげんまめ</td><td>収穫5日前まで(雑草生育期:畦間処理)</td></tr>
<tr><td rowspan="4">だいず</td><td>耕起前又はは種前まで(雑草生育期)</td><td>500 mL/10 a</td><td>少量散布
5～25 L/10 a</td><td rowspan="4">4回以内</td></tr>
<tr><td>耕起前又は出芽前まで(雑草生育期)</td><td rowspan="2">200～500 mL/10 a</td><td rowspan="2">通常散布
50～100 L/10 a
少量散布
25～50 L/10 a</td></tr>
<tr><td>収穫前日まで(雑草生育期:畦間処理)</td></tr>
<tr><td>落葉終期～収穫14日前まで(雑草生育期)</td><td rowspan="2">500 mL/10 a</td><td>50～100 L/10 a</td><td>1回</td></tr>
<tr><td rowspan="3">えだまめ</td><td>耕起前又はは種前まで(雑草生育期)</td><td>少量散布
5～25 L/10 a</td><td rowspan="2">3回以内</td><td rowspan="3">3回以内</td></tr>
<tr><td>耕起前又は出芽前まで(雑草生育期)</td><td rowspan="2">200～500 mL/10 a</td><td rowspan="2">通常散布
50～100 L/10 a
少量散布
25～50 L/10 a</td></tr>
<tr><td>収穫前日まで(雑草生育期:畦間処理)</td><td>2回以内</td></tr>
</table>

⑧　48.0%グリホサートカリウム塩液剤（つづき）

<table>
<tr><th rowspan="2">作物名</th><th rowspan="2">適用場所</th><th rowspan="2">適用雑草名</th><th rowspan="2">使用時期</th><th colspan="2">使用量</th><th rowspan="2">本剤の使用回数</th><th rowspan="2">使用方法</th><th rowspan="2">ｸﾞﾘﾎｻｰﾄを含む農薬の総使用回数</th></tr>
<tr><th>薬量</th><th>希釈水量</th></tr>
<tr><td>野菜類(えだまめ、はくさい、ｷｬﾍﾞﾂ、ｱｽﾊﾟﾗｶﾞｽ、ﾚﾀｽ、ねぎ、たまねぎ、にんにく、ほうれんそう、にんじん、だいこん、ﾄﾏﾄ、ﾋﾟｰﾏﾝ、とうがらし類、きゅうり、なす、びわ(葉)、ｵﾘｰﾌﾞ(葉)、薬用にんじん、たらのきを除く)</td><td rowspan="10">－</td><td rowspan="7">一年生雑草</td><td>耕起前まで(雑草生育期)</td><td rowspan="7">200～500 mL/10 a</td><td rowspan="10">通常散布 50～100 L/10 a
少量散布 25～50 L/10 a</td><td rowspan="2">1回</td><td rowspan="10">雑草茎葉散布</td><td rowspan="2">1回</td></tr>
<tr><td>はくさい、ｷｬﾍﾞﾂ</td><td rowspan="3">耕起前又は定植5日前まで(雑草生育期)</td></tr>
<tr><td>レタス</td><td rowspan="8">3回以内</td><td rowspan="8">3回以内</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ねぎ</td></tr>
<tr><td>収穫30日前まで(雑草生育期:定植後畦間処理)</td></tr>
<tr><td rowspan="3">たまねぎ(春播栽培)</td><td>耕起5日前まで(雑草生育期)</td></tr>
<tr><td>収穫7日前まで(雑草生育期:畦間処理)</td></tr>
<tr><td>ｽｷﾞﾅ</td><td>耕起又は定植14日前まで(ｽｷﾞﾅ生育期)</td><td>1500～2000 mL/10 a</td></tr>
<tr><td rowspan="2">たまねぎ(秋播栽培)</td><td rowspan="2">一年生雑草</td><td>耕起5日前まで(雑草生育期)</td><td rowspan="2">200～500 mL/10 a</td></tr>
<tr><td>収穫7日前まで(雑草生育期:畦間処理)</td></tr>
</table>

⑧　48.0%グリホサートカリウム塩液剤（つづき）

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	ｸﾞﾘﾎｻｰﾄを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
にんにく	－	一年生雑草	耕起前まで(雑草生育期)	200～500 mL/10 a	通常散布 50～100 L/10 a 少量散布 25～50 L/10 a	1回	雑草茎葉散布	1回
			収穫前日まで(雑草生育期:畦間処理)					
ほうれんそう			耕起前又はは種前まで(雑草生育期)			3回以内		3回以内
にんじん						2回以内		2回以内
ｱｽﾊﾟﾗｶﾞｽ			耕起前まで(雑草生育期)			1回		3回以内
			収穫前日まで(雑草生育期:畦間処理)			2回以内		
		ｽｷﾞﾅ		1500～2000 mL/10 a				
だいこん		一年生雑草	耕起前又はは種前まで(雑草生育期)	200～500 mL/10 a				2回以内
			収穫5日前まで(雑草生育期:畦間処理)					
ﾋﾟｰﾏﾝ、とうがらし類			耕起前まで(雑草生育期)					
			収穫前日まで(雑草生育期:畦間処理)					
なす、きゅうり			耕起前まで(雑草生育期)					3回以内
			収穫前日まで(雑草生育期:畦間処理)					
ﾄﾏﾄ、たらのき			耕起前まで(雑草生育期)			1回		
薬用にんじん								10回以内(1年間に2回以内)
いも類(かんしょを除く)			耕起前又は植付前まで(雑草生育期)					1回

⑧　48.0%グリホサートカリウム塩液剤（つづき）

<table>
<tr><th rowspan="2">作物名</th><th rowspan="2">適用場所</th><th rowspan="2">適用雑草名</th><th rowspan="2">使用時期</th><th colspan="2">使用量</th><th rowspan="2">本剤の使用回数</th><th rowspan="2">使用方法</th><th rowspan="2">ｸﾞﾘﾎｻｰﾄを含む農薬の総使用回数</th></tr>
<tr><th>薬量</th><th>希釈水量</th></tr>
<tr><td rowspan="2">かんしょ</td><td rowspan="13">−</td><td rowspan="2">一年生雑草</td><td>耕起前又は挿苗前まで(雑草生育期)</td><td rowspan="2">200～500 mL/10 a</td><td rowspan="2">通常散布 50～100 L/10 a
少量散布 25～50 L/10 a</td><td rowspan="2">2 回以内</td><td rowspan="13">雑草茎葉散布</td><td rowspan="2">2 回以内</td></tr>
<tr><td>収穫 60 日前まで(雑草生育期:畦間処理)</td></tr>
<tr><td rowspan="5">ｵﾘｰﾌﾞ(葉)</td><td rowspan="2">一年生雑草</td><td>耕起前まで(雑草生育期)</td><td rowspan="2">200～500 mL/10 a</td><td rowspan="11">通常散布 50～100 L/10 a
少量散布 25～50 L/10 a</td><td>1 回</td><td rowspan="10">3 回以内</td></tr>
<tr><td rowspan="4">収穫 21 日前まで(雑草生育期)</td><td rowspan="4">3 回以内</td></tr>
<tr><td>多年生雑草</td><td>500～1000 mL/10 a</td></tr>
<tr><td>ｽｷﾞﾅ</td><td>1500 mL/10 a</td></tr>
<tr><td>ﾏﾙﾊﾞﾂﾕｸｻ</td><td>500～1500 mL/10 a</td></tr>
<tr><td rowspan="5">びわ(葉)</td><td rowspan="2">一年生雑草</td><td>耕起前まで(雑草生育期)</td><td rowspan="2">200～500 mL/10 a</td><td>1 回</td></tr>
<tr><td rowspan="4">収穫 7 日前まで(雑草生育期)</td><td rowspan="4">3 回以内</td></tr>
<tr><td>多年生雑草</td><td>500～1000 mL/10 a</td></tr>
<tr><td>ｽｷﾞﾅ</td><td>1500～2000 mL/10 a</td></tr>
<tr><td>ﾏﾙﾊﾞﾂﾕｸｻ</td><td>500～1500 mL/10 a</td></tr>
<tr><td>茶</td><td>一年生及び多年生雑草</td><td>摘採 7 日前まで(雑草生育期)</td><td>200～500 mL/10 a</td><td>2 回以内</td><td>2 回以内</td></tr>
</table>

⑧　48.0%グリホサートカリウム塩液剤（つづき）

<table>
<tr><th rowspan="2">作物名</th><th rowspan="2">適用場所</th><th rowspan="2">適用雑草名</th><th rowspan="2">使用時期</th><th colspan="2">使用量</th><th rowspan="2">本剤の使用回数</th><th rowspan="2">使用方法</th><th rowspan="2">ｸﾞﾘﾎｻｰﾄを含む農薬の総使用回数</th></tr>
<tr><th>薬量</th><th>希釈水量</th></tr>
<tr><td rowspan="5">さとうきび</td><td rowspan="3">–</td><td>一年生雑草</td><td rowspan="2">耕起前又は植付前まで(雑草生育期)</td><td>200～500 mL/10 a</td><td rowspan="5">通常散布 50～100 L/10 a
少量散布 25～50 L/10 a</td><td rowspan="2">4回以内</td><td rowspan="5">雑草茎葉散布</td><td rowspan="5">6回以内</td></tr>
<tr><td>多年生雑草</td><td rowspan="2">500～1000 mL/10 a</td></tr>
<tr><td>一年生及び多年生雑草</td><td>収穫60日前まで(雑草生育期:畦間処理)(ただし、仮茎長1.5 m以上)</td><td rowspan="3">2回以内</td></tr>
<tr><td rowspan="2">圃場内の周縁部</td><td>一年生雑草</td><td rowspan="2">収穫60日前まで(雑草生育期)</td><td>200～500 mL/10 a</td></tr>
<tr><td>多年生雑草</td><td>500～1000 mL/10 a</td></tr>
</table>

⑨　44.7%グリホサートカリウム塩液剤

<table>
<tr><th rowspan="2">作物名</th><th rowspan="2">適用場所</th><th rowspan="2">適用雑草名</th><th rowspan="2">使用時期</th><th colspan="2">使用量</th><th rowspan="2">本剤の使用回数</th><th rowspan="2">使用方法</th><th rowspan="2">ｸﾞﾘﾎｻｰﾄを含む農薬の総使用回数</th></tr>
<tr><th>薬量</th><th>希釈水量</th></tr>
<tr><td>陸稲</td><td rowspan="3">–</td><td rowspan="3">一年生雑草</td><td>耕起前又はは種前(雑草生育期:草丈30 cm以下)</td><td rowspan="3">250～500 mL/10 a</td><td rowspan="2">25～100 L/10 a</td><td>2回以内</td><td rowspan="3">雑草茎葉散布</td><td rowspan="3">2回以内</td></tr>
<tr><td>水田作物(水稲を除く)、移植水稲</td><td>耕起前(雑草生育期:草丈30 cm以下)</td><td rowspan="2">1回</td></tr>
<tr><td>直播水稲</td><td>は種14日前～出芽前(雑草生育期)(乾田不耕起栽培)</td><td>50～100 L/10 a</td></tr>
</table>

⑨　44.7%グリホサートカリウム塩液剤（つづき）

<table>
<tr><th rowspan="2">作物名</th><th rowspan="2">適用場所</th><th rowspan="2">適用雑草名</th><th rowspan="2">使用時期</th><th colspan="2">使用量</th><th rowspan="2">本剤の使用回数</th><th rowspan="2">使用方法</th><th rowspan="2">ｸﾞﾘﾎｻｰﾄを含む農薬の総使用回数</th></tr>
<tr><th>薬量</th><th>希釈水量</th></tr>
<tr><td rowspan="4">さとうきび</td><td rowspan="2">－</td><td rowspan="3">一年生雑草</td><td>耕起前又は植付前(雑草生育期:草丈 30 cm 以下)</td><td>250～500 mL/10 a</td><td rowspan="2">25～100 L/10 a</td><td>2 回以内</td><td rowspan="4">雑草茎葉散布</td><td rowspan="4">6 回以内</td></tr>
<tr><td>収穫 60 日前まで(雑草生育期:畦間処理)(ただし、仮茎長 1.5 m 以上)</td><td>500 mL/10 a</td><td>1 回</td></tr>
<tr><td rowspan="2">圃場内の周縁部</td><td rowspan="2">雑草生育期ただし､収穫 7 日前まで</td><td>250～500 mL/10 a</td><td rowspan="2">25～50 L/10 a</td><td rowspan="2">2 回以内</td></tr>
<tr><td>多年生雑草</td><td>500～1000 mL/10 a</td></tr>
</table>

⑨　44.7%グリホサートカリウム塩液剤（つづき）

<table>
<tr><th rowspan="2">作物名</th><th rowspan="2">適用場所</th><th rowspan="2">適用雑草名</th><th rowspan="2">使用時期</th><th colspan="2">使用量</th><th rowspan="2">本剤の使用回数</th><th rowspan="2">使用方法</th><th rowspan="2">ｸﾞﾘﾎｻｰﾄを含む農薬の総使用回数</th></tr>
<tr><th>薬量</th><th>希釈水量</th></tr>
<tr><td rowspan="2">麦類(大麦、小麦(秋播)を除く)</td><td>－</td><td rowspan="7">一年生雑草</td><td>耕起又はは種前(雑草生育期)</td><td rowspan="7">250～500 mL/10 a</td><td>25～100 L/10 a</td><td rowspan="3">3回以内</td><td rowspan="10">雑草茎葉散布</td><td rowspan="10">3回以内</td></tr>
<tr><td>圃場内の周縁部</td><td>雑草生育期ただし、収穫7日前まで(草丈30 cm以下)</td><td>25～50 L/10 a</td></tr>
<tr><td rowspan="3">大麦</td><td rowspan="2">－</td><td>耕起又はは種前(雑草生育期)</td><td rowspan="2">25～100 L/10 a</td></tr>
<tr><td>は種後出芽前(雑草生育期:草丈30 cm以下)</td><td>1回</td></tr>
<tr><td>圃場内の周縁部</td><td>雑草生育期ただし、収穫7日前まで(草丈30 cm以下)</td><td>25～50 L/10 a</td><td>3回以内</td></tr>
<tr><td rowspan="4">小麦(秋播)</td><td rowspan="3">－</td><td>耕起又はは種前(雑草生育期)</td><td rowspan="3">25～100 L/10 a</td><td rowspan="4">1回</td></tr>
<tr><td>は種後出芽前(雑草生育期:草丈30 cm以下)</td></tr>
<tr><td>多年生ｲﾈ科雑草</td><td>耕起3日以前(雑草生育期)</td><td>500～1000 mL/10 a</td></tr>
<tr><td>圃場内の周縁部</td><td>一年生雑草</td><td>雑草生育期ただし、収穫3日前まで(草丈30 cm以下)</td><td>250～500 mL/10 a</td><td>25～50 L/10 a</td></tr>
</table>

⑨　44.7%グリホサートカリウム塩液剤（つづき）

<table>
<tr><th rowspan="2">作物名</th><th rowspan="2">適用場所</th><th rowspan="2">適用雑草名</th><th rowspan="2">使用時期</th><th colspan="2">使用量</th><th rowspan="2">本剤の使用回数</th><th rowspan="2">使用方法</th><th rowspan="2">ｸﾞﾘﾎｻｰﾄを含む農薬の総使用回数</th></tr>
<tr><th>薬量</th><th>希釈水量</th></tr>
<tr><td>雑穀類(そばを除く)</td><td rowspan="8">－</td><td>一年生雑草</td><td>耕起又はは種7日以前(雑草生育期：草丈30 cm以下)</td><td rowspan="3">250～500 mL/10 a</td><td>25～50 L/10 a</td><td rowspan="2">2回以内</td><td rowspan="8">雑草茎葉散布</td><td rowspan="2">2回以内</td></tr>
<tr><td>そば</td><td>一年生及び多年生雑草(ｽｷﾞﾅを除く)</td><td>耕起又はは種前(雑草生育期:草丈30 cm以下)</td><td rowspan="3">25～100 L/10 a</td></tr>
<tr><td rowspan="3">果樹類(かんきつを除く)</td><td>一年生雑草</td><td rowspan="2">収穫5日前まで(雑草生育期:草丈30 cm以下)</td><td rowspan="6">3回以内</td><td rowspan="3">3回以内</td></tr>
<tr><td>多年生雑草</td><td>500～1000 mL/10 a</td></tr>
<tr><td>ｽｷﾞﾅ</td><td>収穫5日前まで(雑草生育期)</td><td>1500～2000 mL/10 a</td><td>25～50 L/10 a</td></tr>
<tr><td rowspan="3">かんきつ</td><td>一年生雑草</td><td rowspan="2">収穫5日前まで(雑草生育期:草丈30 cm以下)</td><td>250～500 mL/10 a</td><td rowspan="2">10～100 L/10 a</td><td rowspan="3">5回以内</td></tr>
<tr><td>多年生雑草</td><td>500～1000 mL/10 a</td></tr>
<tr><td>ｽｷﾞﾅ</td><td>収穫5日前まで(雑草生育期)</td><td>1500～2000 mL/10 a</td><td>25～50 L/10 a</td></tr>
</table>

⑨　44.7%グリホサートカリウム塩液剤（つづき）

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	ｸﾞﾘﾎｻｰﾄを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
野菜類(えだまめ、たらのき、はくさい、ｷｬﾍﾞﾂ、ﾚﾀｽ、ねぎ、たまねぎ、ほうれんそう、にんじん、だいこん、はつかだいこん、ｱｽﾊﾟﾗｶﾞｽ、ﾄﾏﾄ、きゅうり、なす、ｵﾘｰﾌﾞ(葉)、とうがらし類、ﾋﾟｰﾏﾝ、びわ(葉)、薬用にんじんを除く)	－	一年生雑草	耕起7日以前(雑草生育期:草丈30 cm以下)	250～500 mL/10 a	25～50 L/10 a	1回	雑草茎葉散布	1回
とうがらし類、ﾋﾟｰﾏﾝ	－	一年生雑草	耕起7日以前(雑草生育期:草丈30 cm以下)	250～500 mL/10 a	25～50 L/10 a	1回	雑草茎葉散布	2回以内
ｵﾘｰﾌﾞ(葉)、びわ(葉)	－	一年生雑草	耕起7日以前(雑草生育期:草丈30 cm以下)	250～500 mL/10 a	25～50 L/10 a	1回	雑草茎葉散布	3回以内
薬用にんじん	－	一年生雑草	耕起7日以前(雑草生育期:草丈30 cm以下)	250～500 mL/10 a	25～50 L/10 a	1回	雑草茎葉散布	10回以内(1年間に2回以内)
ﾚﾀｽ	－	一年生雑草	耕起又は定植7日以前(雑草生育期:草丈30 cm以下)	250～500 mL/10 a	25～50 L/10 a	2回以内	雑草茎葉散布	3回以内
ねぎ	－	一年生雑草	耕起又は定植7日以前(雑草生育期:草丈30 cm以下)	250～500 mL/10 a	25～50 L/10 a	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内
ねぎ	－	一年生雑草	畦間処理:雑草生育期(草丈30 cm以下)ただし、収穫7日前まで	250～500 mL/10 a	25～100 L/10 a	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内
ｷｬﾍﾞﾂ、はくさい	－	一年生雑草	耕起又は定植7日以前(雑草生育期:草丈30 cm以下)	250～500 mL/10 a	25～50 L/10 a	1回	雑草茎葉散布	1回
にんじん	－	一年生雑草	耕起又はは種7日以前(雑草生育期:草丈30 cm以下)	250～500 mL/10 a	25～50 L/10 a	2回以内	雑草茎葉散布	2回以内
ほうれんそう	－	一年生雑草	耕起又はは種7日以前(雑草生育期:草丈30 cm以下)	250～500 mL/10 a	25～50 L/10 a	2回以内	雑草茎葉散布	3回以内
だいこん	－	一年生雑草	耕起又はは種7日以前(雑草生育期:草丈30 cm以下)	250～500 mL/10 a	25～50 L/10 a	1回	雑草茎葉散布	2回以内
はつかだいこん	－	一年生雑草	耕起又はは種7日以前(雑草生育期:草丈30 cm以下)	250～500 mL/10 a	25～50 L/10 a	1回	雑草茎葉散布	1回
えだまめ、たらのき	－	一年生雑草	耕起7日以前(雑草生育期:草丈30 cm以下)	250～500 mL/10 a	25～50 L/10 a	1回	雑草茎葉散布	3回以内

⑨　44.7%グリホサートカリウム塩液剤（つづき）

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量 薬量	使用量 希釈水量	本剤の使用回数	使用方法	ｸﾞﾘﾎｻｰﾄを含む農薬の総使用回数
たまねぎ	－	一年生雑草	耕起7日以前(雑草生育期:草丈30 cm以下)	250～500 mL/10 a	25～50 L/10 a	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内
たまねぎ	－	一年生雑草	畦間処理:雑草生育期(草丈30 cm以下)ただし、収穫7日前まで	250～500 mL/10 a	25～50 L/10 a	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内
ｱｽﾊﾟﾗｶﾞｽ	－	一年生雑草	耕起7日以前(雑草生育期:草丈30 cm以下)	250～500 mL/10 a	25～50 L/10 a	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内
ｱｽﾊﾟﾗｶﾞｽ	－	ｽｷﾞﾅ	畦間処理:雑草生育期 ただし、収穫前日まで	1500～2000 mL/10 a	25～50 L/10 a	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内
ｱｽﾊﾟﾗｶﾞｽ	－	ｽｷﾞﾅ	萌芽前又は収穫打切り後(雑草生育期:草丈30 cm以下)	1000 mL/10 a	25～100 L/10 a	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内
ｱｽﾊﾟﾗｶﾞｽ	－	一年生広葉雑草	萌芽前又は収穫打切り後(雑草生育期:草丈30 cm以下)	500～1000 mL/10 a	25～100 L/10 a	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内
なす、ﾄﾏﾄ、きゅうり	－	一年生雑草	耕起7日以前(雑草生育期:草丈30 cm以下)	250～500 mL/10 a	25～50 L/10 a	1回	雑草茎葉散布	3回以内
なす、ﾄﾏﾄ、きゅうり	－	一年生雑草	畦間処理:雑草生育期(草丈30 cm以下)ただし、収穫前日まで	250～500 mL/10 a	25～100 L/10 a	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内
豆類(種実、ただし、だいず、らっかせいを除く)	－	一年生雑草	耕起7日以前(雑草生育期:草丈30 cm以下)	250～500 mL/10 a	25～50 L/10 a	1回	雑草茎葉散布	2回以内
豆類(種実、ただし、だいず、らっかせいを除く)	－	一年生雑草	畦間処理:雑草生育期 ただし、収穫3日前まで	250～500 mL/10 a	25～50 L/10 a	1回	雑草茎葉散布	2回以内

⑨　44.7%グリホサートカリウム塩液剤（つづき）

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	ｸﾞﾘﾎｻｰﾄを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
だいず	−	一年生雑草	耕起又はは種7日以前(雑草生育期:草丈30 cm以下)	250～500 mL/10 a	25～100 L/10 a	2回以内	雑草茎葉散布	4回以内
			は種後出芽前(雑草生育期:草丈30 cm以下)					
			畦間処理:雑草生育期 ただし、収穫前日まで		25～50 L/10 a			
		ｺｳｷﾔｶﾞﾗ	耕起又はは種7日以前(雑草生育期:草丈30 cm以下)		25～100 L/10 a			
いも類(ばれいしょ、かんしょを除く)		一年生雑草	耕起7日以前(雑草生育期:草丈30 cm以下)		25～50 L/10 a	1回		1回
かんしょ					25～100 L/10 a			2回以内
ばれいしょ			耕起又は植付前(雑草生育期:草丈30 cm以下)		25～50 L/10 a			1回
			植付後萌芽前(雑草生育期:草丈30 cm以下)		25～100 L/10 a			
茶		一年生及び多年生雑草	摘採7日前まで(雑草生育期(春～夏期):草丈30 cm以下)		25～50 L/10 a	2回以内		2回以内

⑨　44.7%グリホサートカリウム塩液剤（つづき）

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	希釈倍数	使用液量	本剤の使用回数	使用方法	ｸﾞﾘﾎｻｰﾄを含む農薬の総使用回数
だいず	－	一年生広葉雑草	生育期(雑草生育期)ただし､収穫 7 日前まで	2 倍	0.1 mL を 1～3 か所/株(500 mL/10 a)	2 回以内	雑草茎葉塗布	4 回以内

⑩　30.0%グリホサートイソプロピルアミン塩・0.16%ピラフルフェンエチルフロアブル

<table>
<tr><th rowspan="2">作物名</th><th rowspan="2">適用場所</th><th rowspan="2">適用雑草名</th><th rowspan="2">使用時期</th><th colspan="2">使用量</th><th rowspan="2">本剤の使用回数</th><th rowspan="2">使用方法</th><th rowspan="2">ｸﾞﾘﾎｻｰﾄを含む農薬の総使用回数</th></tr>
<tr><th>薬量</th><th>希釈水量</th></tr>
<tr><td>果樹類(かんきつ､ｷｳｲﾌﾙｰﾂ､ﾊﾟｲﾅｯﾌﾟﾙを除く)</td><td rowspan="7">－</td><td rowspan="2">一年生及び多年生雑草</td><td rowspan="2">収穫 7 日前まで(雑草生育期:草丈 30 cm 以下)</td><td rowspan="2">400～1000 mL/10 a</td><td rowspan="7">100 L/10 a</td><td rowspan="2">3 回以内</td><td rowspan="7">雑草茎葉散布</td><td>3 回以内</td></tr>
<tr><td>かんきつ</td><td>5 回以内</td></tr>
<tr><td>だいこん</td><td rowspan="5">一年生雑草</td><td>耕起前または は種 7 日前まで(雑草生育期:草丈 30 cm 以下)</td><td rowspan="5">400～600 mL/10 a</td><td rowspan="2">1 回</td><td>2 回以内</td></tr>
<tr><td>ｷｬﾍﾞﾂ､はくさい</td><td rowspan="2">耕起前または定植 7 日前まで(雑草生育期:草丈 30 cm 以下)</td><td>1 回</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ねぎ</td><td rowspan="3">3 回以内</td><td rowspan="3">3 回以内</td></tr>
<tr><td>定植後畦間処理ただし､収穫 30 日前まで(雑草生育期)</td></tr>
<tr><td>たまねぎ(秋播移植栽培)</td><td>耕起 7 日前まで(雑草生育期:草丈 30 cm 以下)</td></tr>
</table>

⑩　30.0%グリホサートイソプロピルアミン塩・0.16%ピラフルフェンエチルフロアブル（つづき）

<table>
<tr><th rowspan="2">作物名</th><th rowspan="2">適用場所</th><th rowspan="2">適用雑草名</th><th rowspan="2">使用時期</th><th colspan="2">使用量</th><th rowspan="2">本剤の使用回数</th><th rowspan="2">使用方法</th><th rowspan="2">ｸﾞﾘﾎｻｰﾄを含む農薬の総使用回数</th></tr>
<tr><th>薬量</th><th>希釈水量</th></tr>
<tr><td rowspan="3">だいず</td><td rowspan="9">－</td><td rowspan="7">一年生雑草</td><td>畦間処理:雑草生育期(草丈30 cm以下)ただし、収穫前日まで</td><td rowspan="7">400～600 mL/10 a</td><td rowspan="9">100 L/10 a</td><td rowspan="3">2回以内</td><td rowspan="9">雑草茎葉散布</td><td rowspan="3">4回以内</td></tr>
<tr><td>は種後出芽前(雑草生育期:草丈30 cm以下)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">耕起前またはは種10日前まで(雑草生育期:草丈30 cm以下)</td></tr>
<tr><td>えだまめ</td><td rowspan="2">1回</td><td rowspan="5">3回以内</td></tr>
<tr><td>麦類(小麦を除く)</td><td>耕起7日前まで(雑草生育期)</td></tr>
<tr><td rowspan="3">小麦</td><td>は種後出芽前(雑草生育期)</td><td rowspan="3">2回以内</td></tr>
<tr><td rowspan="2">耕起前(雑草生育期)</td></tr>
<tr><td>多年生雑草</td><td>500～1000 mL/10 a</td></tr>
<tr><td>水田作物(水稲を除く)、移植水稲、直播水稲</td><td>一年生雑草</td><td>耕起20～10日前(雑草生育期)</td><td>400～600 mL/10 a</td><td>1回</td><td>2回以内</td></tr>
</table>

⑩　30.0%グリホサートイソプロピルアミン塩・0.16%ピラフルフェンエチルフロアブル（つづき）

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	ｸﾞﾘﾎｻｰﾄを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
茶	–	一年生及び多年生雑草	摘採7日前まで(雑草生育期)	400～600 mL/10 a	100 L/10 a	1回	雑草茎葉散布	2回以内
かんきつ			収穫7日前まで(雑草生育期:草丈30 cm以下)			3回以内		5回以内
りんご、なし、もも、ぶどう								3回以内

⑪　0.30%グリホサートイソプロピルアミン塩･0.0016%ピラフルフェンエチルフロアブル

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ｸﾞﾘﾎｻｰﾄを含む農薬の総使用回数
かんきつ	–	一年生及び多年生雑草	収穫7日前まで(雑草生育期:草丈30 cm以下)	60 mL/m^{2}原液散布	3回以内	雑草茎葉散布	5回以内

⑫　20.0%グリホサートイソプロピルアミン塩・0.50%カルフェントラゾンエチル液剤

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	ｸﾞﾘﾎｻｰﾄを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
みかん	–	一年生及び多年生雑草	雑草生育期(草丈30 cm以下)収穫7日前まで	400～600 mL/10 a	100 L/10 a	3回以内	雑草茎葉散布	5回以内
りんご、なし、ぶどう								

（２）海外での使用方法

①　540 g ae/L グリホサートカリウム塩液剤（米国）

作物名	使用時期	1回あたりの最大使用量	年間最大総使用量	使用方法
綿実	播種前、播種時、出芽前	0.43-4.2 kg ae/ha	6.7 kg ae/ha まで	雑草茎葉散布
	さくの開じょ前	スポット処理		
	収穫7日前まで	0.83-1.7 kg ae/ha		
綿実（グリホサート耐性品種）	播種前、播種時、出芽前	4.2 kg ae/ha		散雑草茎葉散布（作物生育期全面散布を含む）
	出芽後からさくの60%開じょまで	1.7 kg ae/ha		
	さくの60%開じょから収穫7日前まで			
ひまわり	出芽前、生育期（畦間処理）	0.87 kg ae/ha		散布
	収穫7日前まで			
べにばな	出芽前、生育期（畦間処理）	2.5 kg ae/ha		
	収穫7日前まで			
その他のオイルシード（ごまを含む）	播種30日前まで	―		
	収穫7日前まで	―		

ae：acid equivalent グリホサート換算値

②　600 g ae/L グリホサートカリウム塩液剤（米国）

作物名	使用時期	1回あたりの最大使用量	年間最大総使用量	使用方法
だいず（グリホサート耐性品種）	播種前、播種時、出芽前	4.21 kg ae/ha	6.73 kg ae/ha	散布
	作物生育期、ただし収穫14日前まで	1.75 kg ae/ha		
とうもろこし（グリホサート耐性品種）	播種前、播種時、出芽前	4.21 kg ae/ha		
	作物生育期、ただし収穫7日前まで	0.88 kg ae/ha		

③　500 g ae/L グリホサートカリウム塩液剤（米国）

作物名	使用時期	1回あたりの最大使用量	年間最大総使用量	使用方法
とうもろこし（グリホサート耐性品種）	播種前、播種時、出芽前	4.21 kg ae/ha	6.73 kg ae/ha	散布
	作物生育期、ただし収穫7日前まで	0.88 kg ae/ha		

④　540 g ae/L グリホサートカリウム塩液剤（豪州）

作物名	1回当りの 使用量	本剤の 使用回数	使用時期	使用方法
小豆類	0.68-1.8 L/ha (0.37-0.97 kg ai/ha)	1回	収穫7日前まで	散布

⑤　450 g ae/L グリホサートカリウム塩液剤（EU）

作物名	1回当りの 使用量	本剤の 使用回数	年間 最大使用量	使用時期	使用方法
ぶどう	1.8 kg ae/ha	2回	3.6 kg ae/ha	収穫30日前まで	散布
	3.6 kg ae/ha	1回			

⑥　500 g ae/L グリホサートカリウム塩液剤（カナダ）

作物名	使用時期	1回あたりの 最大使用量	年間最大総 使用量	使用方法
なたね （グリホサート耐性品種）	収穫14日前～7日前まで	0.9 kg ae/ha	—	散布

３．作物残留試験

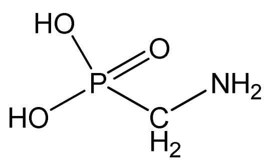
（１）分析の概要

【国内】

①　分析対象の化合物

・グリホサート

・アミノメチルホスホン酸（AMPA）（以下、代謝物Bという）



代謝物B

②　分析法の概要

ｉ）グリホサート

試料にクロロホルム又はジクロロメタンを加えて水で抽出し、強塩基性陰イオン交換樹脂カラム、強酸性陽イオン交換樹脂カラム、グラファイトカーボンカラム、C_{18}カラム、SCXカラム及びSAXカラム等を用いて精製した後、9-フルオレニ

ルメチルクロロホルマート（FMCL）で蛍光ラベル化する。酢酸エチルで洗浄した後、蛍光光度型検出器付き高速液体クロマトグラフ（HPLC-FL）で定量する。

または、試料にクロロホルムを加えて水で抽出し、ヘキサンで洗浄する。強酸性陽イオン交換樹脂カラムで2回精製した後、FMCLで蛍光ラベル化する。酢酸エチルで洗浄した後、HPLC-FLで定量する。

または、試料にジクロロメタンを加えて水で抽出し、強酸性陽イオン交換樹脂カラム、グラファイトカーボンカラム、C_{18}カラム、SCXカラム等で精製する。*o*-フタルアルデヒド（OPA）で1級アミン類を誘導体化し、グラファイトカーボン・C_{18}連結カラムで精製する。FMCLで蛍光ラベル化し、酢酸エチルで洗浄した後、HPLC-FLで定量する。

または、試料に水、ホウ酸ナトリウム溶液及びOPA試薬を加えて振とうした後、グラファイトカーボンを加えてさらに振とうする。上清液を採り、C_{18}カラムで精製し、FMCLで蛍光ラベル化する。酢酸エチルで洗浄した後、HPLC-FLで定量する。

あるいは、試料にクロロホルム又は塩化マグネシウム及びクロロホルムを加えて水で抽出し、強塩基性陰イオンカラム、SAXカラム又はSCX・SAX連結カラムで精製する。オルト酢酸トリメチルで誘導体化後、PSA・シリカゲル連結カラムで精製し、炎光光度型検出器（リン用干渉フィルター）付きガスクロマトグラフ（GC-FPD(P)）で定量する。

茶については、茶10 gに沸騰水600 mLを加え、5分間放置し、ろ過する。ろ液をクロロホルムで洗浄し、強酸性陽イオン交換樹脂カラム、強塩基性陰イオン交換樹脂カラム、次いで強酸性陽イオン交換樹脂カラムで精製する。FMCLで蛍光ラベル化し、酢酸エチルで洗浄した後、HPLC-FLで定量する。

定量限界：0.01～0.5 ppm

ⅱ）代謝物B

試料にクロロホルム又はジクロロメタンを加えて水で抽出し、強塩基性陰イオン交換樹脂カラム、強酸性陽イオン交換樹脂カラム、強塩基性陰イオン交換樹脂カラム・グラファイトカーボン連結カラム、グラファイトカーボン・C_{18}連結カラム、グラファイトカーボン・SCX連結カラム、グラファイトカーボン・SCX・C_{18}連結カラム等で精製した後、FMCLで蛍光ラベル化する。酢酸エチルで洗浄し、HPLC-FLで定量する。代謝物Bの残留試験結果及び定量限界は、グリホサートに換算した値（換算係数：1.52）を使用した。

定量限界	グリホサート	：0.01～0.5 ppm
	代謝物B	：0.005～0.05 ppm

【海外】

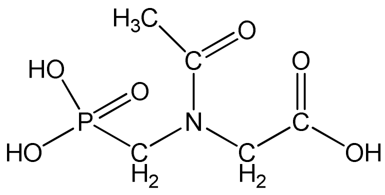
① 分析対象の化合物

・グリホサート

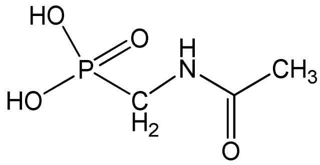
・*N*-アセチルグリホサート（以下、NAG という）

・代謝物Ｂ

・*N*-アセチルアミノメチルホスホン酸（以下、代謝物Ｆという）



NAG



代謝物Ｆ

② 分析法の概要

<u>ⅰ）グリホサート及び代謝物Ｂ</u>

試料に 0.1 mol/L 塩酸及びクロロホルム又はジクロロメタンを加えて抽出する。水層を採り、pH 1.6～2.4 としてキレートイオン交換樹脂カラム及び強塩基性陰イオン交換樹脂カラム又は強酸性陽イオン交換樹脂カラム、必要に応じて C_{18} カラムで精製し、OPA ポストカラム反応蛍光検出器付き高速液体クロマトグラフ（HPLC-FL（ポストカラム））で定量する。

または、試料から水で抽出し、クロロホルムで洗浄する。強塩基性陰イオン交換樹脂カラム、活性炭処理及び強酸性陽イオン交換樹脂カラムで精製し、ジアゾメタンでメチル化する。ジクロロメタンに転溶した後、GC-FPD(P)で定量する。

あるいは、試料から水で抽出し、ジクロロメタンで洗浄する。強酸性陽イオン交換樹脂カラムで精製し、無水トリフルオロ酢酸及びヘプタフルオロブタノールでトリフルオロアセチル化及びヘプタフルオロブチルエステル化した後ガスクロマトグラフ・質量分析計（GC-MS）で定量する。代謝物Ｂの残留試験結果及び定量限界は、グリホサートに換算した値（換算係数：1.52）を使用した。

定量限界：0.05 ppm

<u>ⅱ）グリホサート、NAG、代謝物Ｂ及び代謝物Ｆ</u>

試料から 0.1％ギ酸・メタノール（24：1）混液で抽出し、ジクロロメタンで洗浄した後、C_{18} カラムで精製する。グリホサート、NAG 及び代謝物Ｆを 4 級アンモニウム塩修飾ジビニルベンゼン-*N*-ビニルピロリドン共重合体カラムで、代謝物Ｂをスルホン酸塩修飾ジビニルベンゼン-*N*-ビニルピロリドン共重合体カラムで精製し、内部標準物質(1,2-$^{13}C_2{}^{15}N$)グリホサート及び $^{13}C^{15}N$ 代謝物Ｂを加え、液体クロマトグラフ・タンデム型質量分析計（LC-MS/MS）で定量する。NAG、代謝物Ｂ及

び代謝物Ｆの残留試験結果及び定量限界は、グリホサートに換算した値（換算係数：0.801(NAG)、1.52(代謝物Ｂ)、1.10(代謝物Ｆ)）を使用した。

定量限界：0.05 ppm

（２）作物残留試験結果

国内で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙1-1、1-2及び1-3、海外で実施された作物残留試験結果の概要については別紙1-4、1-5及び1-6を参照。遺伝子組換え品種の作物残留試験結果の概要は別紙1-7を参照。

４．畜産物への推定残留濃度

（１）分析の概要

① 分析対象の化合物

・グリホサート
・NAG
・代謝物Ｂ
・代謝物Ｆ

② 分析法の概要

ⅰ）グリホサート及び代謝物Ｂ

試料から水で抽出し、pH 1.6～2.4としてキレートイオン交換樹脂カラム及び強塩基性陰イオン交換樹脂カラムで精製し、HPLC-FL（ポストカラム）で定量する。代謝物Ｂの残留試験結果及び定量限界は、グリホサートに換算した値（換算係数：1.52）を使用した。

定量限界：0.05 ppm

ⅱ）グリホサート、NAG、代謝物Ｂ及び代謝物Ｆ

試料から0.1%ギ酸・メタノール（24：1）混液で抽出し、ジクロロメタンで洗浄した後、C_{18}カラムで精製する。グリホサート、NAG及び代謝物Ｆを4級アンモニウム塩修飾ジビニルベンゼン-*N*-ビニルピロリドン共重合体カラムで、代謝物Ｂをスルホン酸塩修飾ジビニルベンゼン-N-ビニルピロリドン共重合体カラムで精製し、内部標準物質(1,2-$^{13}C_2{}^{15}N$)グリホサート及び$^{13}C^{15}N$代謝物Ｂを加え、LC-MS/MSで定量する。NAG、代謝物Ｂ及び代謝物Ｆの残留試験結果及び定量限界は、グリホサートに換算した値（換算係数： 0.801(NAG)、1.52(代謝物Ｂ)、1.10(代謝物Ｆ)）を使用した。

定量限界：0.025～0.05 ppm

（２）家畜残留試験（動物飼養試験）

① 乳牛における残留試験

乳牛に対して、グリホサートと代謝物Bの混合物（9:1）が40、100及び400 ppm含有する飼料を28日間にわたり摂食させ、筋肉、脂肪、肝臓、腎臓及び乳に含まれるグリホサート及び代謝物Bの濃度を測定した。最高用量群で、乳中の残留は認められなかった。28日間の投与後のグリホサート及び代謝物Bの残留濃度は、すべての投与群の筋肉及び脂肪で0.05 ppm未満であった。肝臓のグリホサートの残留濃度は、40、100及び400 ppm群でそれぞれ0.06、0.07及び0.21 ppm（代謝物Bを含めた残留濃度はそれぞれ0.06、0.07及び0.47 ppm）であった。腎臓のグリホサート残留濃度は、40、100及び400 ppm群でそれぞれ0.32、0.82及び3.3 ppm（代謝物Bを含めた残留濃度はそれぞれ0.42、1.2及び4.5 ppm）であった。最終投与28日後までに、全ての組織及び乳中の残留濃度は0.05 ppm未満であった。

乳牛に対して、NAGが44、130、437及び1179 ppm含有する飼料を28日間摂食させ、筋肉、脂肪、肝臓、腎臓及び乳に含まれるNAG、グリホサート、代謝物B及び代謝物Fの濃度を測定した。乳については、全ての投与群の全ての検査時点で定量限界（0.025 ppm）未満であった。最高用量群の筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓の最大総残留濃度はそれぞれ0.053、0.22、0.52及び3.6 ppmであった。

② 豚における残留試験

豚に対して、グリホサートと代謝物Bの混合物（9:1）が40、120及び400 ppm含有する飼料を28日間にわたり摂食させ、筋肉、脂肪、肝臓および腎臓に含まれるグリホサート及び代謝物Bの濃度を測定した。いずれの投与群も脂肪での残留は認められなかった。400 ppm群のグリホサートの最大残留濃度は、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓でそれぞれ0.06、<0.05、0.72及び9.1　ppm（代謝物Bを含めた残留濃度はそれぞれ0.06、<0.05、1.4及び11 ppm）であった。最終投与28日後には、全ての投与群の全ての組織で0.05 ppm未満であった。

③ 産卵鶏における残留試験

産卵鶏に対して、グリホサートと代謝物の混合物B（9:1）が40、120及び400 ppm含有する飼料を28日間にわたり摂食させ、筋肉、脂肪、肝臓、腎臓及び卵に含まれるグリホサート及び代謝物Bの濃度を測定した。最高用量群の卵におけるグリホサートの最大残留濃度は0.12 ppm（代謝物Bを含めた残留濃度は0.16 ppm）で、最低用量群では卵に残留は認められなかった。最高用量群のグリホサートの最大残留濃度は、筋肉及び脂肪で0.05 ppm未満であり、肝臓及び腎臓ではそれぞれ0.61及び4.3 ppm（代謝物Bを含めた残留濃度はそれぞれ1.1及び4.8 ppm）であった。最低用量の40 ppm群のグリホサートの最大残留濃度は、筋肉及び脂肪でいずれも0.05 ppm未満、肝臓及び腎臓でそれぞれ0.06及び0.35 ppm（代謝物Bを含めた残留濃度

はそれぞれ 0.06 及び 0.35 ppm）であった。

産卵鶏に対して、NAG が 22、77、214 及び 782 ppm 含有する飼料を 35 日間にわたり摂食させ、各組織及び卵に含まれる NAG、グリホサート、代謝物 B 及び代謝物 F の濃度を測定した。最高用量群の筋肉、脂肪、肝臓及び卵の最大総残留濃度はそれぞれ 0.58、1.9、5.2 及び 0.88 ppm であった。

上記の結果に関連して、JMPR では 2005 年に乳牛及び肉牛の MDB[注)] を 381 ppm、豚及び鶏の MDB を 23 ppm（STMR dietary burden は、乳牛及び肉牛で 266 ppm、豚で 11.5 ppm、鶏で 11.4 ppm）と評価している。なお、JMPR は NAG を考慮した 2011 年の評価において、NAG を産生する *gat* 遺伝子を含有する作物に由来する残留量が MDB に寄与する割合はごくわずかであるため、これらの値を変更する必要はないと評価している。

注）最大飼料由来負荷（Maximum Dietary Burden：MDB）：飼料として用いられる全ての飼料品目に残留基準まで残留していると仮定した場合に、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大量。飼料中残留濃度として表示される。

（３）推定残留濃度

MDB 及び STMR dietary burden と各試験の結果より、JMPR が算出した畜産物中の推定残留濃度を表 1 に示す。

表 1. 畜産物中の推定残留濃度（ppm）

	筋肉	脂肪	肝臓	腎臓	乳/卵
肉牛	<0.05 <0.05	<0.05 <0.05	0.20 0.29	3.1 2.9	−
乳牛	−	−	−	−	<0.05 <0.05
豚	<0.05 <0.05	<0.05 <0.05	<0.05 <0.05	0.345 0.12	−
鶏	<0.05 <0.05	<0.05 <0.05	<0.05 <0.05	0.20 0.088	<0.05 <0.05

上段：グリホサートの最大残留濃度

下段：グリホサートとグリホサート換算した代謝物 B の合計残留濃度の平均的な値

５．ADI 及び ARfD の評価

食品安全基本法（平成 15 年法律第 48 号）第 24 条第 1 項第 1 号及び第 2 項の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたグリホサートに係る食品健康影響評価において、以下のとおり評価されている。

アミノ酸系除草剤である「グリホサート」には原体製造業者が複数存在し、原体ごとにそれぞれ毒性試験成績等が作成されている。このため、原体と毒性試験成績等の組み合わせをグリホサート①～⑤としてそれぞれ評価を行った上で、総合評価を実施した。

（１）ADI

無毒性量：100 mg/kg 体重/day

ADI 設定根拠資料-1	亜急性毒性試験
(動物種)	雄ラット
(投与方法)	強制経口
(期間)	90 日間
ADI 設定根拠資料-2	亜急性毒性試験
(動物種)	イヌ
(投与方法)	強制経口
(期間)	90 日間
ADI 設定根拠資料-3	慢性毒性試験
(動物種)	イヌ
(投与方法)	強制経口
(期間)	1 年間
ADI 設定根拠資料-4	発生毒性試験
(動物種)	ウサギ
(投与方法)	強制経口
(期間)	妊娠 6～18 日

安全係数：100

ADI：1 mg/kg 体重/day

各原体を用いて実施された試験で得られた無毒性量のうち最小値は、グリホサート①のウサギを用いた発生毒性試験で得られた75 mg/kg 体重/日であった。各原体の同等性は示されていないが、食品安全委員会は他の原体を用いて実施された試験において認められた毒性所見、用量設定等を総合的に勘案し、ウサギを用いた発生毒性試験におけるグリホサートの無毒性量は100 mg/kg 体重/日であると判断した。

2015年7月にIARC が「ヒトに対しておそらく発がん性がある」（Group 2A）としたことを受け、食品安全委員会においてその取扱いについても議論がなされた。

IARCでは公平性、透明性を担保するとの理由で、公の場で入手可能な学術論文等を用い、ハザードの同定のための評価がなされている。一方、食品安全委員会を含むリスク評価機関においては、国際的に合意されたテストガイドラインに従って、主にGLP試験として行われた試験成績を用い、ヒトに対するリスクを評価することを目的としており、グリホサートに関しても、他の農薬と同様の手法により評価を行い、結論を出すことが確認された。

食品安全委員会では、グリホサート①～⑤で実施された発がん性試験及び遺伝毒性試験の結果からグリホサートには発がん性及び遺伝毒性は認められなかったと判断した。また、EFSAにおける評価においても、利用可能な全ての試験の質及び信頼性を含め総合的に判断した結果、グリホサートは生体において遺伝毒性はなく、ヒトに対して発がん性物質ではないと結論づけられている。

（２）ARfD　　設定の必要なし

グリホサートの単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響に対する無毒性量はカットオフ値（500 mg/kg 体重）以上であったことから、急性参照用量（ARfD）は設定する必要がないと判断した。

(参考)

グリホサート①

ｉ）　ADI

無毒性量：75 mg/kg 体重/day
(動物種)　　　ウサギ
(投与方法)　　強制経口
(試験の種類)　発生毒性試験
(期間)　　　　妊娠 6～27 日
安全係数：100
ADI：0.75 mg/kg 体重/day

ⅱ）　ARfD　　設定の必要なし

グリホサートの単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響に対する無毒性量のうち最小値は、マウスを用いた急性毒性試験で得られた 1,000 mg/kg 体重であり、カットオフ値（500 mg/kg 体重）以上であったことから、急性参照用量（ARfD）は設定する必要がないと判断した。

グリホサート②

ｉ）　ADI

無毒性量：100 mg/kg 体重/day
(動物種)　　　ウサギ
(投与方法)　　強制経口
(試験の種類)　発生毒性試験
(期間)　　　　妊娠 7～19 日
安全係数：100
ADI：1 mg/kg 体重/day

ⅱ） ARfD　　設定の必要なし

グリホサートの単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響に対する無毒性量のうち最小値は、ラットを用いた急性神経毒性試験で得られた 1,000 mg/kg 体重であり、カットオフ値（500 mg/kg 体重）以上であったことから、急性参照用量（ARfD）は設定する必要がないと判断した。

<u>グリホサート③</u>

ⅰ） ADI

無毒性量：100 mg/kg 体重/day

ADI 設定根拠資料-1	亜急性毒性試験
（動物種）	雄ラット
（投与方法）	強制経口
（期間）	90 日間
ADI 設定根拠資料-2	亜急性毒性試験
（動物種）	イヌ
（投与方法）	強制経口
（期間）	1 年間
ADI 設定根拠資料-3	慢性毒性試験
（動物種）	イヌ
（投与方法）	強制経口
（期間）	1 年間

安全係数：100

ADI：1 mg/kg 体重/day

ⅱ） ARfD　　設定の必要なし

グリホサートの単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響に対する最小毒性量は、ラット及びマウスを用いた急性毒性試験で得られた 5,000 mg/kg 体重であり、カットオフ値（500 mg/kg 体重）以上であったことから、急性参照用量（ARfD）は設定する必要がないと判断した。

<u>グリホサート④</u>

ⅰ） ADI

無毒性量：100 mg/kg 体重/day

（動物種）	ウサギ
（投与方法）	経口投与
（試験の種類）	発生毒性試験
（期間）	妊娠 6～18 日

安全係数：100

ADI：1 mg/kg 体重/day

ⅱ） ARfD　　設定の必要なし

グリホサートの単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響に対する最小毒性量は、ラット及びマウスを用いた急性毒性試験で得られた 5,000 mg/kg 体重であり、カットオフ値（500 mg/kg 体重）以上であったことから、急性参照用量（ARfD）は設定する必要がないと判断した。

グリホサート⑤

ⅰ） ADI

無毒性量：200 mg/kg 体重/day

(動物種)	ウサギ
(投与方法)	強制経口
(試験の種類)	発生毒性試験
(期間)	妊娠 7～19 日

安全係数：100

ADI：2 mg/kg 体重/day

ⅱ） ARfD　　設定の必要なし

グリホサートの単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響は認められなかったため、急性参照用量（ARfD）は設定する必要がないと判断した。

６．諸外国における状況

JMPR が毒性評価を行い、2011 年に ADI が設定され、ARfD は設定の必要なしとされている。国際基準は小豆類、穀物類等に設定されている。

米国、カナダ、EU、豪州及びニュージーランドについて調査した結果、米国において綿実、ひまわりの種子等に、カナダにおいて大豆、アスパラガス等に、EU においてぶどう、ばれいしょ等に、豪州において小豆類、大麦等に、ニュージーランドにおいて核果類、かんきつ類等に基準値が設定されている。

７．基準値案

（１）残留の規制対象

農産物のうち大豆、とうもろこし及びなたね並びに畜産物にあってはグリホサート及びNAGとし、その他の農産物にあってはグリホサートとする。

大豆、とうもろこし及びなたねについては遺伝子組換え品種においてNAGが親化合物よりも残留すること、畜産物においてはこれらの作物が飼料に含まれる可能性があることから規制対象を親化合物及びNAGとした。

なお、食品安全委員会による食品健康影響評価においては、農産物中の暴露評価対象物質としてグリホサート及びNAGを、畜産物中の暴露評価対象物質としてグリホサート（親化合物のみ）を設定している。

（２）基準値案

別紙2のとおりである。

（３）暴露評価

1日当たり摂取する農薬等の量のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

	TMDI／ADI（%）注）
一般（1歳以上）	7.1
幼小児（1～6歳）	17.0
妊婦	7.4
高齢者（65歳以上）	6.7

注）各食品の平均摂取量は、平成17年～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。

TMDI試算法：基準値案×各食品の平均摂取量

（４）本剤ついては、平成17年11月29日付け厚生労働省告示第499号により、食品一般の成分規格7に食品に残留する量の限度（暫定基準）が定められているが、今般、残留基準の見直しを行うことに伴い、暫定基準は削除される。

グリホサートイソプロピルアミン塩作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量（ppm）注1）【グリホサート/代謝物B】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
水稲（玄米）	2	41.5%液剤	1250 mL/10 a 雑草茎葉散布	1	151	圃場A:<0.05/-
					161	圃場B:<0.05/-
	2	41.0%液剤	2500 mL/10 a 雑草茎葉散布	1	95	圃場A:<0.05/<0.05 (#)注2）
					86	圃場B:<0.05/<0.05 (#)
	2	41.0%液剤	1250 mL/10 a 雑草茎葉散布	5	4	圃場A:<0.02/<0.02 (#)
					9	圃場B:<0.02/<0.02 (#)
	2	41.0%液剤	1000 mL/10 a 雑草茎葉散布	1	134	圃場A:<0.02/<0.02
					139	圃場B:<0.02/<0.02
水稲（玄米）	2	41.0%液剤	2000 mL/水100 L/10 a 雑草茎葉散布	3	7	圃場A:<0.01/- (#)
						圃場B:<0.01/- (#)
水稲（玄米）	2	41.0%液剤	1000 mL/希釈水50 L /10 a 散布	4	3	圃場A:<0.01/<0.005 (#)
						圃場B:<0.01/<0.005 (#)
	2	41.0%液剤	1000 mL/希釈水50 L /10 a 散布	4	3	圃場A : <0.05/<0.02(#)
						圃場B : <0.05/<0.02(#)
	2	41.0%液剤	20倍散布 50 L/10 a(2500 mL/10 a)	3	14, 21	圃場A:0.02/- (#)
						圃場B:0.02/- (#)
直播水稲（玄米）	2	41.0%液剤	50倍散布 50 L/10 a(1000 mL/10 a)	1	147	圃場A:<0.01/- (#)
					134	圃場B:<0.01/- (#)
水稲（玄米）	2	8%水和剤	40倍散布 100 L/10 a(2500 mL/10 a)	2	14	圃場A:<0.01/- (#)
					11	圃場B:<0.01/- (#)
	2	41.0%液剤	25倍散布 25 L/10 a(1000 mL/10 a)	2	14	圃場A:<0.01/- (#)
					11	圃場B:<0.01/- (#)
	2	41.0%液剤	100倍散布 50 L/10 a(500 mL/10 a)	2	165	圃場A:<0.01/-
					131	圃場B:<0.01/-
小麦（種子）	2	41.0%液剤	1250 mL/10 a 雑草茎葉散布	1	326	圃場A:<0.05/<0.05
					229	圃場B:<0.05/<0.05
	2	41.0%液剤	2500 mL/10 a 雑草茎葉散布	1	326	圃場A:<0.05/<0.05 (#)
					229	圃場B:<0.05/<0.05 (#)
小麦（玄麦）	2	41.0%液剤	1000 mL/水50 L/10 a 雑草茎葉散布	1	306	圃場A:<0.04/- (#)
					214	圃場B:<0.04/- (#)
	2	41.0%液剤	500 mL/希釈水100 L /10 a 散布	3	7	圃場A:<0.02/<0.02 (#)
					5	圃場B:<0.02/<0.02 (#)
	2	41.0%液剤	100倍散布 100 L/10 a(1000 mL/10 a)	1	349	圃場A:<0.01/-
					315	圃場B:<0.01/-
	2	41.0%液剤	25倍散布 25 L/10 a(1000 mL/10 a)	4	7, 14, 21	圃場A:1.6/- (4回, 7日)(#)
					5, 9, 18	圃場B:<0.5/- (4回, 5日)(#)
大麦（種子）	2	41.0%液剤	2500 mL/10 a 雑草茎葉散布	1	229	圃場A:<0.02/<0.02 (#)
					182	圃場B:<0.02/<0.02 (#)
	2	41.0%液剤	1000 mL/水50 L/10 a 雑草茎葉散布	3	15	圃場A:<0.04/- (#)
					14	圃場B:<0.04/- (#)
	2	41.0%液剤	40倍散布 50 L/10 a(1250 mL/10 a)	1	217	圃場A:<0.01/- (#)
					190	圃場B:<0.01/- (#)
そば（脱穀種子）	2	41.0%液剤	500 mL/水50 L/10 a 雑草茎葉散布	2	78	圃場A:<0.02/- (#)
						圃場B:<0.02/- (#)
未成熟とうもろこし（種子）	2	41.0%液剤	500 mL/水50 L/10 a 雑草茎葉散布	2	77	圃場A:<0.02/-
					84	圃場B:<0.02/-
だいず（乾燥子実）	2	41.0%液剤	1250 mL/10 a 雑草茎葉散布	2	136	圃場A:<0.02/<0.02 (#)
					129	圃場B:<0.02/<0.02 (#)
だいず（乾燥子実）	2	41.0%液剤	500 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉散布	3	14	圃場A:0.32/- (#)
						圃場B:<0.05/- (#)
だいず（乾燥子実）	2	41.0%液剤	40倍散布 50 L/10 a(1250 mL/10 a)	1	154	圃場A:<0.01/- (#)
					155	圃場B:<0.01/- (#)
	2	41.0%液剤	200倍散布 100 L/10 a(500 mL/10 a)	2	119	圃場A:<0.1/-
					116	圃場B:<0.1/-
だいず（乾燥子実）	2	41.0%液剤	50倍散布 25 L/10 a(500 mL/10 a)	4	1, 7, 14	圃場A:0.06/-(4回, 14日)
					1, 7, 14	圃場B:0.08/-(4回, 7日)
だいず（えだまめ）	2	41.0%液剤	1250 mL/10 a 雑草茎葉散布	2	100	圃場A:<0.02/<0.02 (#)
					99	圃場B:<0.02/<0.02 (#)
だいず（えだまめ）	2	41.0%液剤	500 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉散布（播種後出芽前、着莢期、莢肥期）	3	8, 15, 24	圃場A:0.04/- (3回, 15日)(#)
					7, 14, 21	圃場B:<0.02/- (#)
だいず（えだまめ）	2	41.0%液剤	40倍散布 50 L/10 a(1250 mL/10 a)	1	112	圃場A:<0.01/- (#)
					104	圃場B:<0.01/- (#)

（別紙1-1）

グリホサートイソプロピルアミン塩作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量（ppm）注1） 【グリホサート/代謝物B】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
あずき （乾燥子実）	2	41.0% 液剤	500 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉散布	*3*	7, 14, 21	圃場A:<0.02/- (3回, 7日)(#) 圃場B:<0.02/- (3回, 7日)(#)
いんげんまめ （乾燥子実）	2	41.0% 液剤	500 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉散布	*3*	7, 14, 21	圃場A:<0.1/- (3回, 7日)(#) 圃場B:<0.1/- (3回, 7日)(#)
ばれいしょ （塊茎）	2	41.0% 液剤	500 mL/水100 L/10 a 雑草茎葉散布	1	102 88	圃場A:<0.02/- 圃場B:<0.02/-
かんしょ （塊茎）	2	41.0% 液剤	*1250* mL/10 a 雑草茎葉散布	1	138 173	圃場A:<0.02/<0.02 (#) 圃場B:<0.02/<0.02 (#)
	2	41.0% 液剤	500 mL/10 a 雑草茎葉散布	1	94 128	圃場A:<0.02/<0.02 圃場B:<0.02/<0.02
かんしょ （塊根）	2	41.0% 液剤	500 mL/水100 L/10 a 雑草茎葉散布	1	104 125	圃場A:<0.02/- 圃場B:<0.02/-
かんしょ （塊根）	2	41.0% 液剤	*40*倍散布 *50* L/10 a(*1250* mL/10 a)	1	119, 126 160, 167	圃場A:<0.01/- (1回, 119日)(#) 圃場B:<0.01/- (1回, 160日)(#)
さとうきび （茎）	2	41.0% 液剤	1250 mL/10 a 雑草茎葉散布	1	281 288	圃場A:<0.05/<0.05 圃場B:<0.05/<0.05
	2			*3*	98 86	圃場A:<0.05/<0.05 (#) 圃場B:<0.05/<0.05 (#)
さとうきび （茎、皮を除く）	2	41.0% 液剤	500 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉散布	*3*	30 31	圃場A:<0.1/- (#) 圃場B:<0.1/- (#)
さとうきび （茎部）	2	41.0% 液剤	*25*倍散布 *25* L/10 a(*1000* mL/10 a)	1	325 316	圃場A:<0.02/- (#) 圃場B:<0.02/- (#)
やまのいも （塊根）	2	*41.0%* *液剤*	1000 mL/10 a 雑草茎葉散布	1	152 158	圃場A:<0.02/<0.02 (#) 圃場B:<0.02/<0.02 (#)
やまのいも （塊茎）	2	41.0% 液剤	500 mL/水100 L/10 a 雑草茎葉散布	1	178 194	圃場A:<0.02/- 圃場B:<0.02/-
こんにゃく （球茎）	2	*41.0%* *液剤*	500 mL/10 a 雑草茎葉散布	3	44 45	圃場A:<0.02/<0.02 (#) 圃場B:<0.02/<0.02 (#)
だいこん （根部）	2	41.0% 液剤	*1250* mL/10 a 雑草茎葉散布	1	90 63	圃場A:<0.04/<0.04 (#) 圃場B:<0.04/<0.04 (#)
だいこん （根部）	2	41.0% 液剤	500 mL/水100 L/10 a 雑草茎葉散布	1	56 55	圃場A:<0.01/- 圃場B:<0.01/-
だいこん （根部）	2	41.0% 液剤	*40*倍散布 *50* L/10 a(*1250* mL/10 a)	1	56, 63 55, 62	圃場A:<0.01/- (1回, 56日)(#) 圃場B:<0.01/- (1回, 55日)(#)
だいこん （葉部）	2	41.0% 液剤	*1250* mL/10 a 雑草茎葉散布	1	90 63	圃場A:<0.04/<0.04 (#) 圃場B:<0.04/<0.04 (#)
だいこん （葉部）	2	41.0% 液剤	500 mL/水100 L/10 a 雑草茎葉散布	1	56 55	圃場A:<0.01/- 圃場B:<0.01/-
だいこん （葉部）	2	41.0% 液剤	*40*倍散布 *50* L/10 a(*1250* mL/10 a)	1	56, 63 55, 62	圃場A:<0.01/- (1回, 56日)(#) 圃場B:<0.01/- (1回, 55日)(#)
だいこん （つまみ菜）	2	41.0% 液剤	*1250* mL/10 a 雑草茎葉散布	1	45 22	圃場A:<0.04/<0.04 (#) 圃場B:<0.04/<0.04 (#)
だいこん （つまみ菜）	2	41.0% 液剤	*40*倍散布 *50* L/10 a(*1250* mL/10 a)	1	28 15	圃場A:<0.01/- (#) 圃場B:<0.01/- (#)
だいこん （間引き菜）	2	41.0% 液剤	*40*倍散布 *50* L/10 a(*1250* mL/10 a)	1	39 21	圃場A:<0.01/- (#) 圃場B:<0.01/- (#)
はつかだいこん （根部）	2	41.0% 液剤	500 mL/水100 L/10 a 雑草茎葉散布	1	48 50	圃場A:<0.02/- 圃場B:<0.02/-
はつかだいこん （根部）	2	41.0% 液剤	200倍散布 100 L/10 a(500 mL/10 a)	1	41, 48, 55 41, 47, 54	圃場A:<0.02/- (1回, 41日) 圃場B:<0.02/- (1回, 41日)
はつかだいこん （葉部）	2	41.0% 液剤	500 mL/水100 L/10 a 雑草茎葉散布	1	48 50	圃場A:<0.02/- 圃場B:<0.02/-
はつかだいこん （葉部）	2	41.0% 液剤	200倍散布 100 L/10 a(500 mL/10 a)	1	41, 48, 55 41, 47, 54	圃場A:<0.02/- (1回, 41日) 圃場B:0.02/- (1回, 41日)
はくさい （葉球）	1	41.0% 液剤	*1250* mL/10 a 雑草茎葉散布	1	75	圃場A:<0.04/<0.04 (#)
	1		*50*, *1250* mL/10 a 雑草茎葉散布	2	81	圃場A:<0.04/<0.04 (#)
はくさい （茎葉）	2	41.0% 液剤	500 mL/水100 L/10 a 雑草茎葉散布	1	64 49	圃場A:<0.01/- 圃場B:<0.01/-
はくさい （茎葉）	2	41.0% 液剤	*40*倍散布 *50* L/10 a(*1250* mL/10 a)	1	69 64	圃場A:<0.02/- (#) 圃場B:<0.02/- (#)
キャベツ （葉球）	2	41.0% 液剤	*1250* mL/10 a 雑草茎葉散布	1	79 71	圃場A:<0.04/<0.04 (#) 圃場B:<0.04/<0.04 (#)

（別紙1-1）

グリホサートイソプロピルアミン塩作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量（ppm）注1）【グリホサート/代謝物B】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
キャベツ（葉球）	2	41.0%液剤	500 mL/水100 L/10 a 雑草茎葉散布	1	62 66	圃場A:<0.02/<0.02 圃場B:<0.02/<0.02
キャベツ（葉球）	2	41.0%液剤	*500* mL/希釈水100 L /10 a 散布	1	62 102	圃場A:<0.02/<0.02（#） 圃場B:<0.02/<0.02（#）
キャベツ（茎葉）	2	41.0%液剤	*40*倍散布 *50* L/10 a(*1250* mL/10 a)	1	61 84,91	圃場A:<0.01/-（#） 圃場B:<0.01/-（1回,84日）(#)
たまねぎ（鱗茎）	2	*41.0%液剤*	1250 mL/10 a 雑草茎葉散布	1	195 176	圃場A:<0.02/<0.02（#） 圃場B:<0.02/<0.02（#）
たまねぎ（鱗茎）	2	41.0%液剤	500 mL/水50 L/10 a 雑草茎葉散布	3	7,14,21	圃場A:0.03/-（3回,14日） 圃場B:<0.02/-
たまねぎ（鱗茎）	2	41.0%液剤	*500* mL/希釈水50 L /10 a 散布	2	130 176	圃場A:<0.02/<0.02（#） 圃場B:<0.02/<0.02（#）
たまねぎ（鱗茎）	2	41.0%液剤	50倍散布 25 L/10 a(500 mL/10 a)	3	30,37,44	圃場A:<0.02/- 圃場B:<0.02/-
ねぎ（茎葉）	2	41.0%液剤	500 mL/水50 L/10 a 雑草茎葉散布	3	29 30	圃場A:<0.02/- 圃場B:<0.02/-
根深ねぎ（茎葉）	1	41.0%液剤	50倍散布 25 L/10 a(500 mL/10 a)	3	29,36,43	圃場A:<0.02/-（3回,29日）
葉ねぎ（茎葉）	1			3	30,37,44	圃場A:<0.02/-
にんじん（根部）	2	41.0%液剤	500 mL/水100 L/10 a 雑草茎葉散布	1	98 112	圃場A:<0.02/- 圃場B:<0.02/-
トマト（果実）	2	*41.0%液剤*	1250 mL/10 a 雑草茎葉散布	1	72 68	圃場A:<0.02/<0.02（#） 圃場B:<0.02/<0.02（#）
なす（果実）	2	*41.0%液剤*	1250 mL/10 a 雑草茎葉散布	1	57 68	圃場A:<0.02/<0.02（#） 圃場B:<0.02/<0.02（#）
きゅうり（果実）	2	*41.0%液剤*	1250 mL/10 a 雑草茎葉散布	1	57	圃場A:<0.02/<0.02（#） 圃場B:<0.02/<0.02（#）
すいか（果実）	2	*41.0%液剤*	1250 mL/10 a 雑草茎葉散布	1	86 70	圃場A:<0.04/<0.04（#） 圃場B:<0.04/<0.04（#）
ししとう（果実）	2	41.0%液剤	50倍散布 25 L/10 a(500 mL/10 a)	1	60,67,74 67,74,81	圃場A:<0.01/- 圃場B:<0.01/-
とうがん（果実）	2	41.0%液剤	50倍散布 25 L/10 a(500 mL/10 a)	1	80,87,94 77,84,91	圃場A:<0.01/- 圃場B:<0.01/-
ほうれんそう（茎葉）	2	41.0%液剤	500 mL/水100 L/10 a 雑草茎葉散布	1	42 44	圃場A:<0.02/- 圃場B:<0.02/-
みかん（果肉）	2	41.0%液剤	1000 mL/10 a 雑草茎葉散布	2	100 92	圃場A:<0.04/- 圃場B:<0.04/-
	4		2500 mL/10 a 雑草茎葉散布	3	7	圃場A:<0.05/- 圃場B:<0.05/- 圃場C:<0.05/<0.05 圃場D:<0.05/<0.05
温州みかん（果肉）	2	41.0%液剤	*2000* mL/水100 L/10 a 雑草茎葉散布	3	7	圃場A:<0.02/-（#） 圃場B:<0.02/-（#）
温州みかん（果肉）	2	41.0%液剤	*500* mL/希釈水100 L /10 a 散布	3	7	圃場A:<0.02/<0.02（#） 圃場B:<0.02/<0.02（#）
温州みかん（果肉）	2	41.0%液剤	*20*倍散布 *50* L/10 a(*2500* mL/10 a)	3	7,14	圃場A:<0.01/-（#） 圃場B:<0.01/-（#）
みかん（果皮）	2	41.0%液剤	1000 mL/10 a 雑草茎葉散布	2	100 92	圃場A:<0.04/- 圃場B:<0.04/-
	4		2500 mL/10 a 雑草茎葉散布	3	7	圃場A:<0.05/- 圃場B:<0.05/- 圃場C:<0.05/<0.05 圃場D:<0.05/<0.05
温州みかん（果皮）	2	41.0%液剤	*2000* mL/水100 L/10 a 雑草茎葉散布	3	7	圃場A:<0.02/-（#） 圃場B:<0.02/-（#）
温州みかん（外果皮）	2	41.0%液剤	*500* mL/希釈水100 L /10 a 散布	3	7	圃場A:<0.05/<0.05（#） 圃場B:<0.05/<0.05（#）
温州みかん（果皮）	2	41.0%液剤	*20*倍散布 *50* L/10 a(*2500* mL/10 a)	3	7,14	圃場A:<0.02/-（#） 圃場B:<0.02/-（#）
すだち（果実）	1	41.0%液剤	*2000* mL/水100 L/10 a 雑草茎葉散布	3	7	圃場A:<0.01/-（#）
レモン（果実）	1	41.0%液剤	*2000* mL/水100 L/10 a 雑草茎葉散布	3	7	圃場A:<0.01/-（#）

(別紙1-1)

グリホサートイソプロピルアミン塩作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量(ppm)注1) 【グリホサート/代謝物B】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
いよかん (果肉)	1	41.0% 液剤	2000 mL/水100 L/10 a 雑草茎葉散布	3	7	圃場A:<0.01/- (#)
いよかん (果皮)	1	41.0% 液剤	2000 mL/水100 L/10 a 雑草茎葉散布	3	7	圃場A:<0.02/- (#)
なつみかん (果肉)	2	41.0% 液剤	2500 mL/10 a 雑草茎葉散布	3	6 4	圃場A:<0.02/<0.02 圃場B:<0.02/<0.02 (#)
なつみかん (果肉)	1	41.0% 液剤	2000 mL/水100 L/10 a 雑草茎葉散布	3	7	圃場A:<0.01/- (#)
なつみかん (果肉)	2	41.0% 液剤	20倍散布 50 L/10 a(2500 mL/10 a)	3	7,14	圃場A:<0.02/- (#) 圃場B:<0.02/- (#)
なつみかん (果皮)	2	41.0% 液剤	2500 mL/10 a 雑草茎葉散布	3	6 4	圃場A:<0.02/<0.02 圃場B:<0.02/<0.02 (#)
なつみかん (果皮)	1	41.0% 液剤	2000 mL/水100 L/10 a 雑草茎葉散布	3	7	圃場A:<0.02/- (#)
なつみかん (果皮)	2	41.0% 液剤	20倍散布 50 L/10 a(2500 mL/10 a)	3	7,14	圃場A:0.12/- (#) 圃場B:0.06/- (3回,14日)(#)
なつみかん (果実全体)	2	41.0% 液剤	2000 mL/10 a 雑草茎葉散布	5	7	圃場A:<0.04/- 圃場B:<0.04/-
なつみかん(果実 全体の換算値)	2	41.0% 液剤	20倍散布 50 L/10 a(2500 mL/10 a)	3	7,14	圃場A:0.04/- (#) 圃場B:0.02/- (3回,14日)(#)
ゆず (果実)	2	41.0% 液剤	20倍散布 50 L/10 a(2500 mL/10 a)	3	8 7	圃場A:<0.01/- (#) 圃場B:<0.01/- (#)
りんご (可食部)	2	41.0% 液剤	2500 mL/10 a 雑草茎葉散布	3	6 7	圃場A:<0.05/<0.05 (#) 圃場B:<0.05/<0.05 (#)
りんご (果実)	2	41.0% 液剤	2000 mL/水100 L/10 a 雑草茎葉散布	3	7	圃場A:<0.01/- (#) 圃場B:<0.01/- (#)
りんご (果実)	2	41.0% 液剤	1000 mL/希釈水50 L /10 a 散布	3	1	圃場A:<0.02/<0.02 (#) 圃場B:<0.02/<0.02 (#)
りんご (果実)	2	41.0% 液剤	20倍散布 50 L/10 a(2500 mL/10 a)	3	7,14 7,14	圃場A:<0.01/- (#) 圃場B:<0.01/- (#)
日本なし (果実)	2	41.0% 液剤	2500 mL/10 a 雑草茎葉散布	3	11 4	圃場A:<0.02/<0.02 圃場B:<0.02/<0.02 (#)
日本なし (果実)	2	41.0% 液剤	2000 mL/水100 L/10 a 雑草茎葉散布	3	7	圃場A:<0.01/- (#) 圃場B:<0.01/- (#)
日本なし (果実)	2	41.0% 液剤	1000 mL/希釈水50 L /10 a 散布	3	1	圃場A:<0.02/<0.01 (#) 圃場B:<0.02/<0.01 (#)
日本なし (果実)	2	41.0% 液剤	20倍散布 50 L/10 a(2500 mL/10 a)	3	7,14 7,14	圃場A:<0.01/- (#) 圃場B:<0.01/- (#)
もも (果肉)	2	41.0% 液剤	2500 mL/10 a 雑草茎葉散布	1	79 97	圃場A:<0.05/<0.05 (#) 圃場B:<0.05/<0.05 (#)
	2			2	7 13	圃場A:<0.05/<0.05 (#) 圃場B:<0.05/<0.05 (#)
	2			3	7 6	圃場A:<0.02/<0.02 (#) 圃場B:<0.02/<0.02 (#)
もも (果実)	2	41.0% 液剤	2500 mL/10 a 雑草茎葉散布	1	79 97	圃場A:<0.05/<0.05 (#) 圃場B:<0.05/<0.05 (#)
	2			2	7 13	圃場A:<0.05/<0.05 (#) 圃場B:<0.05/<0.05 (#)
もも (果肉)	2	41.0% 液剤	1000 mL/水50 L/10 a 雑草茎葉散布	3	7 6	圃場A:<0.02/- 圃場B:<0.02/-
もも (果肉)	2	41.0% 液剤	20倍散布 50 L/10 a(2500 mL/10 a)	3	7,14 7,14	圃場A:<0.01/- (#) 圃場B:<0.01/- (#)
もも (果皮)	2	41.0% 液剤	2500 mL/10 a 雑草茎葉散布	3	7 6	圃場A:<0.02/<0.02 (#) 圃場B:<0.02/<0.02 (#)
もも (果皮)	2	41.0% 液剤	1000 mL/水50 L/10 a 雑草茎葉散布	3	7 6	圃場A:<0.02/- 圃場B:<0.02/-
もも (果皮)	2	41.0% 液剤	20倍散布 50 L/10 a(2500 mL/10 a)	3	7,14 7,14	圃場A:<0.01/- (#) 圃場B:<0.02/- (#)
うめ (果実)	2	41.0% 液剤	2500 mL/10 a 雑草茎葉散布	3	6	圃場A:<0.02/<0.02 (#) 圃場B:<0.02/<0.02 (#)
うめ (果実)	2	41.0% 液剤	20倍散布 50 L/10 a(2500 mL/10 a)	3	7,15,21 7,14,21	圃場A:<0.02/- (#) 圃場B:<0.02/- (#)
おうとう (果実)	2	41.0% 液剤	2500 mL/10 a 雑草茎葉散布	3	6 9	圃場A:<0.02/<0.02 (#) 圃場B:<0.02/<0.02 (#)

グリホサートイソプロピルアミン塩作物残留試験一覧表

<table>
<tr><th rowspan="2">農作物</th><th rowspan="2">試験
圃場数</th><th colspan="4">試験条件</th><th rowspan="2">最大残留量 (ppm) 注1)
【グリホサート/代謝物B】</th></tr>
<tr><th>剤型</th><th>使用量・使用方法</th><th>回数</th><th>経過日数</th></tr>
<tr><td rowspan="2">おうとう
(果実)</td><td rowspan="2">2</td><td rowspan="2">41.0%
液剤</td><td rowspan="2">20倍散布
50 L/10 a(2500 mL/10 a)</td><td rowspan="2"><u>3</u></td><td><u>7</u>,14,21</td><td>圃場A:<0.02/- (#)</td></tr>
<tr><td><u>7</u>,14,21</td><td>圃場B:0.02/- (3回,14日)(#)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">いちご
(果実)</td><td rowspan="2">2</td><td rowspan="2">41.0%
液剤</td><td rowspan="2">1250 mL/10 a
雑草茎葉散布</td><td rowspan="2">1</td><td>116</td><td>圃場A:<0.02/<0.02 (#)</td></tr>
<tr><td>123</td><td>圃場B:<0.02/<0.02 (#)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ぶどう
(可食部)</td><td rowspan="2">2</td><td rowspan="2">41.0%
液剤</td><td rowspan="2">2500 mL/10 a
雑草茎葉散布</td><td rowspan="2">3</td><td rowspan="2">7</td><td>圃場A:<0.05/<0.05 (#)</td></tr>
<tr><td>圃場B:<0.05/<0.05 (#)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ぶどう
(果実)</td><td rowspan="2">2</td><td rowspan="2">41.0%
液剤</td><td rowspan="2">1000 mL/水50 L/10 a
雑草茎葉散布</td><td rowspan="2"><u>3</u></td><td rowspan="2"><u>7</u></td><td>圃場A:<0.02/-</td></tr>
<tr><td>圃場B:<0.02/-</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ぶどう
(果実)</td><td rowspan="2">2</td><td rowspan="2">41.0%
液剤</td><td rowspan="2">20倍散布
50 L/10 a(2500 mL/10 a)</td><td rowspan="2"><u>3</u></td><td><u>7</u>,14</td><td>圃場A:<0.01/- (#)</td></tr>
<tr><td><u>7</u>,14</td><td>圃場B:<0.01/- (#)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">かき
(果実)</td><td rowspan="2">2</td><td rowspan="2">41.0%
液剤</td><td rowspan="2">2500 mL/10 a
雑草茎葉散布</td><td rowspan="2"><u>3</u></td><td rowspan="2">6</td><td>圃場A:<0.02/<0.02</td></tr>
<tr><td>圃場B:<0.02/<0.02</td></tr>
<tr><td rowspan="2">かき
(果実)</td><td rowspan="2">2</td><td rowspan="2">41.0%
液剤</td><td rowspan="2">20倍散布
50 L/10 a(2500 mL/10 a)</td><td rowspan="2"><u>3</u></td><td><u>7</u>,14,21</td><td>圃場A:0.02/- (3回,21日)(#)</td></tr>
<tr><td><u>7</u>,14,21</td><td>圃場B:<0.02/- (#)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">キウイフルーツ
(果肉)</td><td rowspan="2">2</td><td rowspan="2">41.0%
液剤</td><td rowspan="2">25倍散布
25 L/10 a(1000 mL/10 a)</td><td rowspan="2"><u>3</u></td><td><u>7</u>,14,21</td><td>圃場A:<0.01/-</td></tr>
<tr><td><u>7</u>,14,21</td><td>圃場B:<0.01/-</td></tr>
<tr><td rowspan="2">くり
(果実)</td><td rowspan="2">2</td><td rowspan="2">41.0%
液剤</td><td rowspan="2">2500 mL/10 a
雑草茎葉散布</td><td rowspan="2">3</td><td rowspan="2">8</td><td>圃場A:<0.05/<0.05 (#)</td></tr>
<tr><td>圃場B:<0.05/<0.05 (#)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">くり
(果実)</td><td rowspan="2">2</td><td rowspan="2">41.0%
液剤</td><td rowspan="2">20倍散布
50 L/10 a(2500 mL/10 a)</td><td rowspan="2"><u>3</u></td><td><u>7</u>,14,17</td><td>圃場A:<0.02/- (#)</td></tr>
<tr><td><u>7</u>,14,21</td><td>圃場B:<0.02/- (#)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">茶
(荒茶)</td><td rowspan="2">2</td><td rowspan="2">41.0%
液剤</td><td rowspan="2">1250 mL/10 a
雑草茎葉散布</td><td rowspan="2">3</td><td>3</td><td>圃場A:0.05/<0.04 (#)</td></tr>
<tr><td>7</td><td>圃場B:<0.04/<0.04 (#)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">茶
(荒茶)</td><td rowspan="2">2</td><td rowspan="2">41.0%
液剤</td><td rowspan="2">500 mL/水25 L/10 a
雑草茎葉散布</td><td rowspan="2"><u>1</u></td><td rowspan="2"><u>7</u></td><td>圃場A:<0.05/-</td></tr>
<tr><td>圃場B:<0.05/-</td></tr>
<tr><td rowspan="2">茶
(荒茶)</td><td rowspan="2">2</td><td rowspan="2">41.0%
液剤</td><td rowspan="2">40倍散布
50 L/10 a(1250 mL/10 a)</td><td rowspan="2"><u>1</u></td><td rowspan="2"><u>7</u>,14,21</td><td>圃場A:<0.02/- (#)</td></tr>
<tr><td>圃場B:0.10/- (#)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">茶
(浸出液)</td><td rowspan="2">2</td><td rowspan="2">41.0%
液剤</td><td rowspan="2">40倍散布
50 L/10 a(1250 mL/10 a)</td><td rowspan="2"><u>1</u></td><td rowspan="2"><u>7</u>,14,21</td><td>圃場A:<0.01/- (#)</td></tr>
<tr><td>圃場B:0.10/- (#)</td></tr>
</table>

注1）最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成１０年８月７日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

注２）(#)印で示した作物残留試験成績は、申請の範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

(別紙1-2)

グリホサートカリウム塩作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留量(ppm)注1) 【グリホサート/代謝物B】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
水稲 (玄米)	2	52.0% 液剤	1000,2000 mL/10 a 雑草茎葉散布	6	1	圃場A:<0.02/- (#)注2) 圃場B:<0.02/- (#)
水稲 (玄米)	2	43.0% 液剤	製剤2000 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉散布	5	4 5	圃場A:<0.01/<0.02 (#) 圃場B:<0.01/<0.02 (#)
陸稲 (玄米)	2	43.0% 液剤	製剤1000 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉散布	2	131 114	圃場A:<0.01/- (#) 圃場B:<0.01/- (#)
小麦 (玄麦)	2	48.0% 液剤	1000 mL/10 a 雑草茎葉散布	3	1	圃場A:<0.04/- (#) 圃場B:<0.04/- (#)
小麦 (玄麦)	2	43.0% 液剤	製剤1000 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉散布	1	306 214	圃場A:<0.04/- 圃場B:<0.04/-
小麦(玄麦)	2	44.7% 液剤	製剤500 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉散布	3	2,6,12 3,6,14	圃場A:<0.04/- (#) 圃場B:<0.04/- (#)
小麦(玄麦)	2	44.7% 液剤	製剤1080 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉散布	3	1,3,7 1,2,7	圃場A:0.01/- (#) 圃場B:0.04/- (#)
大麦 (種子)	2	43.0% 液剤	製剤2000 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉散布	3	7	圃場A:<0.04/- (#) 圃場B:<0.04/- (#)
未成熟とうもろこし(生食用子実)	2	48.0% 液剤	1000 mL/10 a 雑草茎葉散布	2	82 71	圃場A:<0.02/- (#) 圃場B:<0.02/- (#)
とうもろこし (未成熟子実)	2	43.0% 液剤	製剤1000 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉散布	2	98 120	圃場A:<0.01/- (#) 圃場B:<0.01/- (#)
とうもろこし (乾燥子実)	2	43.0% 液剤	製剤1000 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉散布	2	120 126	圃場A:<0.01/- (#) 圃場B:<0.01/- (#)
そば (種子)	2	48.0% 液剤	1000 mL/10 a 雑草茎葉散布	2	69 67	圃場A:<0.02/- (#) 圃場B:<0.02/- (#)
そば (脱穀した種子)	2	44.7% 液剤	製剤500 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉散布	2	72	圃場A:<0.02/- 圃場B:<0.02/-
あわ (脱穀した種子)	2	44.7% 液剤	製剤1000 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉散布	2	113 129	圃場A:<2/- 圃場B:<2/-
だいず (乾燥子実)	3	48.0% 液剤	500 mL/10 a 雑草茎葉散布 成熟期 全面処理	3	1	圃場A:<0.2/- 圃場B:<0.2/- 圃場C:<0.2/-
	3		500 mL/10 a 雑草茎葉散布 完全落葉期 全面処理			圃場A:<0.2/- 圃場B:<0.2/- 圃場C:<0.2/-
	3		500 mL/10 a 雑草茎葉散布 落葉期 全面処理			圃場A:0.5/- 圃場B:<0.2/- 圃場C:6.6/-
だいず (乾燥子実)	2	43.0% 液剤	製剤1000 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉散布	1	108 126	圃場A:<0.02/<0.03 (#) 圃場B:<0.02/<0.03 (#)
	2	43.0% 液剤	製剤1000 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉散布	3	1	圃場A:<0.02/- (#) 圃場B:<0.02/- (#)
だいず (乾燥子実)	2	44.7% 液剤	製剤500 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉塗布	2	6,13,20 6,13,21	圃場A:0.08(2回13日)/- (#) 圃場B:0.32/- (#)
小豆 (乾燥子実)	2	48.0% 液剤	500 mL/10 a 雑草茎葉散布	3	5	圃場A:<0.2/- (#) 圃場B:<0.2/- (#)
いんげんまめ (乾燥子実)	2	48.0% 液剤	500 mL/10 a 雑草茎葉散布	3	5	圃場A:<0.2/- (#) 圃場B:<0.2/- (#)
いんげんまめ (乾燥子実)	2	44.7% 液剤	製剤500 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉散布	3	3,7,14	圃場A:<0.2/- (#) 圃場B:<0.2/- (#)
ばれいしょ (塊茎)	2	43.0% 液剤	製剤1000 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉散布	2	102 88	圃場A:<0.02/- (#) 圃場B:<0.02/- (#)
かんしょ (塊茎)	2	48.0% 液剤	500 mL/10 a 雑草茎葉散布	2	60 67	圃場A:<0.02/- 圃場B:<0.02/-
かんしょ (塊根)	2	43.0% 液剤	製剤1000 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉散布	2	132 147	圃場A:<0.02/- (#) 圃場B:<0.02/- (#)
やまのいも (塊根)	2	43.0% 液剤	製剤1000 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉散布	2	152 162	圃場A:<0.02/- (#) 圃場B:<0.02/- (#)
さとうきび (茎)	2	48.0% 液剤	1000 mL/10 a 雑草茎葉散布	6	65 60	圃場A:<0.2/- 圃場B:<0.2/-

(別紙1-2)

グリホサートカリウム塩作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留量（ppm）注1) 【グリホサート／代謝物B】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
さとうきび (茎)	2	43.0% 液剤	製剤2000 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉散布	2	7	圃場A:<0.02/- (#) 圃場B:<0.02/- (#)
さとうきび (茎)	2	44.7% 液剤	製剤1000 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉散布	3	7、14、21	圃場A:<0.05/- (#) 圃場B:<0.05/- (#)
だいこん (根部)	2	48.0% 液剤	1000 mL/10 a 雑草茎葉散布	2	5,9,14 5,14,21	圃場A:<0.02/- (2回,5日)(#) 圃場B:<0.02/- (2回,5日)(#)
だいこん (根部)	2	38.0% 液剤	製剤800 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉散布	1	58 54	圃場A:<0.01/- (#) 圃場B:<0.01/- (#)
だいこん (葉部)	2	48.0% 液剤	1000 mL/10 a 雑草茎葉散布	2	5,9,14 5,14,21	圃場A:<0.02/- (2回,5日)(#) 圃場B:<0.02/- (2回,5日)(#)
だいこん (葉部)	2	38.0% 液剤	製剤800 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉散布	1	58 54	圃場A:<0.01/- (#) 圃場B:<0.01/- (#)
だいこん (つまみ菜)	2	38.0% 液剤	製剤800 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉散布	1	21 10	圃場A:<0.01/- (#) 圃場B:<0.01/- (#)
だいこん (間引き菜)	2	38.0% 液剤	製剤800 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉散布	1	29 19	圃場A:<0.01/- (#) 圃場B:<0.01/- (#)
はつかだいこん (葉部)	2	43.0% 液剤	製剤1000 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉散布	1	40 45	圃場A:<0.02/- (#) 圃場B:<0.02/- (#)
はつかだいこん (根部)	2	43.0% 液剤	製剤1000 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉散布	1	40 45	圃場A:<0.02/- (#) 圃場B:<0.02/- (#)
はくさい (茎球)	2	38.0% 液剤	製剤800 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉散布	1	64	圃場A:<0.01/- (#) 圃場B:<0.01/- (#)
キャベツ (葉球)	2	38.0% 液剤	製剤800 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉散布	1	57 59	圃場A:<0.01/- (#) 圃場B:<0.01/- (#)
レタス (茎葉)	2	43.0% 液剤	製剤1000 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉散布	1	48 64	圃場A:<0.02/- (#) 圃場B:<0.02/- (#)
たまねぎ (鱗茎)	2	48.0% 液剤	500 mL/10 a 雑草茎葉散布	3	7	圃場A:<0.02/- 圃場B:<0.02/-
	2	48.0% 液剤	2000 mL/10 a 雑草茎葉散布	3	138 236	圃場A:<0.02/- 圃場B:<0.02/-
たまねぎ (鱗茎)	2	43.0% 液剤	製剤1000 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉散布	3	7 6	圃場A:<0.02/- (#) 圃場B:<0.02/- (#)
ねぎ (茎葉)	2	43.0% 液剤	製剤1000 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉散布	2	50 196	圃場A:<0.02/- (#) 圃場B:<0.02/- (#)
ねぎ (茎葉)	2	43.0% 液剤	製剤500 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉散布	3	7,14,21	圃場A:<0.02/- 圃場B:0.03/-
にんにく (鱗茎)	2	48.0% 液剤	500 mL/10 a 雑草茎葉散布	1	1	圃場A:<0.02/- 圃場B:<0.02/-
アスパラガス (茎)	2	43.0% 液剤	製剤2000 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉散布	3	1	圃場A:<0.05/- 圃場B:<0.05/-
アスパラガス (茎)	2	43.0% 液剤	製剤1000 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉散布	3	13,17,24 19,24,31	圃場A:<0.05/- 圃場B:<0.05/-
にんじん (根部)	2	43.0% 液剤	製剤1000 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉散布	2	110 92	圃場A:<0.02/- (#) 圃場B:<0.02/- (#)
トマト (果実)	2	43.0% 液剤	製剤500 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉散布	3	1,3,7	圃場A:<0.02/- 圃場B:<0.02/-
なす (果実)	2	48.0% 液剤	500 mL/10 a 雑草茎葉散布	2	1	圃場A:<0.02/- 圃場B:<0.02/-
なす (果実)	2	43.0% 液剤	製剤500 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉散布	3	1,3,7	圃場A:<0.02/- 圃場B:<0.02/-
きゅうり (果実)	2	48.0% 液剤	500 mL/10 a 雑草茎葉散布	2	1	圃場A:<0.04/- 圃場B:<0.04/-
きゅうり (果実)	2	43.0% 液剤	製剤500 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉散布	3	1,3,7	圃場A:<0.05/- 圃場B:<0.05/-
ピーマン (果実)	2	48.0% 液剤	500 mL/10 a 雑草茎葉散布	2	1	圃場A:<0.02/- 圃場B:<0.02/-
ほうれんそう (茎葉)	2	43.0% 液剤	製剤1000 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉散布	1	47 38	圃場A:<0.02/- (#) 圃場B:<0.02/- (#)
温州みかん (果肉)	2	48.0% 液剤	2500 mL/10 a 雑草茎葉散布	3	1	圃場A:<0.02/- (#) 圃場B:<0.02/- (#)

（別紙1-2）

グリホサートカリウム塩作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留量（ppm）注１）【グリホサート／代謝物B】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
みかん（果肉）	2	43.0%液剤	製剤2000 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉散布	3	5	圃場A:<0.01/- 圃場B:<0.01/-
温州みかん（果皮）	2	48.0%液剤	2500 mL/10 a 雑草茎葉散布	3	*1*	圃場A:<0.04/- (#) 圃場B:<0.04/- (#)
みかん（果皮）	2	43.0%液剤	製剤2000 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉散布	3	5	圃場A:<0.01/- 圃場B:<0.01/-
なつみかん（果肉）	2	43.0%液剤	製剤2000 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉散布	3	5	圃場A:<0.01/- 圃場B:<0.01/-
なつみかん（果皮）	2	43.0%液剤	製剤2000 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉散布	3	5	圃場A:<0.01/- 圃場B:<0.01/-
なつみかん（果実全体）	2	48.0%液剤	2000 mL/10 a 雑草茎葉散布	5	7	圃場A:<0.04/- 圃場B:<0.04/-
ゆず（果実全体）	1	43.0%液剤	製剤2000 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉散布	3	5	圃場A:<0.01/-
すだち（果実全体）	1	43.0%液剤	製剤2000 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉散布	3	5	圃場A:<0.01/-
りんご（果実）	2	48.0%液剤	2500 mL/10 a 雑草茎葉散布	3	*1*	圃場A:<0.02/- (#) 圃場B:<0.02/- (#)
りんご（果実）	2	43.0%液剤	製剤2000 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉散布	3	5 6	圃場A:<0.01/<0.02 圃場B:<0.01/<0.02
日本なし（果実）	2	43.0%液剤	製剤2000 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉散布	3	5	圃場A:<0.01/<0.02 圃場B:<0.01/<0.02
びわ（葉）（生葉）	2	48.0%液剤	2000 mL/10 a 雑草茎葉散布	3	*1*	圃場A:<0.01/- (#) 圃場B:<0.01/- (#)
ぶどう（果実）	2	48.0%液剤	2500 mL/10 a 雑草茎葉散布	3	*1*	圃場A:<0.02/- (#) 圃場B:<0.02/- (#)
ぶどう（果実）	2	43.0%液剤	製剤2000 mL/水25 L/10 a 雑草茎葉散布	3	5	圃場A:<0.01/<0.02 圃場B:<0.01/<0.02
茶（あら茶）	2	43.0%液剤	製剤*1000* mL/水*25* L/10 a 雑草茎葉散布	2	*1*	圃場A:<0.1/- (#) 圃場B:<0.1/- (#)
ソルガム（植物体全体）	2	48.0%液剤	500 mL/10 a 雑草茎葉散布	2	110 113	圃場A:<0.02/- 圃場B:<0.02/-

注１）最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成１０年８月７日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（　）内に記載した。

注２）(#)印で示した作物残留試験成績は、申請の範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

グリホサートアンモニウム塩作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件 剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	各化合物の残留量（ppm）注1）【グリホサート／代謝物B】
水稲（玄米）	2	41.0%液剤	1000 mL/10 a 雑草茎葉散布	3	142	圃場A:<0.02/<0.04
					111	圃場B:<0.02/<0.04
小麦（玄麦）	2	41.0%液剤	*1000* mL/10 a 雑草茎葉散布	2	302	圃場A:<0.04/<0.04（#）注2）
					209	圃場B:<0.04/<0.04（#）
大麦（種子）	2	41.0%液剤	*1000* mL/10 a 雑草茎葉散布	2	187	圃場A:<0.02/-（#）
					166	圃場B:<0.02/-（#）
	2			3	1	圃場A:<0.02/-（#）
						圃場B:<0.02/-（#）
だいず（グリホサート耐性）（乾燥子実）	2	41.0%液剤	*2000*,500 mL/10 a 雑草茎葉散布	2	97	圃場A:2.60/2.91（#）
					100	圃場B:0.86/1.82
	2	41.0%液剤	250 mL/10 a 雑草茎葉散布	1	96,100,107	圃場A:0.20/0.25（1回,96日）
					111,115,119	圃場B:0.16/0.27（1回,111日）
だいず（乾燥子実）	1	41.0%液剤	*1000* mL/10 a 雑草茎葉散布	1	108	圃場A:<0.04/<0.04（#）
	2	41.0%液剤	*1000* mL/10 a 雑草茎葉散布	2	128	圃場A:<0.04/<0.04（#）
					122	圃場B:<0.04/<0.04（#）
	2	41.0%液剤	*700* mL/10 a 雑草茎葉散布	3	1,7	圃場A:<0.04/ー（3回,1日)(#)
						圃場B:<0.04/ー（3回,1日)(#)
えだまめ（さや）	2	41.0%液剤	*2000* mL/10 a 雑草茎葉散布	3	1	圃場A:<0.02/<0.02（#）
						圃場B:<0.02/<0.02（#）
ばれいしょ（塊茎）	2	41.0%液剤	*1000* mL/10 a 雑草茎葉散布	1	128	圃場A:<0.02/-（#）
					94	圃場B:<0.02/-（#）
	2			2	1,7	圃場A:<0.02/-（2回,1日)(#)
						圃場B:<0.02/-（2回,1日)(#)
さとうきび（茎）	2	41.0%液剤	*1500* mL/10 a 雑草茎葉散布	2	60	圃場A:<0.2/<0.2（#）
					61	圃場B:<0.2/<0.2（#）
レタス（茎葉）	2	41.0%液剤	*1000* mL/10 a 雑草茎葉散布	3	1,11	圃場A:<0.02/<0.02（3回,1日)(#)
					1,14	圃場B:<0.02/<0.02（3回,1日)(#)
たまねぎ（鱗茎）	2	41.0%液剤	*1000* mL/10 a 雑草茎葉散布	3	7	圃場A:<0.02/<0.02（#）
					7	圃場B:<0.02/<0.02（#）
ねぎ（茎葉）	4	41.0%液剤	*1000* mL/10 a 雑草茎葉散布	3	30	圃場A:<0.02/<0.02（#）
					30	圃場B:<0.02/<0.02（#）
					30	圃場C:<0.01/<0.01（#）
					29	圃場D:0.01/<0.01（#）
アスパラガス（茎）	2	41.0%液剤	2500 mL/10 a 雑草茎葉散布	2	1,3,7	圃場A:<0.02/-
						圃場B:<0.02/-
にんじん（根）	2	41.0%液剤	*1000* mL/10 a 雑草茎葉散布	1	116	圃場A:<0.02/-（#）
					114	圃場B:<0.02/-（#）
	2			2	1,7	圃場A:<0.02/-（2回,1日)(#)
						圃場B:<0.02/-（2回,1日)(#)
ほうれんそう（茎葉）	2	41.0%液剤	*1000* mL/10 a 雑草茎葉散布	3	1,13	圃場A:<0.02/<0.02（3回,13日)(#)
					1,15	圃場B:<0.02/<0.02（3回,15日)(#)
たらのき（茎葉部）	2	41.0%液剤	500 mL/10 a 雑草茎葉散布	3	*62*	圃場A:<0.02/-（#）
					96	圃場B:<0.02/-
薬用にんじん（根部）	2	41.0%液剤	500 mL/10 a 雑草茎葉散布	*5*	188	圃場A:<0.02/-（#）
						圃場B:<0.02/-（#）
キウイフルーツ（果実）	2	41.0%液剤	2500 mL/10 a 雑草茎葉散布	3	7	圃場A:<0.01/<0.01
						圃場B:<0.01/<0.01
オリーブ（葉）	2	41.0%液剤	2000 mL/10 a 雑草茎葉散布	3	21	圃場A:<0.02/-
						圃場B:<0.02/-

注１）最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成１０年８月７日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（　）内に記載した。

注２）（#）印で示した作物残留試験成績は、申請の範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

(別紙1-4)

グリホサートイソプロピルアミン塩作物残留試験一覧表(米国)

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量(ppm) 注1) 【グリホサート/代謝物B】
		剤型	使用量・使用方法注4)	回数	経過日数	
綿実 (グリホサート耐性品種: CP4 EPSPS遺伝子導入)	13	445 g ae/L 注3) 液剤	LPO: 2.16～2.28 lb ae/A FWF: 1.44～1.53 lb ae/A FOB: 0.75～0.78 lb ae/A PH: 1.44～1.60 lb ae/A 総使用量 5.85～6.09 lb ae/A (6.56～6.83 kg ae/ha)	4	7	圃場A:6.39/0.22
					6	圃場B:3.55/0.11
					7	圃場C:12.1/0.26
					7	圃場D:11.9/0.45
					7	圃場E:17.7/0.70
					6	圃場F:7.92/0.29
					8	圃場G:5.72/0.14
					6	圃場H:2.94/0.13
					7	圃場I:3.29/0.05
					7	圃場J:11.4/0.31
					7	圃場K:12.6/0.15
					8	圃場L:3.39/<0.03
					7	圃場M:7.33/0.18
	13	445 g ae/L 液剤	FWF: 2.87～3.01 lb ae/A FOB: 1.48～1.53 lb ae/A PH: 1.45～1.62 lb ae/A 総使用量 5.84～6.08 lb ae/A (6.55～6.81 kg ae/ha)	3	7	圃場A:12.6/0.40
					6	圃場B:7.24/0.19
					7	圃場C:17.7/0.36
					7	圃場D:18.5/0.77
					7	圃場E:17.5/0.71
					6	圃場F:15.6/0.47
					8	圃場G:7.10/0.20
					6	圃場H:4.92/0.15
					7	圃場I:18.1/0.34
					7	圃場J:21.9/0.40
					7	圃場K:27.7/0.28
					8	圃場L:9.70/0.07
					7	圃場M:12.6/0.31
綿実	12	360 g ae/L 液剤	PRE: *8* lb ae/A PH: *4* lb ae/A 総使用量:*12 lb ae/A* *(13.44 kg ae/ha)*	2	9	圃場A:0.54/<0.05 (#) 注2)
		360 g ae/L 532 g ae/L 液剤	PRE: *8* lb ae/A PH: *4* lb ae/A 総使用量:*12* lb ae/A (*13.44* kg ae/ha)		13	圃場B:3.62/0.055 (#)
						圃場C:1.865/<0.05 (#)
			PRE: *8* lb ae/A RCS: *2×6* lb ae/A PH: *4* lb ae/A 総使用量:*24* lb ae/A (*26.90* kg ae/ha)	4	9	圃場D:2.68/0.075 (#)
			PRE: *8* lb ae/A RCS: *3×6* lb ae/A PH: *4* lb ae/A 総使用量:*30* lb ae/A (*33.63* kg ae/ha)	5	13	圃場E:2.895/0.065 (#)
			PRE: *16* lb ae/A RCS: *10.6* lb ae/A PH: *4* lb ae/A 総使用量:*30.6* lb ae/A (*34.30* kg ae/ha)	4	9	圃場F:5.925/0.07 (#)
		360 g ae/L 液剤	PH: *4.50* lb ai/A 総使用量:4.50 lb ae/A (5.04 kg ae/ha)	1	*3*,10	圃場G:0.49/0.06 (1回,10日)(#)
					3,10	圃場H:0.915/0.20 (1回,10日)(#)
					7,14	圃場I:2.145/<0.05 (#)
					5,10	圃場J:0.265/<0.05 (1回,10日)(#)
					3,10	圃場K:0.26/<0.05 (1回,10日)(#)
					3,8	圃場L:2.885/0.065 (1回,8日)(#)
ひまわり	8	360 g ae/L 液剤	PRE: 0.77～0.99 lb ae/A PH: 0.77～0.92 lb ae/A 総使用量:1.54～1.91 lb ae/A (1.73～2.14 kg ae/ha)	2	7	圃場A:0.11/-
					6	圃場B:2.25/-
					6	圃場C:0.69/-
					7	圃場D:0.345/-
					8	圃場E:3.25/-
					7	圃場F:18.5/-
			PH: 0.99～1.00 lb ae/A 総使用量:0.99～1.00 lb ae/A (1.11～1.12 kg ae/ha)	1	7	圃場G:6.35/-
					7	圃場H:5.35/-

グリホサートイソプロピルアミン塩作物残留試験一覧表（米国）

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量（ppm）注1）【グリホサート／代謝物B】
		剤型	使用量・使用方法注4）	回数	経過日数	
べにばな	3	360 g ae/L 液剤	PRE: 2.20～2.25 lb ae/A PH: 2.23～2.24 lb ae/A 総使用量：4.4～4.5 lb ae/A (4.9～5.0 kg ae/ha)	2	7,14,20	圃場A:1.8/-（2回,20日）
					7	圃場B:2.8/-
					7	圃場C:1.6/-

注１）最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成１０年８月７日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（　）内に記載した。

注２）(#)印で示した作物残留試験成績は、申請の範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。
注３）ae ： グリホサート換算値
注４）LPO:生育期(6-8 葉期), FWF:開花始め, FOB: さくの開じょ始め, PH:収穫前

(別紙1-5)

グリホサートカリウム塩作物残留試験一覧表（豪州）

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1) 【グリホサート／代謝物B】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ひよこまめ	3	490 g ae/L注3) 液剤	0.98 kg ae/ha	1	*1*,*3*,7,10	圃場A:0.8/<0.1
			0.59 kg ae/ha		*1*,*3*,7,10	圃場B:0.1/<0.02
			0.98 kg ae/ha		*1*,*3*,7,10	圃場C:0.2/<0.02
	4	490 g ae/L 液剤	0.96 kg ae/ha	1	12	圃場A:1.46/<ND
			1.98 kg ae/ha		12	圃場B:1.50/<0.05 (#)注2)
			0.96 kg ae/ha		3,5,7,12,16	圃場C:1.43/<ND (1回,12日)
			1.98 kg ae/ha		3,5,7,12,16	圃場D:19.4/0.18 (1回,12日)(#)
緑豆	2	510 g ae/L 液剤	1.02 kg ae/ha	1	0,5,7,10	圃場A:*2.3/<0.1 (*1回,10日)
			1.02 kg ae/ha		1,4,7,10	圃場B:1.1/<0.1

注１）最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成１０年８月７日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

注２）(#)印で示した作物残留試験成績は、申請の範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。
注３）ae ： グリホサート換算値

ND = Not Detected (検出限界 0.02 ppm)

(別紙1-6)

グリホサートカリウム塩作物残留試験一覧表（EU）

農作物[注4)]	試験圃場数	試験条件				最大残留量（ppm）[注1)]【グリホサート／代謝物B】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ぶどう（中位）	6	450 g ae/L[注3)] 液剤	0.72 kg ae/ha（春期処理）+ 0.72 kg ae/ha（夏期処理）	2	*0,4,8,14,21*	圃場A:ND/ND (1回,21日)(#)[注2)]
					0,4,8,14,21	圃場B:ND/ND (1回,21日)(#)
					0,4,9,15,21,65	圃場C:ND/ND (1回,65日)
					0,3,10,14,21	圃場D:ND/ND (1回,21日)(#)
					0,3,7,14,21	圃場E:ND/ND (1回,21日)(#)
			0.72 kg ae/ha（秋期処理）	1	*0,4,8,14,21*	圃場F:ND/ND (1回,21日)(#)
ぶどう（低位）	5	450 g ae/L 液剤	0.72 kg ae/ha（春期処理）+ 0.72 kg ae/ha（夏期処理）	2	*0,4,8,14,21*	圃場A:ND/ND (1回,21日)(#)
					0,4,8,14,21	圃場B:ND/ND (1回,21日)(#)
					0,4,9,15,21	圃場C:ND/ND (1回,21日)(#)
					0,3,10,14,21	圃場D:ND/ND (1回,21日)(#)
			0.72 kg ae/ha（秋期処理）	1	*0,4,8,14,21*	圃場E:ND/ND (1回,21日)(#)
ぶどう（枝接地）	4	450 g ae/L 液剤	0.72 kg ae/ha（春期処理）+ 0.72 kg ae/ha（夏期処理）	2	*14,21*	圃場A:ND/ND (1回,21日)(#)
					21	圃場B:ND/ND (#)
					0,4,9,15,21,65	圃場C:ND/ND (1回,65日)
			0.72 kg ae/ha（秋期処理）	1	*0,4,8,14,21*	圃場D:0.1/ND (1回,21日)(#)

注１）最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成１０年８月７日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（　）内に記載した。

注２）(#)印で示した作物残留試験成績は、申請の範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。
注３）ae ： グリホサート換算値
注４）中位：枝の中位置から取った房、低位：枝の低位置から取った房、枝接地：接地した枝からとった房
ND = not detected (検出限界 0.05 ppm)

(別紙1-7)

グリホサートカリウム塩作物残留試験一覧表（遺伝子組換え品種）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の最大残留量（ppm）注1） 【グリホサート/NAG/代謝物B/代謝物F】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
*gat*4601遺伝子導入組換えだいず（子実）	6	52.3%液剤注2） (600 g ae/L)	6726 g ae/ha	<u>4</u>	<u>14</u>	圃場A:0.45/5.0/0.097/- 圃場B:0.088/2.4/0.02/- 圃場C:<0.02/<0.02/<0.02/- 圃場D:0.11/1.0/0.01/- 圃場E:0.12/1.7/0.01/- 圃場F:0.21/6.0/0.04/-
*gat*4601遺伝子導入組換えだいず（茎葉飼料）	6	52.3%液剤 (600 g ae/L)	6726 g ae/ha	4	14	圃場A:2.3/4.6/0.13/- 圃場B:9.2/37/0.60/- 圃場C:<0.02/<0.02/<0.02/- 圃場D:0.26/6.4/0.02/- 圃場E:1.9/18/0.15/- 圃場F:3.1/21/0.16/-
*gat*4601遺伝子導入組換えだいず（乾燥茎葉）	6	52.3%液剤 (600 g ae/L)	6726 g ae/ha	4	14	圃場A:5.9/16/0.48/- 圃場B:3.5/75/1.7/- 圃場C:<0.02/0.04/<0.02/- 圃場D:4.4/50/0.41/- 圃場E:0.38/12/0.057/- 圃場F:1.5/28/0.21/-
*gat*4601遺伝子導入組換えだいず（子実）	9	46.3%液剤 (513 g ae/L)	6726 g ae/ha	4	14	圃場A:0.20/2.9/0.26/- 圃場B:0.13/1.7/0.18/- 圃場C:0.18/1.6/0.16/- 圃場D:0.18/22/0.27/- 圃場E:0.24/11/0.13/- 圃場F:0.12/17/0.18/- 圃場G:0.15/19/0.068/- 圃場H:0.13/23/0.24/- 圃場I:0.20/9.6/0.12/-
*gat*4601遺伝子導入組換えだいず（子実）	4	46.3%液剤 (513 g ae/L)	6726 g ae/ha	4	14	圃場A:0.078/16/0.077/- 圃場B:0.086/16/0.073/- 圃場C:0.14/19/0.17/- 圃場D:0.076/14/0.21/-
*gat*4601遺伝子導入組換えだいず（子実）	2	44.2%液剤 (490 g ae/L)	6726 g ae/ha	4	14	圃場A:0.028/0.02/<0.02/- 圃場B:0.009/3.7/0.02/-
*gat*4601遺伝子導入組換えとうもろこし（種実）	6	52.3%液剤 (600 g ae/L)	6830 g ae/ha	4	7	圃場A:0.005/0.15/ND/ND 圃場B:0.003/0.055/0.02/ND 圃場C:0.01/0.008/ND/ND 圃場D:0.02/0.03/ND/ND 圃場E:0.04/0.05/ND/ND 圃場F:0.01/0.072/0.03/ND
*gat*4601遺伝子導入組換えとうもろこし（種実）	5	36.5%液剤 (500 g ae/L)	6830 g ae/ha	4	7	圃場A:0.003/0.078/ND/ND 圃場B:0.01/0.02/ND/ND 圃場C:0.061/0.04/ND/ND 圃場D:0.03/0.068/ND/ND 圃場E:0.004/0.10/0.02/ND
*gat*4601遺伝子導入組換えとうもろこし（種実）	1	52.3%液剤 (600 g ae/L)	6830 g ae/ha	4	5	圃場A:0.025/0.036/ND/ND
*gat*4601遺伝子導入組換えとうもろこし（種実）	4	52.3%液剤 (600 g ae/L)	6830 g ae/ha	4	6	圃場A:0.020/0.037/ND/ND 圃場B:ND/0.031/ND/ND 圃場C:ND/0.025/ND/ND 圃場D:ND/0.025/ND/ND
*gat*4601遺伝子導入組換えとうもろこし（種実）	15	52.3%液剤 (600 g ae/L)	6830 g ae/ha	4	7	圃場A:ND/0.36/ND/0.026 圃場B:ND/0.049/ND/ND 圃場C:0.025/ND/ND/ND 圃場D:0.046/0.037/ND/0.024 圃場E:ND/ND/ND/ND 圃場F:ND/0.032/ND/ND 圃場G:ND/0.17/ND/ND 圃場H:0.037/0.045/ND/ND 圃場I:ND/0.031/ND/ND 圃場J:0.048/0.020/ND/ND 圃場K:ND/0.023/ND/ND 圃場L:ND/0.035/ND/ND 圃場M:ND/0.035/ND/ND 圃場N:ND/0.036/ND/ND 圃場O:0.081/0.20/ND/0.023

(別紙1-7)

グリホサートカリウム塩作物残留試験一覧表（遺伝子組換え品種）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の最大残留量（ppm）[注1] 【グリホサート/NAG/代謝物B/代謝物F】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
*gat*4601遺伝子導入組換えとうもろこし（種実）	1	52.3%液剤 (600 g ae/L)	6830 g ae/ha	4	12	圃場A:0.054/0.055/0.020/ND
*gat*4601遺伝子導入組換えとうもろこし（種実）	3	36.5%液剤 (500 g ae/L)	6830 g ae/ha	4	6	圃場A:ND/0.032/ND/ND 圃場B:0.046/0.045/ND/ND 圃場C:ND/0.056/ND/ND
*gat*4601遺伝子導入組換えとうもろこし（種実）	10	36.5%液剤 (500 g ae/L)	6830 g ae/ha	4	7	圃場A:ND/0.52/ND/0.035 圃場B:ND/0.061/ND/0.021 圃場C:0.020/ND/ND/ND 圃場D:0.036/0.031/ND/0.023 圃場E:ND/ND/ND/ND 圃場F:ND/0.028/ND/ND 圃場G:ND/0.054/ND/ND 圃場H:ND/0.035/ND/ND 圃場I:ND/0.042/ND/ND 圃場J:ND/0.036/ND/ND
*gat*4601遺伝子導入組換えとうもろこし（種実）	1	36.5%液剤 (500 g ae/L)	6830 g ae/ha	4	12	圃場A:0.050/0.095/ND/ND
*gat*4621遺伝子導入組換えなたね（種子）	1	36.5%液剤 (500 g ae/L)	2377 g ae/ha	2	55	圃場A:ND/0.25/0.021/0.05
*gat*4621遺伝子導入組換えなたね（種子）	2	36.5%液剤 (500 g ae/L)	2375-2392 g ae/ha	2	60	圃場A:0.05/1.9/ND/0.69 圃場B:0.04/0.32/ND/0.065
*gat*4621遺伝子導入組換えなたね（種子）	1	36.5%液剤 (500 g ae/L)	2345 g ae/ha	2	62	圃場A:ND/0.55/ND/0.13
*gat*4621遺伝子導入組換えなたね（種子）	1	36.5%液剤 (500 g ae/L)	2362 g ae/ha	2	66	圃場A:ND/0.063/ND/ND
*gat*4621遺伝子導入組換えなたね（種子）	1	36.5%液剤 (500 g ae/L)	2413 g ae/ha	2	69	圃場A:0.03/0.26/ND/0.03
*gat*4621遺伝子導入組換えなたね（種子）	1	36.5%液剤 (500 g ae/L)	2414 g ae/ha	2	61,64,66,71,76,82	圃場A:0.43/1.6(64日)/ND/0.087(64日)
*gat*4621遺伝子導入組換えなたね（種子）	1	36.5%液剤 (500 g ae/L)	2383 g ae/ha	2	77,80,83,87,91,98	圃場A:ND/0.22/ND/0.05(98日)
*gat*4621遺伝子導入組換えなたね（種子）	9	36.5%液剤 (500 g ae/L)	2242-2294 g ae/ha	3	6	圃場A:5.1/0.60/0.079/ND 圃場B:7.8/3.3/0.089/0.03 圃場C:3.2/0.24/0.03/0.02 圃場D:2.4/0.23/0.03/0.02 圃場E:0.95/2.2/0.04/0.04 圃場F:0.86/1.3/ND/0.03 圃場G:0.53/0.30/ND/ND 圃場H:0.48/0.28/ND/ND 圃場I:0.78/14/ND/0.35
*gat*4621遺伝子導入組換えなたね（種子）	6	36.5%液剤 (500 g ae/L)	2231-2533 g ae/ha	3	7	圃場A:9.9/0.19/0.05/0.03 圃場A:2.2/0.25/0.02/0.03 圃場A:0.96/0.57/ND/0.04 圃場A:1.6/0.88/ND/0.04 圃場A:2.4/0.39/ND/0.03 圃場A:3.0/0.28/ND/0.04
*gat*4621遺伝子導入組換えなたね（種子）	1	36.5%液剤 (500 g ae/L)	2248 g ae/ha	3	8	圃場A:1.4/0.38/0.03/0.05
*gat*4621遺伝子導入組換えなたね（種子）	1	36.5%液剤 (500 g ae/L)	2269 g ae/ha	3	7,11,12,18,21,28	圃場A:5.1(28日)/0.44(28日)/0.2(21日)/0.03(28日)

注１）最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成１０年８月７日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（　）内に記載した。

*gat*4601遺伝子を導入したとうもろこしについては、輸入及び流通は認められていないがNAGの残留の状況を示すため参考として記載した。

注２）ae：グリホサート換算値

ND = not detected（検出限界0.003 ppm）、<LOQ = 定量限界（0.01 ppm）未満

NAG = N-アセチルグリホサート

農薬名　　グリホサート　　　　　　　　（別紙2）

食品名	基準値案 ppm	基準値現行 ppm	登録有無	参考基準値 国際基準 ppm	参考基準値 外国基準値 ppm		作物残留試験成績等 ppm
米（玄米をいう。）	0.1	0.1	○				
小麦	30	5.0	○・申	30			
大麦	30	20	○	30			
ライ麦	30	0.2	○	30			
とうもろこし	5	1.0	○・IT	5			
そば	30	0.2	○	30			
その他の穀類	30	20	○	30			
大豆	20	20	○・IT	20			
小豆類	10	2.0	○・IT	2	10	豪州	【0.2-9.5(n=7)(ひよこ豆),1.1,2.2(緑豆)(豪州)】
えんどう	5	5.0	○	5			
そら豆	2	2.0	○				
らっかせい	0.1	0.1					
その他の豆類	5	2.0	○	5			
ばれいしょ	0.2	0.2	○				
さといも類（やつがしらを含む。）	0.1	0.1	○				IPA:<0.02,<0.02(かんしょ),<0.02,<0.02(やまのいも),<0.02,<0.02(こんにゃく)参照※1
かんしょ	0.2	0.2	○				
やまいも（長いもをいう。）	0.2	0.2	○				
こんにゃくいも	0.1	0.1	○				
その他のいも類	0.1	0.1	○				（さといも類参照）※1
てんさい	15	0.2		15			
さとうきび	2	2.0	○	2			
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.2	0.2	○				
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	0.2	0.2	○				
かぶ類の根	0.2	0.2	○				
かぶ類の葉	0.2	0.2	○				
西洋わさび	0.2	0.2	○				
クレソン	0.2	0.2	○				
はくさい	0.2	0.2	○				
キャベツ	0.2	0.2	○・申				
芽キャベツ	0.2	0.2	○				
ケール	0.2	0.2	○				
こまつな	0.2	0.2	○				
きょうな	0.2	0.2	○				
チンゲンサイ	0.2	0.2	○				
カリフラワー	0.2	0.2	○				
ブロッコリー	0.2	0.2	○				
その他のあぶらな科野菜	0.2	0.2	○				
ごぼう	0.2	0.2	○				
サルシフィー	0.2	0.2	○				
アーティチョーク	0.2	0.2	○				
チコリ	0.2	0.2	○				
エンダイブ	0.2	0.2	○				
しゅんぎく	0.2	0.1	○				IPA:<0.04,<0.04(#)(だいこん類の根)、NH4:<0.02,<0.02(#)(ﾚﾀｽ)、K:<0.05,<0.05(ｱｽﾊﾟﾗｶﾞｽ)、IPA:<0.02,<0.02(にんじん)、K:<0.02,<0.02(ﾋﾟｰﾏﾝ)、K:<0.04,<0.04(きゅうり)、IPA:0.04,<0.02(#)(えだまめ)参照※2
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	0.2	0.2	○				
その他のきく科野菜	0.2	0.2	○				
たまねぎ	0.2	0.2	○・申				
ねぎ（リーキを含む。）	0.2	0.2	○				
にんにく	0.2	0.2	○				
にら	0.2	0.1	○				（しゅんぎく参照）※2

農薬名　グリホサート　（別紙2）

食品名	基準値案 ppm	基準値現行 ppm	登録有無	参考基準値 国際基準 ppm	参考基準値 外国基準値 ppm		作物残留試験成績等 ppm
アスパラガス	0.5	0.5	○				
わけぎ	0.2	0.2	○				
その他のゆり科野菜	0.2	0.2	○				(しゅんぎく参照)※2
にんじん	0.2	0.2	○				
パースニップ	0.2	0.2	○				
パセリ	0.2	0.2	○				
セロリ	0.2	0.2	○				
みつば	0.2	0.1	○				(しゅんぎく参照)※2
その他のせり科野菜	0.2	0.1	○				(しゅんぎく参照)※2
トマト	0.2	0.2	○				
ピーマン	0.1	0.1	○				
なす	0.2	0.2	○				
その他のなす科野菜	0.1	0.1	○				
きゅうり(ガーキンを含む。)	0.5	0.5	○				
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.5	0.5	○				
しろうり	0.2	0.2	○				(しゅんぎく参照)※2
すいか	0.5	0.5	○				
メロン類果実	0.5	0.5	○				
まくわうり	0.2	0.2	○				(しゅんぎく参照)※2
その他のうり科野菜	0.5	0.5	○				
ほうれんそう	0.2	0.2	○				
たけのこ	0.2	0.2	○				
オクラ	0.2	0.2	○				(しゅんぎく参照)※2
しょうが	0.2	0.2	○				
未成熟えんどう	0.2	3	○				(しゅんぎく参照)※2
未成熟いんげん	0.2	2	○				(しゅんぎく参照)※2
えだまめ	0.2	0.2	○				
マッシュルーム	0.2	0.2					
しいたけ		0.1					
その他のきのこ類		30					
その他の野菜	0.2	0.2	○				
みかん	0.5	0.5	○・申				
なつみかんの果実全体	0.5	0.5	○・申				
レモン	0.5	0.5	○・申				
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	0.5	0.5	○・申				
グレープフルーツ	0.5	0.5	○・申				
ライム	0.5	0.5	○・申				
その他のかんきつ類果実	0.5	0.5	○・申				
りんご	0.2	0.2	○・申				
日本なし	0.2	0.2	○・申				
西洋なし	0.2	0.2	○・申				
マルメロ	0.2	0.2	○				
びわ	0.2	0.2	○				
もも	0.2	0.2	○				
ネクタリン	0.2	0.2	○				
あんず(アプリコットを含む。)	0.2	0.2	○				
すもも(プルーンを含む。)	0.2	0.2	○				
うめ	0.2	0.2	○				
おうとう(チェリーを含む。)	0.2	0.2	○				
いちご	0.2	0.2	○				
ラズベリー	0.2	0.2	○				
ブラックベリー	0.2	0.2	○				
ブルーベリー	0.2	0.2	○				
クランベリー	0.2	0.2	○				
ハックルベリー	0.2	0.2	○				
その他のベリー類果実	0.2	0.2	○				
ぶどう	0.5	0.2	○・IT		0.5	EU	【<0.05-0.1(#)(n=6)(EU)】

農薬名　グリホサート　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（別紙2）

食品名	基準値案 ppm	基準値現行 ppm	登録有無	参考基準値 国際基準 ppm	参考基準値 外国基準値 ppm		作物残留試験成績等 ppm
かき	0.2	0.2	○				
バナナ	0.2	0.2	○	0.05			
キウィー	0.1	0.1	○				
パパイヤ	0.2	0.2	○				
アボカド	0.2	0.2	○				
パイナップル	0.1	0.1	○				
グアバ	0.2	0.2	○				
マンゴー	0.2	0.2	○				
パッションフルーツ	0.2	0.2	○				
なつめやし	0.2	0.2	○				
その他の果実	0.2	0.2	○				
ひまわりの種子	40	0.1	IT	7	40	米国	【4.92-27.7(n=13)(綿実(耐性品種),0.11-18.5(n=8)(ひまわりの種子),1.6,1.8,2.8(べにばなの種子)(米国)】
ごまの種子	40	0.2	IT		40	米国	【ひまわりの種子参照】
べにばなの種子	40	0.1	IT		40	米国	【ひまわりの種子参照】
綿実	40	10	IT	40			
なたね	30	10	IT	30			
その他のオイルシード	40	0.1	IT		40	米国	【ひまわりの種子参照】
ぎんなん	0.2	0.2	○				
くり	1	1.0	○				
ペカン	1	1.0	○				
アーモンド	1	1.0	○				
くるみ	1	1.0	○				
その他のナッツ類	1	1.0	○				
茶	1	1.0	○				
コーヒー豆	1	1.0					
カカオ豆	0.2	0.2					
ホップ	0.1	0.1					
その他のスパイス	0.2	2	○・申				(しゅんぎく参照)※2
その他のハーブ	0.2	0.2	○				(しゅんぎく参照)※2
牛の筋肉	0.05	0.1		0.05			
豚の筋肉	0.05	0.1		0.05			
その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉	0.05	0.4		0.05			
牛の脂肪	0.05	0.5					【牛の筋肉の基準値参照】
豚の脂肪	0.05	0.3					【豚の筋肉の基準値参照】
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.05	0.5					【その他の陸生哺乳類に属する動物の筋肉の基準値参照】
牛の肝臓	5	2		5			
豚の肝臓	0.5	1		0.5			
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	5	1		5			
牛の腎臓	5	2		5			
豚の腎臓	0.5	1		0.5			
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	5	3		5			
牛の食用部分	5	2		5			
豚の食用部分	0.5	1		0.5			
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	5	1		5			
乳	0.05	0.1		0.05			
鶏の筋肉	0.05	0.1		0.05			
その他の家きんの筋肉	0.05	0.1		0.05			
鶏の脂肪	0.05	0.08					【鶏の筋肉の基準値参照】
その他の家きんの脂肪	0.05	0.08					【その他の家きんの筋肉の基準値参照】

農薬名　　グリホサート　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（別紙2）

食品名	基準値案 ppm	基準値現行 ppm	登録有無	参考基準値 国際基準 ppm	参考基準値 外国基準値 ppm		作物残留試験成績等 ppm
鶏の肝臓	0.5	0.6		0.5			
その他の家きんの肝臓	0.5	0.6		0.5			
鶏の腎臓	0.5	1		0.5			
その他の家きんの腎臓	0.5	1		0.5			
鶏の食用部分	0.5	0.7		0.5			
その他の家きんの食用部分	0.5	0.7		0.5			
鶏の卵	0.05	0.1		0.05			
その他の家きんの卵	0.05	0.1		0.05			
魚介類（さけ目魚類に限る。）		0.3					
魚介類（うなぎ目魚類に限る。）		0.3					
魚介類（すずき目魚類に限る。）		0.3					
魚介類（その他の魚類に限る。）		0.3					
魚介類（貝類に限る。）		3					
魚介類（甲殻類に限る。）		3					
その他の魚介類		3					
綿実油（注1に限る。）		0.05					
綿実油（注1を除く。）		0.05					

平成17年11月29日厚生労働省告示第499号において新しく設定した基準値については、網をつけて示した。
申請（国内における登録、承認等の申請、ｲﾝﾎﾟｰﾄﾄﾚﾗﾝｽ申請）以外の理由により本基準（暫定基準以外の基準）を見直す基準値案については、太枠線で囲んで示した。
「登録有無」の欄に「申」の記載があるものは、国内で農薬の登録申請等の基準値設定依頼がなされたものであることを示している。
「登録有無」の欄に「IT」の記載があるものは、ｲﾝﾎﾟｰﾄﾄﾚﾗﾝｽ申請に基づく基準値設定依頼がなされたものであることを示している。
(#)これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。
※1：かんしょ、やまのいも、こんにゃくの作物残留試験成績より、いも類として基準値を設定した。
※2：だいこんの根、レタス、アスパラガス、にんじん、ﾋﾟｰﾏﾝ、きゅうり、えだまめの作物残留試験成績より、野菜類として基準値を設定した。
注1）食用植物油脂の日本農林規格に規定する精製綿実油、綿実サラダ油及びこれらと同等以上の企画を有すると認められる食用油。
ひよこ豆、緑豆の残留濃度は、作物残留試験での実際の使用量を使用基準（GAP）の使用量に補正した値（残留濃度×（GAP使用量/実際の使用量））で示している。
IPA：グリホサートイソプロピルアミン塩、NH4：グリホサートアンモニウム塩、K：グリホサートカリウム塩

（別紙３）

グリホサート推定摂取量　(単位：μg／人／day)

食品名	基準値案 (ppm)	一般 (1歳以上) TMDI	幼小児 (1～6歳) TMDI	妊婦 TMDI	高齢者 (65歳以上) TMDI
米（玄米をいう。）	0.1	16.4	8.6	10.5	18.0
小麦	30	1794.0	1329.0	2070.0	1497.0
大麦	30	159.0	132.0	264.0	132.0
ライ麦	30	3.0	3.0	15.0	3.0
とうもろこし	5	23.5	27.0	30.0	21.5
そば	30	33.0	15.0	54.0	33.0
その他の穀類	30	6.0	3.0	3.0	9.0
大豆	20	780.0	408.0	626.0	922.0
小豆類	10	24.0	8.0	8.0	39.0
えんどう	5	0.5	0.5	0.5	0.5
そら豆	2	1.4	0.4	1.6	1.6
らっかせい	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
その他の豆類	5	0.5	0.5	0.5	0.5
ばれいしょ	0.2	7.7	6.8	8.4	7.0
さといも類（やつがしらを含む。）	0.1	0.5	0.2	0.1	0.8
かんしょ	0.2	1.4	1.3	2.4	2.0
やまいも（長いもをいう。）	0.2	0.6	0.2	0.3	0.9
こんにゃくいも	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1
その他のいも類	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
てんさい	15	487.5	415.5	616.5	498.0
さとうきび	2	196.4	167.2	248.2	200.4
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.2	6.6	2.3	4.1	9.1
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	0.2	0.3	0.1	0.6	0.6
かぶ類の根	0.2	0.6	0.2	0.0	1.0
かぶ類の葉	0.2	0.1	0.0	0.0	0.1
西洋わさび	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
クレソン	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
はくさい	0.2	3.5	1.0	3.3	4.3
キャベツ	0.2	4.8	2.3	3.8	4.8
芽キャベツ	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
ケール	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
こまつな	0.2	1.0	0.4	1.3	1.3
きょうな	0.2	0.4	0.1	0.3	0.5
チンゲンサイ	0.2	0.4	0.1	0.4	0.4
カリフラワー	0.2	0.1	0.0	0.0	0.1
ブロッコリー	0.2	1.0	0.7	1.1	1.1
その他のあぶらな科野菜	0.2	0.7	0.1	0.2	1.0
ごぼう	0.2	0.8	0.3	0.8	0.9
サルシフィー	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
アーティチョーク	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
チコリ	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
エンダイブ	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
しゅんぎく	0.2	0.3	0.1	0.5	0.5
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	0.2	1.9	0.9	2.3	1.8
その他のきく科野菜	0.2	0.3	0.0	0.1	0.5
たまねぎ	0.2	6.2	4.5	7.1	5.6
ねぎ（リーキを含む。）	0.2	1.9	0.7	1.4	2.1
にんにく	0.2	0.1	0.0	0.2	0.1
にら	0.2	0.4	0.2	0.4	0.4
アスパラガス	0.5	0.9	0.4	0.5	1.3
わけぎ	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のゆり科野菜	0.2	0.1	0.0	0.0	0.2

（別紙３）

グリホサート推定摂取量　(単位：μg／人／day)

食品名	基準値案(ppm)	一般(1歳以上)TMDI	幼小児(1～6歳)TMDI	妊婦TMDI	高齢者(65歳以上)TMDI
にんじん	0.2	3.8	2.8	4.5	3.7
パースニップ	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
パセリ	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
セロリ	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2
みつば	0.2	0.1	0.0	0.0	0.1
その他のせり科野菜	0.2	0.0	0.0	0.1	0.1
トマト	0.2	6.4	3.8	6.4	7.3
ピーマン	0.1	0.5	0.2	0.8	0.5
なす	0.2	2.4	0.4	2.0	3.4
その他のなす科野菜	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1
きゅうり（ガーキンを含む。）	0.5	10.4	4.8	7.1	12.8
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	0.5	4.7	1.9	4.0	6.5
しろうり	0.2	0.1	0.0	0.0	0.2
すいか	0.5	3.8	2.8	7.2	5.7
メロン類果実	0.5	1.8	1.4	2.2	2.1
まくわうり	0.2	0.0	0.0	0.0	0.1
その他のうり科野菜	0.5	1.4	0.6	0.3	1.7
ほうれんそう	0.2	2.6	1.2	2.8	3.5
たけのこ	0.2	0.8	0.3	0.2	0.9
オクラ	0.2	0.3	0.2	0.3	0.3
しょうが	0.2	0.3	0.1	0.2	0.3
未成熟えんどう	0.2	0.3	0.1	0.0	0.5
未成熟いんげん	0.2	0.5	0.2	0.0	0.6
えだまめ	0.2	0.3	0.2	0.1	0.5
マッシュルーム	0.2	0.1	0.1	0.2	0.0
その他の野菜	0.2	2.7	1.3	2.0	2.8
みかん	0.5	8.9	8.2	0.3	13.1
なつみかんの果実全体	0.5	0.7	0.4	2.4	1.1
レモン	0.5	0.3	0.1	0.1	0.3
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	0.5	3.5	7.3	6.3	2.1
グレープフルーツ	0.5	2.1	1.2	4.5	1.8
ライム	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1
その他のかんきつ類果実	0.5	3.0	1.4	1.3	4.8
りんご	0.2	4.8	6.2	3.8	6.5
日本なし	0.2	1.3	0.7	1.8	1.6
西洋なし	0.2	0.1	0.0	0.0	0.1
マルメロ	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
びわ	0.2	0.1	0.1	0.4	0.1
もも	0.2	0.7	0.7	1.1	0.9
ネクタリン	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
あんず（アプリコットを含む。）	0.2	0.0	0.0	0.0	0.1
すもも（プルーンを含む。）	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2
うめ	0.2	0.3	0.1	0.1	0.4
おうとう（チェリーを含む。）	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1
いちご	0.2	1.1	1.6	1.0	1.2
ラズベリー	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
ブラックベリー	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
ブルーベリー	0.2	0.2	0.1	0.1	0.3
クランベリー	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
ハックルベリー	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のベリー類果実	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0

（別紙３）

グリホサート推定摂取量　（単位：μg／人／day）

食品名	基準値案 (ppm)	一般 (1歳以上) TMDI	幼小児 (1～6歳) TMDI	妊婦 TMDI	高齢者 (65歳以上) TMDI
ぶどう	0.5	4.4	4.1	10.1	4.5
かき	0.2	2.0	0.3	0.8	3.6
バナナ	0.2	2.6	3.0	3.3	3.8
キウィー	0.1	0.2	0.1	0.2	0.3
パパイヤ	0.2	0.0	0.1	0.0	0.0
アボカド	0.2	0.1	0.0	0.0	0.1
パイナップル	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2
グアバ	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
マンゴー	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1
パッションフルーツ	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
なつめやし	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の果実	0.2	0.2	0.1	0.2	0.3
ひまわりの種子	40	4.0	4.0	4.0	4.0
ごまの種子	40	36.0	36.0	36.0	32.0
べにばなの種子	40	4.0	4.0	4.0	4.0
綿実	40	4.0	4.0	4.0	4.0
なたね	30	177.0	111.0	162.0	138.0
その他のオイルシード	40	4.0	4.0	4.0	4.0
ぎんなん	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
くり	1	0.6	0.3	0.1	0.7
ペカン	1	0.1	0.1	0.1	0.1
アーモンド	1	0.1	0.1	0.1	0.1
くるみ	1	0.1	0.1	0.1	0.2
その他のナッツ類	1	0.1	0.1	0.1	0.1
茶	1	6.6	1.0	3.7	9.4
コーヒー豆	1	3.3	0.1	0.2	2.4
カカオ豆	0.2	0.0	0.0	0.1	0.0
ホップ	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のスパイス	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のハーブ	0.2	0.2	0.1	0.0	0.3
陸棲哺乳類の肉類	0.05	2.9	2.2	3.2	2.1
陸棲哺乳類の食用部分（肉類除く）	5	7.0	4.0	24.0	4.5
陸棲哺乳類の乳類	0.05	13.2	16.6	18.2	10.8
家きんの肉類	0.5	10.7	7.7	11.4	8.1
家きんの卵類	0.05	2.1	1.7	2.4	1.9
計		3925.0	2796.8	4344.5	3752.7
ADI比（%）		7.1	17.0	7.4	6.7

TMDI：理論最大1日摂取量（Theoretical Maximum Daily Intake）
TMDI試算法：基準値案×各食品の平均摂取量
「陸棲哺乳類の肉類」については、TMDI計算では、牛・豚・その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉、脂肪の摂取量にその範囲の基準値案で最も高い値を乗じた。

（参考）

これまでの経緯

昭和５５年　９月２２日	初回農薬登録
平成１５年　７月　１日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに清涼飲料水の規格基準改正に係る食品健康影響評価について要請
平成１７年１１月２９日	残留基準告示
平成２０年１２月１９日	インポートトレランス設定の要請（遺伝子組換えだいず）
平成２２年　２月１５日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成２２年　３月１０日	インポートトレランス設定の要請（遺伝子組換えとうもろこし）
平成２２年　４月　７日	インポートトレランス設定の要請（小豆類、ぶどう及びてんさい）
平成２２年　６月１８日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：小麦、キャベツ等）
平成２５年　１月３０日	インポートトレランス設定の要請（遺伝子組換えなたね）
平成２５年　４月　９日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに清涼飲料水の規格基準改正に係る食品健康影響評価について取り下げ
平成２８年　１月２７日	インポートトレランス設定の要請（綿実、ひまわり等）
平成２８年　７月１２日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成２９年　３月　７日	薬事･食品衛生審議会へ諮問
平成２９年　３月２２日	薬事･食品衛生審議会食品衛生分科会農薬･動物用医薬品部会

● 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

［委員］

○穐山　浩	国立医薬品食品衛生研究所食品部長
石井　里枝	埼玉県衛生研究所化学検査室長
井之上　浩一	立命館大学薬学部薬学科臨床分析化学研究室准教授
折戸　謙介	麻布大学獣医生理学教授
魏　民	大阪市立大学大学院医学研究科分子病理学准教授
佐々木　一昭	東京農工大学大学院農学研究院動物生命科学部門准教授
佐藤　清	一般財団法人残留農薬研究所技術顧問
佐野　元彦	東京海洋大学海洋生物資源学部門教授
永山　敏廣	明治薬科大学薬学部薬学教育研究センター基礎薬学部門教授
根本　了	国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長
二村　睦子	日本生活協同組合連合会組織推進本部組合員活動部部長
宮井　俊一	一般社団法人日本植物防疫協会技術顧問
由田　克士	大阪市立大学大学院生活科学研究科公衆栄養学教授
吉成　浩一	静岡県立大学薬学部衛生分子毒性学分野教授

（○：部会長）

答申(案)

グリホサート

食品名	残留基準値 ppm
米(玄米をいう。)	0.1
小麦	30
大麦	30
ライ麦	30
とうもろこし	5
そば	30
その他の穀類[注1)]	30
大豆	20
小豆類[注2)]	10
えんどう	5
そら豆	2
らっかせい	0.1
その他の豆類[注3)]	5
ばれいしょ	0.2
さといも類(やつがしらを含む。)	0.1
かんしょ	0.2
やまいも(長いもをいう。)	0.2
こんにゃくいも	0.1
その他のいも類[注4)]	0.1
てんさい	15
さとうきび	2
だいこん類(ラディッシュを含む。)の根	0.2
だいこん類(ラディッシュを含む。)の葉	0.2
かぶ類の根	0.2
かぶ類の葉	0.2
西洋わさび	0.2
クレソン	0.2
はくさい	0.2
キャベツ	0.2
芽キャベツ	0.2
ケール	0.2
こまつな	0.2
きょうな	0.2
チンゲンサイ	0.2
カリフラワー	0.2
ブロッコリー	0.2
その他のあぶらな科野菜[注5)]	0.2
ごぼう	0.2
サルシフィー	0.2
アーティチョーク	0.2
チコリ	0.2
エンダイブ	0.2
しゅんぎく	0.2
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。)	0.2
その他のきく科野菜[注6)]	0.2
たまねぎ	0.2
ねぎ(リーキを含む。)	0.2

※今回基準値を設定するグリホサートとは、農産物(大豆、とうもろこし及びなたねに限る。)及び畜産物にあってはグリホサート及び*N*-アセチルグリホサートをグリホサートに換算したものの和をいい、農産物(大豆、とうもろこし及びなたねを除く。)にあってはグリホサートをいう。

注1)「その他の穀類」とは、穀類のうち、米、小麦、大麦、ライ麦、とうもろこし及びそば以外のものをいう。

注2)いんげん、ささげ、サルタニ豆、サルタピア豆、バター豆、ペギア豆、ホワイト豆、ライマ豆及びレンズを含む。

注3)「その他の豆類」とは、豆類のうち、大豆、小豆類、えんどう、そら豆、らっかせい及びスパイス以外のものをいう。

注4)「その他のいも類」とは、いも類のうち、ばれいしょ、さといも類、かんしょ、やまいも及びこんにゃくいも以外のものをいう。

注5)「その他のあぶらな科野菜」とは、あぶらな科野菜のうち、だいこん類の根、だいこん類の葉、かぶ類の根、かぶ類の葉、西洋わさび、クレソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、ケール、こまつな、きょうな、チンゲンサイ、カリフラワー、ブロッコリー及びハーブ以外のものをいう。

注6)「その他のきく科野菜」とは、きく科野菜のうち、ごぼう、サルシフィー、アーティチョーク、チコリ、エンダイブ、しゅんぎく、レタス及びハーブ以外のものをいう。

食品名	残留基準値 ppm
にんにく	0.2
にら	0.2
アスパラガス	0.5
わけぎ	0.2
その他のゆり科野菜注7)	0.2
にんじん	0.2
パースニップ	0.2
パセリ	0.2
セロリ	0.2
みつば	0.2
その他のせり科野菜注8)	0.2
トマト	0.2
ピーマン	0.1
なす	0.2
その他のなす科野菜注9)	0.1
きゅうり（ガーキンを含む。）	0.5
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	0.5
しろうり	0.2
すいか	0.5
メロン類果実	0.5
まくわうり	0.2
その他のうり科野菜注10)	0.5
ほうれんそう	0.2
たけのこ	0.2
オクラ	0.2
しょうが	0.2
未成熟えんどう	0.2
未成熟いんげん	0.2
えだまめ	0.2
マッシュルーム	0.2
その他の野菜注11)	0.2
みかん	0.5
なつみかんの果実全体	0.5
レモン	0.5
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	0.5
グレープフルーツ	0.5
ライム	0.5
その他のかんきつ類果実注12)	0.5
りんご	0.2
日本なし	0.2
西洋なし	0.2
マルメロ	0.2
びわ	0.2
もも	0.2
ネクタリン	0.2
あんず（アプリコットを含む。）	0.2
すもも（プルーンを含む。）	0.2
うめ	0.2
おうとう（チェリーを含む。）	0.2

注7)「その他のゆり科野菜」とは、ゆり科野菜のうち、たまねぎ、ねぎ、にんにく、にら、アスパラガス、わけぎ及びハーブ以外のものをいう。

注8)「その他のせり科野菜」とは、せり科野菜のうち、にんじん、パースニップ、パセリ、セロリ、みつば、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注9)「その他のなす科野菜」とは，なす科野菜のうち、トマト、ピーマン及びなす以外のものをいう。

注10)「その他のうり科野菜」とは、うり科野菜のうち、きゅうり、かぼちゃ、しろうり、すいか、メロン類果実及びまくわうり以外のものをいう。

注11)「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しようが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのこ類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注12)「その他のかんきつ類果実」とは、かんきつ類果実のうち、みかん、なつみかん、なつみかんの外果皮、なつみかんの果実全体、レモン、オレンジ、グレープフルーツ、ライム及びスパイス以外のものをいう。

食品名	残留基準値 ppm
いちご	0.2
ラズベリー	0.2
ブラックベリー	0.2
ブルーベリー	0.2
クランベリー	0.2
ハックルベリー	0.2
その他のベリー類果実[注13)]	0.2
ぶどう	0.5
かき	0.2
バナナ	0.2
キウィー	0.1
パパイヤ	0.2
アボカド	0.2
パイナップル	0.1
グアバ	0.2
マンゴー	0.2
パッションフルーツ	0.2
なつめやし	0.2
その他の果実[注14)]	0.2
ひまわりの種子	40
ごまの種子	40
べにばなの種子	40
綿実	40
なたね	30
その他のオイルシード[注15)]	40
ぎんなん	0.2
くり	1
ペカン	1
アーモンド	1
くるみ	1
その他のナッツ類[注16)]	1
茶	1
コーヒー豆	1
カカオ豆	0.2
ホップ	0.1
その他のスパイス[注17)]	0.2
その他のハーブ[注18)]	0.2
牛の筋肉	0.05
豚の筋肉	0.05
その他の陸棲哺乳類に属する動物[注19)]の筋肉	0.05
牛の脂肪	0.05
豚の脂肪	0.05
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.05
牛の肝臓	5
豚の肝臓	0.5
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	5
牛の腎臓	5
豚の腎臓	0.5
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	5

注13)「その他のベリー類果実」とは、ベリー類果実のうち、いちご、ラズベリー、ブラックベリー、ブルーベリー、クランベリー及びハックルベリー以外のものをいう。

注14)「その他の果実」とは、果実のうち、かんきつ類果実、りんご、日本なし、西洋なし、マルメロ、びわ、もも、ネクタリン、あんず、すもも、うめ、おうとう、ベリー類果実、ぶどう、かき、バナナ、キウィー、パパイヤ、アボカド、パイナップル、グアバ、マンゴー、パッションフルーツ、なつめやし及びスパイス以外のものをいう。

注15)「その他のオイルシード」とは、オイルシードのうち、ひまわりの種子、ごまの種子、べにばなの種子、綿実、なたね及びスパイス以外のものをいう。

注16)「その他のナッツ類」とは、ナッツ類のうち、ぎんなん、くり、ペカン、アーモンド及びくるみ以外のものをいう。

注17)「その他のスパイス」とは、スパイスのうち、西洋わさび、わさびの根茎、にんにく、とうがらし、パプリカ、しょうが、レモンの果皮、オレンジの果皮、ゆずの果皮及びごまの種子以外のものをいう。

注18)「その他のハーブ」とは、ハーブのうち、クレソン、にら、パセリの茎、パセリの葉、セロリの茎及びセロリの葉以外のものをいう。

注19)「その他の陸棲哺乳類に属する動物」とは、陸棲哺乳類に属する動物のうち、牛及び豚以外のものをいう。

食品名	残留基準値 ppm
牛の食用部分[注20)] 豚の食用部分 その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	5 0.5 5
乳	0.05
鶏の筋肉 その他の家きん[注21)]の筋肉	0.05 0.05
鶏の脂肪 その他の家きんの脂肪	0.05 0.05
鶏の肝臓 その他の家きんの肝臓	0.5 0.5
鶏の腎臓 その他の家きんの腎臓	0.5 0.5
鶏の食用部分 その他の家きんの食用部分	0.5 0.5
鶏の卵 その他の家きんの卵	0.05 0.05

注20)「食用部分」とは、食用に供される部分のうち、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓以外の部分をいう。

注21)「その他の家きん」とは、家きんのうち、鶏以外のものをいう。